

会長のページ TPP 交渉参加と医療分野における問題点	稲倉 正孝	3
日州医談 ポリオは根絶できるのか	峰松 俊夫	4
エコー・リレー(436)	伊井 敏彦, 押領司篤茂	6
メディアの目 仮想水 - 水を大切に	千田 伸二	7
宮崎大学医学部だより(病態解析医学講座麻酔生体管理学分野)	恒吉 勇男	12
専門分科医会だより(小児科医会)	佐藤 雄一	13
ニューメンバー	松山 明子, 石渡 正子	42
診療メモ 感染性胃腸炎について	稲津 東彦	58

宮崎県感染症発生動向	8
各都市医師会だより	10
あなたできますか?(平成 22 年度医師国家試験問題より)	15
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	16
九州医師会連合会平成 23 年度第 1 回各種協議会	18
日医 FAX ニュースから	28
薬事情報センターだより(295) 新薬紹介(その 52)	30
理事会日誌	32
ベストセラー	36
県医の動き	37
追悼のことば	38
会員の異動・変更報告	43
ドクターバンク情報	45
行事予定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
平成 23 年総目次	62
あ と が き	72

~~~~~

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| お知らせ おぎゃー献金基金について                | 14 |
| 平成 23 年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い | 31 |
| 年末・年始の休館について                     | 44 |
| 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ              | 44 |
| 都市医師会への送付文書                      | 60 |
| 日州医事投稿についてのお知らせ                  | 61 |

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 写真〕

### 夢の世界(白川郷)

ライトアップの白川郷を撮りに展望台まで登った。ライトアップまでまだ1時間あったが、既に先客が三脚を立てて入り込む余地はない。少し下った路肩に、後から一寸の隙間に入れてもらい、やっと撮影できた。ライトがついたが、まだ明るい。もう少し暗くなるのを粘ったためバスの出発時間が迫り、雪氷の道を急いで下山中、女房殿滑り、腕組みして支えていたが、右前腕骨折、治癒まで3か月かかった。代償の大きい写真撮影となった。

にし むら あつ のり  
宮崎市 西 村 篤 乃

## 会長のページ

## TPP 交渉参加と医療分野における問題点

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

201年 11月 13日(日本時間 14日), 米国ハワイで開催された APEC 首脳会談において, 野田佳彦首相が TPP 参加を表明した。オバマ政権の TPP 参入の主たる目的は, 「関税と非関税障壁の引き下げ」によって新市場を開拓し, 米国企業の輸出及び新市場での営業を拡大し, 米国の経済成長と雇用創出を促すことであると考えられる。同政権は, 同じ高所得グループに属する米国や EU 諸国に比べて, 日本の貿易体制が制限的であるとみている。その要因が日本の非関税障壁にあると考えている。

我が国では, TPP 交渉参加を巡っては, 推進派と反対派が鋭く対立している。世論調査によると, 両者が拮抗している。世論を二分し国の将来に重大な影響を与える問題に対して, 野田佳彦首相は, 国民に十分な説明をせずに結論を出したという印象は否めない。

日本医師会が主張しているように, 我が国の医療に関しては, TPP 参入によるメリットはほとんどないと思っている。デメリットとしては, 混合診療の全面解禁, ついで株式会社の医療機関経営への参入によって公的保険の給付範囲が狭くなり, 利益追求が重視され, 医療の安全性, 有効性及び効率性の担保が困難になり, ひいては世界に誇れる我が国の皆保険制度が崩壊すると危惧している。TPP 交渉参加に当たって, 政府は「公的医療保険制度は TPP の議論の対象になっていない模様」としていたが, TPP 交渉参加表明後は「混合診療の全面解禁が議論される可能性は排除されない(外務省)」, 「議論のテーマに絶対入らないと断言できるものではない(小宮山洋子厚生労働相)」と実質的な軌道修正を行っている。アメリカ政府と日本政府の見解の相違などをみると, 日本政府の見解は楽観的過ぎで, かつ無責任である。

自民党小泉政権の「聖域なき構造改革」がもたらした格差社会, 地方の衰退及び拝金主義を繰り返してはならない。製造業の GDP に占める割合が低下し, 金融・保険・サービスの比率が増大した米国の本当の狙いは, 36兆円の市場である日本の公的医療保険制度, 比較的裕福な多数の高齢者を対象にしたビジネスであると思われる。我々はバブル崩壊時の秃げ鷹の跋扈を忘れてはならない。郵政民営化の次の獲物は, 日本の公的医療保険制度であり, 米国の保険会社及び医療産業にとっての「非関税障壁」とみなし, 種々の要求を繰り返している。

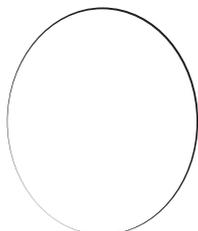
TPP に参入するとしても, 国民の生存, 健康に必要な最低限のものは, 対象から除外すべきである。世界的に評価の高い日本の公的国民皆保険制度を維持するため, 我が国の最高裁が正当であると判断した「混合診療の禁止」及び「利益追求を目的とした株式会社の医療への参入禁止」は守るべき最低限の条件である。そのためには, 日本の国内法を整備し, 国民を守る最低限の保障を確保すべきである。

農産物についても, 食の安全と食料確保, 及び農業の持つ環境保全の役割が失われないよう配慮すべきである。

このような基本的国益を守ることが政治の責務であると考えられる。

(平成 23年 11月 28日)

## 日州医談



## ポリオは根絶できるのか

理事 峰 松 俊 夫

テレビニュースで黒岩祐治神奈川県知事の荒々しい語気が響いていた。

「日本はワクチン後進国。なぜ危険な生ワクチンを使い続けているのか。神奈川県は(国内未承認の)ポリオ不活化ワクチンを輸入し、子供達に接種します」

ポリオ生ワクチンか不活化ワクチンか 保護者の混乱

厚労省は現行のポリオ生ワクチンに代わり 2013年までに不活化ワクチンの導入を決めている。しかし、不活化ワクチンの利用開始まで接種の先延ばしを考えたり、個人輸入により不活化ワクチンの接種が可能な医療機関を訪れる保護者が増加している。今春の集団接種者数は昨年と比べて全国平均で 17.5% 減少してしまった。

生ワクチンが原因のポリオ症例は、国内では最近 10年間で 15例報告されている。生ワクチンを 100万人に接種して 1.4人の割合で発症することになる。この数字をもって「集団予防効果に比べれば、しかたない数字」と割り切った考えができるであろうか。ワクチンを接種しないことが最も危険だと頭では理解できるものの、生ワクチンによってポリオを発症する危険性があり、今後 2 年以内に不活化ワクチンの接種が開始されることを知れば、保護者が自らの子どもに生ワクチンを接種することを躊躇するのも無理はない。

世界保健機関(WHO)のポリオ根絶計画

ポリオウイルスはその粒子構造、遺伝子配列、抗原性状の解析が最も進んだウイルスの一つである。ポリオウイルス研究の歴史は他のウイルス研究を先導してきた。近年、ポリオの診断技術は飛躍的に進歩し、迅速かつ的確なウイルス診断が可能となった。研究や診断技術の進歩とともに世界各国が協力してポリオを根絶しようという気運が高まっていった。1988年、ついに WHO はポリオ根絶計画をスタートさせた。痘瘡(天然痘)根絶宣言から 8 年後のことであった。

ポリオ根絶計画の当初の戦略は、生ワクチンの集団接種を実施し、徹底して急性弛緩性麻痺患者のサーベイランスを行うことだった。すなわち、地球上のすべてのポリオウイルスを野生株から弱毒生ワクチン株に置換し、全世界のポリオ患者の発生を検証していくという実に壮大な計画だった。しかし、この当初の計画は患者発生をゼロにすることを目標としており、ウイルスの根絶を目指したものではなかった。生ワクチン由来のポリオ発症の危険性がある限り、ポリオが根絶されたとは断定できないのだ。

根絶計画の最終段階では、発症の危険がない不活化ワクチンが必要となる。不活化ワクチンは強毒野生株を培養細胞で増やして製造される。不活化ワクチンがポリオ根絶の最終段階で利用されれば、その製造過程で使われた強毒野生株こそが地球上最後のポリオウイルスとなるはずである。

### 痘瘡とポリオの比較

ここで、根絶宣言が出された痘瘡と根絶を目指しているポリオとを病原ウイルス学的に比較してみたい。

まず、痘瘡ウイルスは抗原的に単一であり、ヒトのみに感染する。しかも感染したヒトは必ず発症し、ウイルスが持続感染することはない。つまり、痘瘡ウイルスは痘瘡患者が発生したところのみ存在することを意味する。もちろん、ワクチンの効果が絶大であったことは言うまでもない。患者発生の直後に周囲の者にワクチンを接種すれば痘瘡ウイルスの拡散防止に間に合った。

一方、ポリオウイルスはヒトだけでなくチンパンジーなどの霊長類に感染する。実際、不活化ワクチンの製造にはミドリザルの細胞が使用されている。また、ポリオウイルスの顕性感染率は1%にも満たない。ポリオ患者が1人いれば、その背景に100人以上の感染者が存在しているのだ。さらに野生株を長期排泄する持続感染例が確認されている。

そもそも、痘瘡ウイルスの遺伝子はDNA、ポリオウイルスのそれはRNAである。ヒトの細胞はRNAの変異を修復する酵素を持っておらず、ウイルスが増殖可能であればRNA遺伝子の変異は残存していく。ポリオウイルスにおいて感染性や病原性を規定する遺伝子に変異が生ずる確率は痘瘡ウイルスのそれと比べて格段に高い。

このように痘瘡ウイルスとポリオウイルスとでは宿主域、感染・発症様式、遺伝子変異率に大きな違いがある。痘瘡根絶の時と同じようにポリオ根絶計画が順調に進むとは考えにくいのだが…。ともかく、ポリオ根絶計画はスタートした。

### ポリオの現状

WHOが計画を発表した1988年当時、世界には約35万人のポリオ患者がいた。2003年には患者数が784人に減ったが、それ以降は増減を繰り返し、ここ数年の患者数は増加傾向となっている。

ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタン、インドのポリオ常在4か国では、様々な理由によりワクチン実施が困難となっている。ナイジェリアでは流言によりワクチン不信感が国民に広がった。パキスタンとアフガニスタンは政情不安により難民の多くが予防接種を受けられずにいる。インドでは複雑な理由でワクチン接種が実施されなかった地域があった。ウイルスそのものの問題だけでなく、政治経済・社会情勢、文化・風習といった問題が巨大な壁となってポリオ根絶計画の前に立ちはだかっているのだ。

本年9月末時点で、上記の4か国以外にチャド、コンゴ民主共和国、コートジボアール、中国、ブルキナファソ、ギニア、ガボン、ケニアでもポリオ患者が確認されている。ポリオ根絶計画がすでに最終段階に入ったと判断するのは時期尚早なのかもしれない。

### おわりに

天然痘の根絶宣言が出された翌年、ポリオ生ワクチン開発者のSabin博士は日本でセミナーを行っている。その際、「天然痘は根絶されました。しかし、ポリオを根絶することは不可能です。ポリオという病気、ウイルスの性状、ワクチンの特徴を熟知したうえでの結論です。ただ、ポリオを制御することは可能でしょう」と、最もよくポリオを知る博士は語った。現時点で博士の予想は適中している。世界的なポリオ根絶策がSabin博士の予想を覆せるのは何時になるであろうか。その時が遠くないことを祈るしかない。

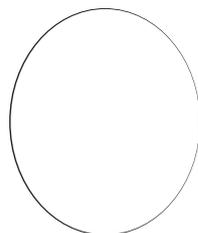
## エコー・リレー

( 436回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 磯釣り礼賛

独立行政法人  
宮崎市 国立病院機構 伊井敏彦  
宮崎東病院

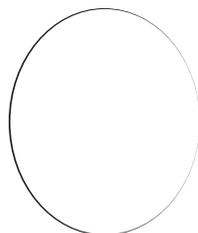


この20年ほど磯釣り，特にメジナ釣りにはまっている。メジナとは鯛に似た漆黒の魚で，暖海の磯場に生息し，宮崎の磯ならどこにでも潜んでいる。繊細，臆病でありながら，引きは強烈で，食べては刺身，塩焼き，フライ，煮付け，味噌汁何でもOKの白身魚である。はまった理由は狩猟本能に尽きる。浮きのかすかな動きに合わせを入れた瞬間，竿を満月の如く曲げて逃れようとする奴，すばやく，ときにはあやすように竿を操りリールを巻き，水面に現れた魚体をようやく網に収める。ご褒美の大物はまさに至高，至福の瞬間をくれる。暑さ，寒さ，日光，波，風などに耐えることは勿論，休日故，他の釣り人もライバルになる。まずどのポイントに渡れるかが運の分かれ目である。あとは瀬渡しされた磯場で最善を尽くす。潮の流れ，水温，水深や海底の状況などを頭に入れて，最適の針やハリス，浮きを選んで仕掛けを組む。どこで食わせるかを考えて撒き餌を打ち，仕掛けを入れる。常に状況を読んで釣り方を変えつつ，日の出から夕暮れまで竿を振り，あたりを待つ。本業も家族もどこかに消え失せ，頭の中は空になる。魚と自然にもてあそばれて泥のように疲れて帰ると，魚を見慣れた我が息子に小さいねと一喝される(こともある)。お陰で妻の魚捌きはプロ並になり，白身の魚は全て自家調達している。さあ，また海にでよう。

〔 次回は 宮崎市の日高 博之先生にお願いします 〕

## 身だしなみ

延岡市 押領司内科医院 押領司 篤 茂



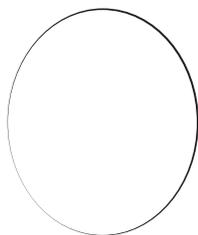
私自身大学時代にはGパン，Tシャツで病棟勤務したこともある。責任ある立場になった時，身だしなみが大事と自覚した。友人が重症患者の説明にオレンジのスポーツシャツと半ズボンの恰好だった時，注意したが，自分のスタイルは変えないと受け入れなかった。その彼も，教授に「ネクタイをしないで診療する者は信用しない」と言われ，翌日からネクタイをするようになった。東京の大病院に出向していた後輩は，教授達がネクタイをしていない医学生を注意していたと聞いた。人の服装は気にしない私だが，陪診の一人が外来にTシャツ，よれよれの綿パンにサンダル姿で来た時は注意した。しかし彼は，どこか変ですか，今風でいいでしょうと切り返してきた。TPOを考えるよう注意したが，理解してくれたかどうかは分からない。色々な会議に出席すると，そのような服装で参加する若い先生を良く見かける。たぶん，誰も注意しないのでこれでよいと思っているのだろう。

私にも2人の男の子がおり，普段の服装は同じだ。今秋，一緒に旅行して以前お世話になった教授宅を訪問した際には，スーツにネクタイを着用させた。教授，教授夫人から服装をほめられ，Gパン，Tシャツ，特に破れたGパンは嫌いで，着たらだめだと注意されていた。私自身も研究会などで手をポケットに入れて質問する癖がある。先輩に注意され最近気づいた。

服装は個性があっても良いと思うが，TPOできちんとした身だしなみが必要だと思う。それを何時，自覚するかは本人の問題であろう。将来，重要な立場を争う時があれば，身だしなみも重要な選択要素となることを若い先生達には自覚して欲しい。

〔 次回は 延岡市の平田 耕太郎先生にお願いします 〕

## メディアの目



## 仮想水 - 水を大切に

読売新聞宮崎支局長

せん だ しん じ  
千 田 伸 二

単身赴任も4年目に突入した。1人暮らしだが、台所での水、洗濯の水、風呂場の水と、いかに自宅で水をムダに使っているのか考えさせられる。

環境みやざき推進協議会が発行する小冊子「ecoみやざき」が「水も限りある資源です」と水について特集していた。その中で、「バーチャルウォーター」(仮想水)を取り上げていた。仮想水とは、食糧を輸入している国が輸入食料を自国で生産するとしたら、どの程度の水が必要となるのかを推計したものだ。

食料自給率がカロリーベースで40%と低い日本は、輸入食料を外国の水で育ててもらっているようなものだ。大量の「水」を海外から「食料」という形で輸入している「世界最大の水輸入国」と言えるそうだ。

東大生産技術研究所の沖大幹教授らのグループの試算では、2000年の国内の年間総仮想水輸入量は640億立方メートルで、国内の年間水資源使用量約900億立方メートルの実に3分の2の水を海外に頼っていることになるそうだ。2000年に日本が海外からミネラルウォーターなどを輸入したのは年間19.5万立方メートルで、ビールも含めて年間100万立方メートル程度だということを見ると、いかに大量かが分かる。

環境省や国土交通省のホームページを見ると、この仮想水がいかに世界中から日本に輸入されているかを知ることができる。輸入相手は、トップは米国だが、2位はオーストラリア、3位カナダ、輸入量は少ないがアフリカや中東、南米などもあり、全世界からだ。

ところで、毎日食べている食事の仮想水量はどのくらいだろうか。トマトスパゲティ1皿の場合の仮想水を考えると、中身のスパゲティにトマトの水煮、ニンニク、オリーブオイル、バジル、調味料などの材料を育てるための仮想水は、換算すると500ミリリットルのペットボトル1,300本分になるという。ハンバーガー1個で2,000本分、カレーライスだと2,190本分、牛丼は3,780本分、ハンバーグ定食では4,590本分にもなる。いかに水が必要かだ。

世界の人口は総務省によると、2010年には約69億人だったが、2050年には91億5千万人にまで膨れあがる。日本は200年の1億2,700万人をピークに現在は減少傾向で、2050年には9,500万人まで減る予定だ。しかし、将来、世界的な水不足になるのは火を見るよりも明らか。現在は、原発事故で「節電」に目が行っているが、今後は、「節水」にも注目しなければならない時代がくるかもしれない。

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 10月～

平成 23年 10月 3日～平成 23年 10月 30日(第 40週～ 43週)

### 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 結核 23例が報告された。保健所別報告数を【図 1】に示した。患者が 16例，疑似症患者 3例，無症状病原体保有者 4例で，患者は肺結核が 1例，その他の結核(結核性胸膜炎，粟粒結核，結核性リンパ節炎)が 5例であった【表 1】。男性 1例，女性 12例であった。年齢別報告数を【表 2】に示した。

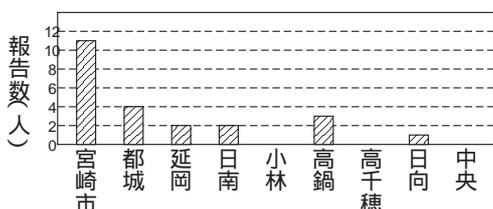


図 1 保健所別報告数

表 1 結核の病型及び報告数(人)

|           |    |
|-----------|----|
| 肺結核       | 11 |
| その他の結核    | 5  |
| 疑似症患者     | 3  |
| 無症状病原体保有者 | 4  |

表 2 結核の年齢別報告数(人)

| 30歳代 | 40歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 90歳代 |
|------|------|------|------|------|------|
| 1    | 1    | 6    | 6    | 8    | 1    |

表 3 腸管出血性大腸菌感染症の O 血清型及び毒素型別報告数(人)

|       | VT1 | VT2 | VT1,VT2 | VT |
|-------|-----|-----|---------|----|
| ○ 115 | 1   |     |         |    |
| ○ 157 |     | 2   |         |    |
| ○ 26  | 2   |     |         |    |

表 4 腸管出血性大腸菌感染症の年齢別報告数(人)

| 10歳 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 |
|-----|------|------|------|------|
| 1   | 1    | 1    | 1    | 1    |

3 類 腸管出血性大腸菌感染症 5例が高鍋(4例)・小林(1例)保健所から報告された。患者 1例・無症状病原体保有者 4例で，患者は 10歳の男子で，腹痛，水様性下痢，発熱がみられ，O 血清型は O 26 VT 産生)。5例の O 血清型及び毒素型別報告数を【表 3】，年齢別報告数を【表 4】に示した。

4 類 ○日本紅斑熱 1例が宮崎市保健所から報告された。60歳代の男性で発熱，刺し口，発しん，肝機能異常がみられた。畑で作業中にダニに刺され感染。

5 類 ○ウイルス性肝炎(B 型)1例が宮崎市保健所から報告された。20歳代の女性で全身倦怠感，嘔吐，褐色尿，肝機能異常，黄疸がみられた。  
○後天性免疫不全症候群 1例が宮崎市保健所から報告された。30歳代の男性で無症候性キャリア。  
○梅毒 1例が宮崎市保健所から報告された。40歳代の男性で早期顕症梅毒(一期)・硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)がみられた。

表 前月との比較

|           | 10月    |         | 9月     |         | 例年との比較 |
|-----------|--------|---------|--------|---------|--------|
|           | 報告数(人) | 定点当り(人) | 報告数(人) | 定点当り(人) |        |
| インフルエンザ   | 6      | 0.1     | 0      | 0.0     |        |
| RSウイルス感染症 | 231    | 6.4     | 678    | 18.8    |        |
| 咽頭結膜熱     | 35     | 1.0     | 95     | 2.6     |        |
| 溶レン菌咽頭炎   | 211    | 5.9     | 189    | 5.3     |        |
| 感染性胃腸炎    | 744    | 20.7    | 744    | 20.7    |        |
| 水痘        | 170    | 4.7     | 182    | 5.1     |        |
| 手足口病      | 233    | 6.5     | 476    | 13.2    |        |
| 伝染性紅斑     | 47     | 1.3     | 130    | 3.6     |        |
| 突発性発しん    | 155    | 4.3     | 209    | 5.8     |        |
| 百日咳       | 1      | 0.0     | 2      | 0.1     |        |
| ヘルパンギーナ   | 71     | 2.0     | 279    | 7.8     |        |
| 流行性耳下腺炎   | 273    | 7.6     | 319    | 8.9     |        |
| 急性出血性結膜炎  | 0      | 0.0     | 0      | 0.0     |        |
| 流行性角結膜炎   | 56     | 1.5     | 47     | 1.3     |        |
| 細菌性髄膜炎    | 0      | 0.0     | 1      | 0.1     |        |
| 無菌性髄膜炎    | 0      | 0.0     | 0      | 0.0     |        |
| マイコプラズマ肺炎 | 8      | 1.1     | 8      | 1.1     |        |
| クラミジア肺炎   | 0      | 0.0     | 1      | 0.1     |        |

例年同時期(過去 3年の平均)より報告数が多い A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

### 病原体検出情報(微生物部)

| 検出病原体                                    | 件 |
|------------------------------------------|---|
| Cam pylobacter fetus                     | 1 |
| Salm onella Braenderup( 07 e h e n ,z15) | 1 |
| Salm onella Typhim urium( 04 i 1,2)      | 1 |
| Salm onella Thom pson( 07 k 1,5)         | 2 |
| Salm onella M ontevided( 07 q m ,s - )   | 1 |
| 腸管病原性大腸菌(O 26 H 11 eae + )               | 1 |
| 腸管病原性大腸菌(O 26 H 11 VT 1)                 | 2 |
| 腸管病原性大腸菌(O 145 HNM VT 1,2)               | 1 |
| ノロウイルス G 型                               | 1 |

### 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,241人( 定点あたり 70.9)で、前月比 70%と減少した。また、例年と比べると 9%と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、伝染性紅斑であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は211人( 5.9)で前月の約 1.1倍、例年の約 1.4倍であった。日南( 18.0)、延岡( 12.5)保健所からの報告が多く、年齢別では4歳と5歳で全体の約 3割を占めた。

手足口病の報告数は233人( 6.5)で前月の約半数、例年の約 2.2倍であった。都城( 24.5)、中央( 12.0)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月から3歳で全体の約 8割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は47人( 1.3)で前月の約 4割、例年の約 1.8倍であった。日向( 4.8)、延岡( 3.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から6歳で全体の約 6割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は71人( 2.0)で前月の約 3割、例年の約 1.8倍であった。日向( 7.8)、延岡( 6.5)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月から4歳で全体の約 8割を占めた。

### 月報告対象疾患の発生動向 10月

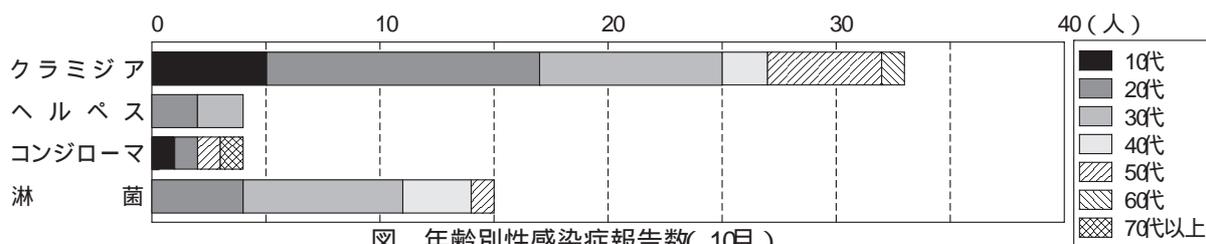
性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は56人( 4.3)で、前月比 108%と増加した。また、昨年10月( 4.5)とほぼ同数であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数33人( 2.5)で、前月の約 1.4倍、前年とほぼ同数であった。延岡( 5.0)、都城・日向( 各 3.0)保健所からの報告が多く、男性20人・女性13人で、20歳代が全体の約 4割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人( 0.31)で、前月の約 7割、前年の約 6割であった。すべて女性で、20歳代・30歳代が各2人であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数4人( 0.31)で、前月の約 4割、前年の約 2倍であった。男性1人・女性3人で、10歳代・20歳代・50歳代・70歳以上が各1人であった。
- 淋菌感染症：報告数15人( 1.2)で、前月の約 1.3倍、前年の約 9割であった。都城・日南・高鍋( 各 2.0)保健所からの報告が多く、男性14人・女性1人で、30歳代が全体の約半数を占めた。



薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は38人( 5.4)で前月比 158%と増加した。また昨年10月( 4.0)の約 1.4倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数36人( 5.1)で、前月の約 1.9倍、前年の約 1.8倍であった。宮崎市( 15.0)、延岡・日南( 各 7.0)保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約半数、60歳代が約 2割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人( 0.14)で、前月の約 3割、前年の約 1割であった。宮崎市( 1.0)保健所からの報告で、0歳児であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数は1人( 0.14)で前月と同数であった。高鍋( 1.0)保健所からの報告で、70歳以上であった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

( 宮崎県衛生環境研究所 )

## 各都市医師会だより

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

10月 1日(土)・2日(日)、第 48回九州首市医師会連絡協議会が開かれました。毎年、九州・沖縄の県庁所在地および下関市の 9 医師会の持ち回りで行われています。今年は宮崎市郡医師会の担当で、今回の全体討議のテーマは「災害医療対策について」でした。

前半は「DMAT・JM AT派遣報告と問題点」について討議されました。DM ATの問題点として、初動での移動が困難、県との協定が未締結で身分保障が問題、現地での情報収集や連絡調整が不備、情報の乏しい被災地への派遣は困難、指揮系統が混乱し本当に必要とされる地域に行けたか疑問、現地でどのように安全を確保し効率的に活動できるかが課題などがあげられました。JM ATの問題点として、現地での情報不足、指揮命令系統が不明確、派遣が短期間でもっと長期スパンの滞在が望ましい、災害に対する日頃の連携が肝要、各避難所に救護所を置くのは非効率、どの避難所からでもアクセスがよい場所に仮設診療所を設置してはどうかなどがあげられました。

後半は「大規模災害対策の現状」- 災害時の対策(透析医療・救急医療・在宅医療等)- について討議されました。まとめると災害時に多くの被災者に対応するためには、適切な情報管理に基づく効率的な医療が求められます。まず、各医師会で大規模災害マニュアルを整備する必要があります、次いで災害医療計画を行政と共有化し、定期的な訓練を行うことが医療の専門家として我々医師会にも求められているということになります。 (原田 雄一)

◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

10月 28日に臨時総会が開催され、公益法人制度改革に伴う一般社団法人への移行、社団法人都城市北諸県郡医師会定款変更等が承認されました。将来、公益法人への移行も検討させていただくこともあるでしょう。現在、医師会病院の新築・移転についても各委員の先生方が大奮闘されております。

先日、牛のたたきが牧場直営店から消えておりました。一つの食文化がなくなった気がしました。 (山路 健)

◇ ◇ ◇ ◇

### 延 岡 市 医 師 会

10月 18日に第 8 回地域医療ネットワーク連絡

協議会が開催されました。意見交換会後の懇親会は 3 回目で、参加者は年々増え 112名の出席でした。「地域資源リスト」だけではお互い顔が見えず連携しづらかったのが連携し易くなった、「連携シート」の活用で対応し易くなったと概ね好評でした。やはり顔の見える医療・介護の連携が大切です。今後もスクラムを強化して頑張りたいと思います。 (大地 哲史)

◇ ◇ ◇ ◇

### 日 向 市 東 白 杵 郡 医 師 会

去る 11月 5日(土)に日向市文化交流センターで日向市施行 60周年記念式典が開催されました。式典の中で 123名の自治功労者が表彰され、当医師会員も学校医の職満 20年以上 8 名、満 12年以上 10名が表彰されました。また、医師会も口蹄

疫被害義援金寄附に対する特別功労者表彰を受けました。学校医の表彰は昭和56年の市制30周年記念事業以来、10年ごとに開催される記念事業のたびに実施されております。日頃の地域での医療活動が、市制発展の主軸となって活躍をした人として認められ、その功績をたたえられることは意義深いことであると思います。

(渡邊 康久)

◇ ◇ ◇ ◇

### 児 湯 医 師 会

児湯郡内の新富町では10月になると、あの見るだけでも鼻がムズムズしそうなブタクサと時期を同じくして、蕎麦のかわいらしい白い小さな花が各地で見られるようになります。収穫時期は11月から12月だそうです。もともと自家用に細々と作付けされてきたものが、平成2年頃から本格的に栽培されはじめ、今では県内一の生産量だということです。今はまだ県内でもそこまで知られていませんが、将来は国内でも有数の蕎麦処になるかもしれません。

さて、我々児湯医師会では、理事会で話し合われてきた将来の一般社団法人への移行が11月の臨時総会で正式に決まり、それに伴う定款の変更などの準備を進めております。公益法人制度改革については、実際私自身もあまりわからず今後の勉強課題になっています。(永友 研一)

◇ ◇ ◇ ◇

### 西 都 市 ・ 西 児 湯 医 師 会

11月5、6日には西都古墳祭りが開催されました。雨天のためたいまつ行列は中止となりましたが、五弦琴やオカリナなどの音色が響き渡るなか、古代衣装に身を包んだ踊り手によって舞われる、古代ロマン漂う炎の舞は幻想的で魅

了されます。例年はこの頃はすでに肌寒く夜間急病センター(4月からは西都医師会病院を引き継いだ西都児湯医療センターで行っています)でも風邪の患者さんが多いのですが、先日の当番の際はまだ暖かいため少なかったです。しかし、いずれ例年並みの寒さになり夜間急病センターも忙しくなることでしょう。(杉尾 克徳)

◇ ◇ ◇ ◇

### 南 那 珂 医 師 会

インフルエンザの流行シーズンを前に、マイコプラズマ感染症が過去最高水準で全国的に流行しています。勤務先においても咳嗽患者に検査陽性が見つかります。

成人にも発症者が多く、高率にマクロライド耐性株が検出されているマイコプラズマ。経済的に考慮しても、地域でマイコプラズマ感染症対策を講じる必要があると考えています。

(峰松 俊夫)

◇ ◇ ◇ ◇

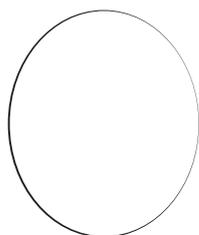
### 西 諸 医 師 会

国保高原病院では平成22年2月から5S活動に取り組んでいます。5S活動とは、整理・整頓・清掃・清潔・しつけの5項目に基づいて業務管理し、業務の効率化と安全性の向上をめざすものです。まずは、病棟の整理・整頓から始め、物を捨ててスッキリしたという視覚的な効果を得てから、物があふれかえていた倉庫の整理・整頓に着手しました。トラックで3~4台分の不要物を思い切って捨てたことでなんとか整理がつき、現在はきれいな状態を維持する「しつけ」を心がけているところです。(莫根 隆一)

◇ ◇ ◇ ◇

## 宮崎大学医学部だより

### 病態解析医学講座 - 麻酔生体管理学分野 -



つねよし いまゐ 教授  
恒吉 勇男 教授

宮崎大学医学部麻酔生体管理学教室をご紹介します。

高崎眞弓前教授に続き、平成 19年 12月より恒吉勇男が三代目教授として教室を指導しています。現在、医局員は 60名在籍しており、大学に 2名、関連病院に 3名が勤務し、2名が米国へ留学しています。全体で女性医師は 20名おり、大学に 8名、関連病院に 8名、アメリカ留学に 1名、産休が 3名です。大学勤務の女性医師の中で 5名が子育て中であり、いわゆるママ麻酔科医として頑張っています。大学では、ママ麻酔科医に対して、朝 7時 50分から夕方 5時までを勤務時間とし、当直は免除、週 4日の出勤とすることで、医師としてのキャリアを維持、向上しつつ家庭生活にも時間を割けるように配慮しています。麻酔科医は、仕事と自由時間のめりはりがはっきりしていることから女性にも働きやすい環境ではないかと思えます。現在産休中の医師は、来年 4月を目途に全員職場へ復帰する予定です。

大学の臨床は、朝 7時半からのカンファレンスで始まります。その場で、ICU 報告、前日の問題症例やペイン入院患者の報告、当日の麻酔症例などを検討します。8時から患者が手術室へ入室し、麻酔が開始されます。2年前に手術室が新設され 9室から 12室へ増床されたことから、10症例の手術を同時にスタートさせることが可能となり効率が上がりました。昨年は、全手術件数が 5,739症例、麻酔科管理症例が 4,120

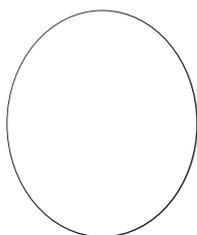
症例でした。この症例数は、10年前の 1.6倍です。手術室の 1室は、産婦人科の緊急手術室として常時空室としています。大学病院は、産科緊急手術の最後の砦となっており、麻酔科医も一刻を無駄にすることがないように臨戦態勢をとっています。最近では、救急部の増員に伴い、交通外傷や熱傷などの緊急手術も増加しており、定例手術でほぼ満室の手術室にこれらの急患をいかにして組み込むかが課題となっています。

大学病院では麻酔業務以外に、ICU に 8名、ペインクリニックに 3名が勤務しており、麻酔科の専門性を生かしつつスペシャリストとして働いています。ICU は一昨年に 6床から 16床へ増床されましたが、約 80%以上の稼働率を維持し、大変忙しい部署となっています。最近では、救急部の患者が増加し、半数以上のベッドを占有することもあります。来年 4月から救急部 20床が新たに稼働することから、ベッド不足も解消されるのではないかと期待しています。ペインクリニックは、2~3名の専従医が PRF 法や熱凝固法を利用した最新の痛み治療を駆使し、立ちはだかる難治性疼痛に日々立ち向かっています。また、がん診療部緩和ケア部門のコアメンバーとしても活動しています。

現状での課題は、研究活動に十分なマンパワーを割けず疎かになりつつあることです。これまでは、手術症例の急増にやりくりを付け病院収益を重視した臨床主体の教室運営でしたが、若い世代が研究に興味を持つことなく年齢を重ねることに内心忸怩たるものがあります。医師として大成するには、科学的な思考を育むことは必要不可欠です。若い世代のさらなる飛躍を目指して、研究活動の再構築にもうひと踏ん張りする時期が来ていると痛感しています。

( 恒吉 勇男 )

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り ( 小 児 科 医 会 )



まとう ゆういち  
佐藤 雄一 会長

宮崎県小児科医会は、宮崎県医師会を通して県から委託された「訪問救急教室事業」(保育園、幼稚園への出前講座)と平成22年度から365日体制となった「小児救急医療電話相談事業」に取組み、会員の協力により順調に運営されています。平成23年3月13日には総会を開催し、特別講演は宮崎市保健所副所長伊東芳郎先生による「今後の小児予防接種について」と、国立病院機構福岡病院小児科柴田留美子先生による「食物アレルギーの現状と診断・治療の進歩」でした。会員数は現在95名(A会員：55名、B会員：40名)で、小児医学の研修、小児医療の向上、小児保健の充実に努め、地域医療へ貢献すべく、活動を行っています。

現在、小児医療機関にとって大きな課題に、予防接種が挙げられます。日州医事第746号(平成23年10月号)「会長のページ」で論じていただいたように日本の予防接種体制には多くの問題点があります。まず、諸外国と比べ定期予防接種で行えるワクチンが少ないことです(日本8種類、米国16種類)。そのために予防接種で防げる病気(VPD Vaccine Preventable Disease)で被害を受けている子ども達がいまだに多く存在しています。この問題点を解決するために国もようやく腰を上げ「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金」で子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種が国の補助事業として平成22年度から開始され

ました。この事業により宮崎県下では対象年齢の子ども達は無料で接種が受けられるようになっていきます。しかしながら、この事業の平成24年度以降の継続についてはまだ不透明な状況です。次に、接種手技の問題があります。1970年代に大腿四頭筋拘縮症の影響で、予防接種は原則皮下注で行われており筋肉内注射には消極的となっています。同時接種についても従来の経緯から添付文書に抑制的な追記がなされています。このような状況ですが、日本小児科学会の提言を受け筋肉内注射や同時接種は容認されてきていますが、まだスッキリとはしていません。今後、予防接種法の改正を含め乗り越えなければならない多くの課題が予想されますが、小児科医会としても早く先進国並みの予防接種体制が築かれるよう努力していきたいと考えています。

また、平成24年度には第112回九州医師会総会・医学会が宮崎で開催されますが、その際に分科会として九州小児科学会が、また九州小児科医会役員会が行われます。宮崎県小児科医会員全員で協力して学会、役員会が成功裡に終わるように努力する所存です。よろしくお願ひします。  
(佐藤 雄一)

|     |                                                                                                     |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 長 | 佐藤 雄一                                                                                               |
| 副会長 | 先成 英一, 三宅 和昭                                                                                        |
| 幹 事 | 川口 健二(総務), 高村 一志(会計), 上野 満(広報), 糸数 智美, 山内 良澄, 岩見 晶臣, 沖島 實洋, 田代慎二郎, 高山 修二, 津曲 俊郎, 沖 美和, 西口 俊裕, 高木 純一 |
| 監 事 | 千阪 治夫                                                                                               |

## お知らせ

## おぎゃー献金基金について

宮崎県産婦人科医会理事 おお 大 ぶち 淵 とし 敏 お 生

全国の産婦人科医が協力して取組んでおります「おぎゃー献金」について、他科の先生方にもご理解ご協力いただきたくこの場を借りてご紹介させていただきます。

おぎゃー献金は、障害児のための献金活動で、約 80% が障害児施設および心身障害児の研究に、約 20% が献金運動推進の運営費として使われています。おぎゃー献金は、心と身体に障害をもつ子どもたちに手を差し伸べる思いやりの運動です。

昭和 38年に鹿児島県大口市の開業医であった遠矢善栄先生が、近くに住む重症心身障害児の 3 姉妹に救いの手を差し伸べようと献金活動を始めたのがおぎゃー献金の発端です。当時は重症の心身障害児を収容する施設もなく、日本母性保護医協会鹿児島支部はこれを「おぎゃー献金」と名付けて昭和 39年より県内で運動を開始し、これを全国に広めようと本部に提案、総会において満場一致で可決され、日本母性保護医協会の正式な活動として全国で展開されるようになりました。昭和 39年 7月、第 1号の献金を高島忠夫・寿美花代ご夫妻より頂きました。昭和 54年には日本母性保護医協会の一事業部から分かれ、献金運動の運営と公正な支出を目的に「財団法人 日母おぎゃー献金基金」が設立されました。昭和 58年の 20周年記念式典には当時の皇太子妃美智子殿下のご臨席を、平成 5年の 30周年記念式典には秋篠宮妃紀子殿下のご臨席を仰ぎ、平成 26年には 50周年になるという歴史のある慈善事業団体です。

元気な赤ちゃんを授かったことへの感謝を込めて献金していただくことで始まりましたが、過去 47年間の献金額の累計は 54億円近くに達し、厳正な審査を経て延べ 1,135施設、722の研究機関に配分されています。これまで、主に産婦人科の病院・診療所を通して、産婦と出産に立ち会った産科医師とが現金や振り込みを行うことで献金事業がなされて参りました。しかし、献金額は平成 3年の約 1億 9千万円をピークに年々減少し、平成 2年には 1億円を割り込んでいます。不況、出生数の減少、認知度の低下等の理由が考えられ、現在では企業や一般の方からのご協力もいただいています。献金方法も利便性を考え、基金への郵便振り込みや、インターネットを通じてクレジットカードでの献金も可能となっています。また、おぎゃー献金のロゴの入った伊藤園や高原ミネラルの自動販売機を設置していただくと、ドリンクの売り上げの一部が寄付される協力形体もあります。

昨年 11月、おぎゃー献金基金は公益財団法人に移行しました。それに伴い自動的に特定公益増進法人となり献金は税の優遇措置として所得控除でなく税額控除が受けられるようになりました。この機会におぎゃー献金活動に対して、産婦人科以外の先生方の暖かいご協力を是非ともよろしくお願い申し上げます。

おぎゃー献金ホームページ <http://www.ogyaa.or.jp>

伊藤園宮崎支店 TEL 0985-37-1871

高原ミネラル TEL 0985-36-3280





## あなたできますか？

平成 22年度 医師国家試験問題より

( 解答は 48ページ )

1 . 一般住民において最も若い年齢でがん検診を受けるべきなのはどれか。

- a 肺癌
- b 胃癌
- c 乳癌
- d 大腸癌
- e 子宮頸癌

2 . 地域包括支援センターについて誤っているのはどれか。

- a 都道府県ごとに設置される。
- b 認知症患者は支援の対象である。
- c 介護予防マネジメント事業は対象業務である。
- d 高齢者虐待の通報受理機関としての役割がある。
- e 主任介護支援専門員( ケアマネジャー )の配置が義務付けられている。

3 . 栄養素とその欠乏によって起こる病態との組合せで正しいのはどれか。

- a マグネシウム —— 味覚障害
- b ビタミン A —— ベラグラ
- c ビタミン C —— 出血傾向
- d カルシウム —— 貧血
- e 亜鉛 —— 夜盲

4 . 42歳の男性。高血圧治療中の父が脳梗塞を発症したため、自身の血圧を心配して来院した。職場の健康診断は毎年受診しているが、異常を指摘されたことはない。喫煙歴はない。1年前からビール 350ml を毎日飲んでいる。運動は月に 1 回のゴルフを 1 年間。身長 175cm、体重 70kg。脈拍 72/分、整。血圧 164/92mmHg。心音に異常を認めない。腹部に血管性雑音を聴取しない。浮腫を認めない。

まず勤めるのはどれか。

- a 禁酒
- b 運動療法
- c 体重の減量
- d 降圧薬の内服
- e 家庭血圧の測定

5 . 4歳の男性。交通事故による右大腿骨閉鎖骨折のため搬入された。意識は清明であるが不安そうな表情である。身長 170cm、体重 70kg。呼吸数 24/分。脈拍 116/分、整。血圧 116/92mmHg。

現時点で推定される出血量はどれか。

- a 500ml 以下
- b 500~ 750ml
- c 750~ 1,500ml
- d 1,500~ 2,000ml
- e 2,000ml 以上

6 . 8月上旬のある日。午後 3 時過ぎに、都市部にある中学校の生徒 8 人が相次いで、頭痛、咽頭痛、咳、目がチカチカするなどの訴えで来院した。いずれの生徒も校庭でクラブ活動をしていたという。天気は快晴。気温 35.2℃、湿度 60%。風向および風速は南南西の風 1.2メートル/秒であった。

この現象の原因物質の生成に関与するのはどれか。

- 2 つ選べ。
- a 硫化水素

- b アンモニア
- c 二酸化窒素
- d ダイオキシン類
- e 揮発性有機化合物

次の文を読み、7 ~ 9 の問いに答えよ。

33歳の初産婦。妊娠 41週 2 日、陣痛発来のため入院した。

現病歴 妊娠初期から定期的に妊婦健康診査を受けている。これまでの超音波検査で子宮体部右側に直径 5 cm 大の漿膜下筋腫を指摘されている。その他には妊娠経過に特記すべきことはない。本日前午 1 時から 10 分周期の規則的な陣痛が発来したが自宅で待機していた。午前 9 時に来院した。

既往歴 15歳で虫垂炎手術。

家族歴 母親が 2 型糖尿病。

月経歴 初経 12歳。周期 28日、整。

現症 意識は清明。身長 162cm、体重 71kg( 非妊時 63 kg )。体温 36.5℃。脈拍 80/分、整。血圧 124/70mmHg。子宮底長 37cm、腹囲 98cm。下腿に浮腫を認めない。Leopold触診法で児背を母体の左側に触れる。陣痛周期は 3 分。内診所見 先進部は小泉門で母体の左後方に触れる。子宮口 5 cm 開大、展退度 60%、児頭下降度 SP + 1 cm。子宮口の位置は中央、硬さは軟である。未破水である。

検査所見 尿所見 蛋白( - )、糖( - )。超音波検査では羊水ボケット 1 cm、胎児推定体重 3,500g。胎児心拍数陣痛図で胎児心拍数パターンに異常を認めない。

7 . 入院時の診断として正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 微弱陣痛である。
- b 第 2 胎向である。
- c 第 2 回旋の異常である。
- d Bishopスコアは 4 点である。
- e 児頭最大周囲径の位置は骨盤闊部にある。

8 . 分娩第 1 期は合計で 30 時間。分娩第 2 期開始時から、胎児心拍数陣痛図で軽度変動一過性徐脈が頻発した。2 時間後には高度変動一過性徐脈に移行し、基線細変動の減少も認められた。このころ自然破水となり、流出した羊水には高度の混濁が認められた。この時点で児頭の下降度は SP + 3 cm。直ちに吸引分娩を施行し、3,300 g の児を娩出した。

出生直後の新生児の異常として注意すべきなのはどれか。2 つ選べ。

- a 壊死性腸炎
- b 新生児黄疸
- c 帽状腱膜下血腫
- d 胎便吸引症候群
- e 呼吸窮迫症候群( RDS )

9 . 胎盤娩出直後から持続的な出血を認めている。原因として考えにくいのはどれか。

- a 筋腫分娩
- b 頸管裂傷
- c 弛緩出血
- d 胎盤遺残
- e 腔壁裂傷

## 宮崎県医師会親善ゴルフ大会

と き 平成 23年 11月 3日(木・祝)

ところ ハイビスカス G.C.

恒例の県医親善ゴルフ大会が、ハイビスカスゴルフクラブにおいて開催され、35名の会員の先生方が参加されました。

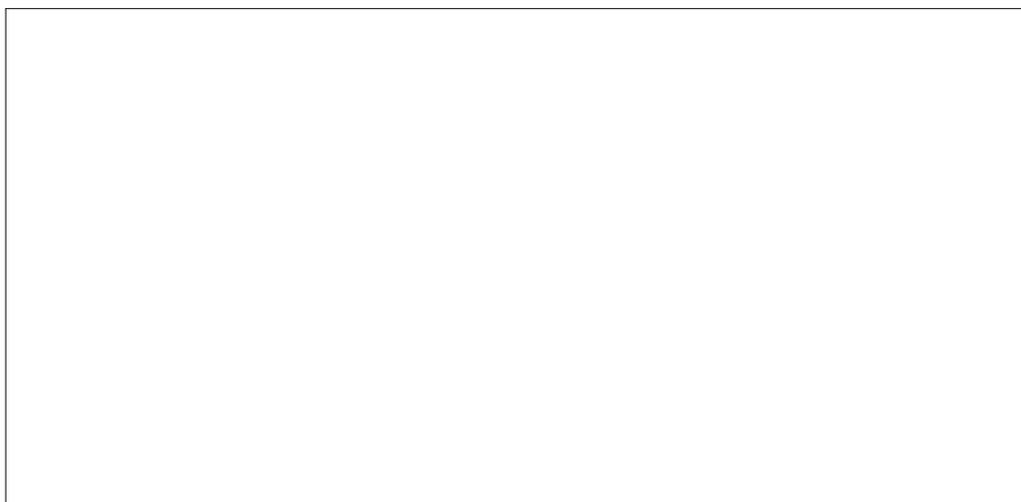
生憎の曇り空でしたが、熱戦が繰り広げられ、無事に大会を終了することができました。

今大会の競技方法は、18ホールズストロークプレイダブルペリア方式(同ネットの場合は年長者を上位)で行われ、団体戦は宮崎市Aチームが優勝、個人戦は、年齢別にA・B・Cの3区分に分けて行い、A 南嶋洋一先生(宮崎)、B:山村善教先生(宮崎)、C:坂本英典先生(宮崎)がそれぞれ優勝されました。

成績は以下の通りです。

| 団体戦 | 郡 市 名     | NET合計 | 各 郡 市 N E T 上 位 3 名 |      |       |      |       |      |
|-----|-----------|-------|---------------------|------|-------|------|-------|------|
| 優 勝 | 宮 崎 市 郡 A | 214.4 | 神戸 光                | 70.0 | 坂本 英典 | 71.6 | 大浦 福市 | 72.8 |
| 準優勝 | 宮 崎 市 郡 C | 215.2 | 山村 善教               | 69.4 | 弓削 達雄 | 72.4 | 水田 雅也 | 73.4 |
| 3 位 | 日向・西都混成   | 219.6 | 大塚 直純               | 72.4 | 富田 雄二 | 73.2 | 長田 浩伸 | 74.0 |

| 個 人 戦 | 会 員 名                                   | OUT | IN | GROSS | HD   | NET  |
|-------|-----------------------------------------|-----|----|-------|------|------|
| A     | 優 勝 南嶋 洋一                               | 43  | 48 | 91    | 19.2 | 71.8 |
|       | 準優勝 弓削 達雄                               | 41  | 41 | 82    | 9.6  | 72.4 |
|       | 3 位 大塚 直純                               | 45  | 43 | 88    | 15.6 | 72.4 |
| B     | 優 勝 山村 善教                               | 44  | 47 | 91    | 21.6 | 69.4 |
|       | 準優勝 神戸 光                                | 52  | 54 | 106   | 36.0 | 70.0 |
|       | 3 位 篠原 義成                               | 47  | 46 | 93    | 20.4 | 72.6 |
| C     | 優 勝 坂本 英典                               | 47  | 45 | 92    | 20.4 | 71.6 |
|       | 準優勝 長倉 穂積                               | 44  | 41 | 85    | 12.0 | 73.0 |
|       | 3 位 富田 雄二                               | 45  | 45 | 90    | 16.8 | 73.2 |
| B G 賞 | 丹 光明                                    | 80  |    |       |      |      |
| N P 賞 | 前田 譲弉, 中津留邦展, 坂本 英典, 高崎 直哉, 富田 雄二, 丹 光明 |     |    |       |      |      |



## 団体戦優勝

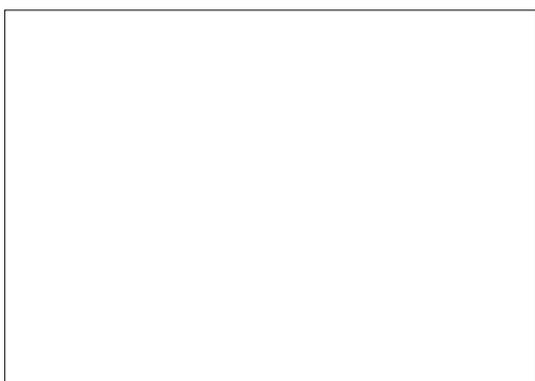
## 宮崎市郡医師会 A チーム



11月3日、あいにくの曇天の中でしたが、晩秋の冷たさもなく、楽しくラウンド出来、今回、思いもよらぬ団体優勝となりました。ご参加の先生方、有難うございました。私にとって休日のゴルフプレーは楽しみの一つであり、息抜きでもあります。つい先日、私も還暦を迎えてしまい、いつの間にか高齢者の域に足を踏み入れてしまったか・・・と寂しさにも似た気持ちを抱いておりました。しかし、このゴルフ大会で、各郡市医師会の諸先輩方のしっかりとした足腰、はつらつとしたプレーを拝見し、一層プレーに励み、来年も、いつまでも、大会に参加し、親睦を深めたいと思います。最後に、個人スコアは少々気恥ずかしい結果でした。大きなハンディキャップに感謝しております。(神戸記)

## 総合優勝

## 宮崎市郡医師会

やま むら よし のり  
山 村 善 教

曇り空でしたが、雨は最終ホールで見舞われただけでプレーにはあまり影響は無く、気がおけないいつものゴルフ仲間の大浦福市先生、中津留邦展先生、水田雅也先生と和気藹々とラウンドさせて頂きました。スコアは平凡でしたが、今年は何故かやけについている運が幸いして、グロスでは13位タイにも拘わらず隠しホールに恵まれて思いがけず優勝させて頂きました。記憶ではまだ3回目の出場で、グロス上位の12人の先生方には申し訳なく思っています。今後ともよろしく願い申しあげます。

## 九州医師会連合会 平成 23年度 第 1 回各種協議会

と き 平成 23年 9 月 17日(土)

ところ ホテルニューオータニ佐賀

### 医療保険対策協議会

日医横倉副会長，鈴木常任理事の挨拶の後，座長に担当県の横須賀副会長が選任され協議に入った。

#### 1．次期診療報酬と介護報酬の同時改定について(熊本県)

日医は，東日本大震災の発生を受け，全面的な同時改定は見送り，現行の不合理な診療報酬，介護報酬は留意事項通知や施設基準要件の見直し程度に止め，さらに患者の一部負担の引き下げ等の対策が必要であるとの見解を発表した。各県の意見，日医の見解と今後の方針を伺いたい。

#### 2．同時改定について(福岡県)

平成 23年 1 月の九医連において同時改定に向けての九州各県の要望事項が取りまとめられ，日医に提出された。その後，3 月 11日の大震災となり，日医は，震災後は全面改定が行われないよう，中医協やその他公の場で訴えている。全国医師会から或いは各ブロックからの要望事項はどのように取りまとめられ，今後どのように活用されるのか伺いたい。

日医鈴木常任理事 - 全面的な同時改定は被災地の負担を少しでも抑えよう見送りを申し入れ，不合理な点の改定については最終的に詰めている段階である。次期改定では，急性期，慢性期，医療介護の連携を重点的に改善

するよう準備を進めている。各ブロックや団体からの要望を基に優先順位を付けて整理しており，間もなく提示できる。改定は，最終的に政府が決めることなので，現実的に柔軟な対応をしていく。

#### 3．受診時定額負担について(長崎県)

政府は，高額医療費の見直しの財源として，初診・再診時の一部負担に一律 100円の上乗せを求めている。既に先進諸国に比べ，日本の患者一部負担割合がかなり高い現状にも拘わらず，安易に患者負担に頼る政府の姿勢は日本の医療保険の根幹を危うくする。特に，一部負担金の増加による受診抑制は大きな問題であり，各県と日医の見解を伺いたい。

日医鈴木常任理事 - 医療審議会医療保険部会でも強く反対を主張している。受診時定額負担は非常に不合理で，受診抑制の考え方が組み込まれており，社会保障制度の根幹を揺るがしかねない大きな問題である。日医でも重

大な問題と考えており、導入に反対する国民運動の実施を準備している。

日医横倉副会長 - 社会保障・税一体改革に盛り込まれた受診時定額負担の提案がなくならなければ、9月23日に国民医療推進協議会を開催し、国民運動として反対していくよう、署名活動や都道府県での集会、全国集会などの運動方針を決める。これは、絶対に止めなくてはならない。定期的に受診する高齢者にとっては容認できるものではない。

#### 4. 審査支払機関におけるコンピュータ審査について(熊本県)

電子レセプトの義務化により、そのデータを活用したコンピュータによる審査が押し進められている。突合点検、縦覧点検、通覧点検、横覧点検や調剤審査の点数制限の撤廃と薬剤審査等から、審査内容は詳細な項目への拡大、厳格化等が予想されている。各県の対応と会員への指導状況、日医の見解を伺いたい。

#### 5. レセプト電算化に伴う審査、特に保険者再審について(大分県)

最近、保険者再審と思われる減点・査定の中に、非常に細かい指摘が見られる。これは保険者側がコンピュータ等による機械審査を行っている可能性を否定し得ないと考える。機械審査では傾向・画一的診療や5年通知による裁量性を判断できないと思われ、仮に保険者が機械審査を行っているのであれば、そのアルゴリズムを公開すべきと考える。日医の考えを伺いたい。

各県の回答 各県では、様々な形で情報提供が行われている。裁量性について、実際はかなり狭められているのが現状で、医療の実態とレセプトがかけ離れているという意見も出された。アルゴリズムについては公開を求める意見が殆どであった。

日医鈴木常任理事 - 症例は1例1例違い、機械審査ではそこまで見られないので、最終的に人が見ている。医療が高度化するほど、専門家による審査が重要になってくる。

#### 6. 保険者の申し出による再審査の査定について(鹿児島県)

今年度に入り、保険者からの再審査の査定が厳しくなっている。鹿児島県では、入院中の他医療機関の入院基本料減額や転院時における処方等の査定について、会員から多くの照会を受けている。日医には改めて入院基本料の減額や外来受診先での投薬制限の縛りを撤廃して頂くよう国に要望して頂きたい。



#### 7. 入院中の患者の他医療機関への受診における減算について(福岡県)

昨年の本協議会において、5県から改善を求める提案がなされ、早急に是正されるべきとの意見が大半であった。次期改定では是正されるよう再度要望する。

#### 8. 患者が転院する場合の退院時処方の算定について(宮崎県)

宮崎県では、今年度から、厳格に適應されて事務査定が行われている。他県での状況を伺いたい。また、転院時においても必要最小限の処方や、特殊薬剤の処方を認めるように改善が図れないか日医の見解を伺いたい。

各県の回答 他医療機関受診の取り扱いについては、九医連として、既に日医に是正を要

望している事項であるが、再度、改善が要望された。退院時処方については、特に特殊な薬剤等は転院先医療機関で処方することができず、現場の実態にそぐわないことから、改善を要望する意見が大勢であった。

日医鈴木常任理事 - 不合理な項目の優先事項としてとらえている。現場に即した対応を厚労省と協議していきたい。

#### 9. 九州厚生局による個別指導及び施設基準等に係る適時調査について( 沖縄県 )

請求のルールや施設基準の解釈の誤りは正すべきであるが、何を基準として誤りとされたのか判断の根拠を示すべきで、特に指導官によって異なる判断により、返還を求めるようなことがあってはならない。各県の実情と日医の見解を伺いたい。

各県の回答 - 重箱の隅をつつくような指導や平準化の名のもとにローカルルールの見直しが行われている県もある。また、情報提供による指導は、医療機関側の事前調査など情報提供内容の確認もなく、即指導となるのは不公平ではないかとの意見が出された。適時調査については、医師会への情報提供もないので、実態は把握できていないが、泣き寝入りしている事例もあるのではないかとの意見が出された。

日医鈴木常任理事 - 現在、指導・監査の運用見直しに着手しており、来年度からスタートできるのではないかと考えている。適時調査については、今後調査を行い問題があれば改善していく。

#### 10. 診療報酬適正化連絡協議会について( 福岡県 )

平成 23 年 2 月付で厚労省から地方厚生局あてに、「診療報酬適正化連絡協議会」の設置が都道府県単位で求められている。設置運営規程では、構成機関は地方厚生局、県民生主管部、支払基金、国保連合会の 4 者となってい

る。国民のために公平で中立な診療報酬の適正化を図るためには、診療担当者の代表の参加と意見聴取が欠かせないとする。このことについて日医の考えと各県の現況を伺いたい。

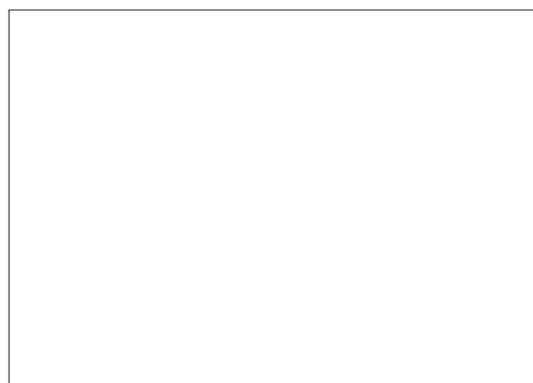
各県の回答 各県とも、「診療報酬適正化連絡協議会」は前述の機関のみで設置されているように医師会には情報提供は行われていない。各県からは、医師会からの委員参画が必要との意見が出された。

日医鈴木常任理事 - 審査支払機関が、事業仕分けの対象になったときに作られた「保険者に向けたサービス向上計画」に基づき設置されたもので、我々への相談は殆どなく決められている。これについても調査の上、対応していきたい。

出席者 - 河野・富田副会長，上田・済陽理事，  
牧野主事

### 介護保険対策協議会

佐賀県山津常任理事の司会進行で、はじめに日医三上常任理事より挨拶があり、佐賀県松永副会長が座長に選出され協議に入った。



#### 1. 介護認定審査会の専門性について( 大分県 )

大分県より、神経難病などの医療依存度の高い疾患や、障害者などに対して障害者基本

法，発達障害者支援法は65歳以上では介護保険が優先されることになっており，適切に判断できる専門性の高い介護認定審査会が必要ではないかと提案があった。

各県，必要性は感じていたが，審査会医師の確保にさえ苦勞している現状では，なかなか難しいという意見もあった。長崎市では，認定審査会の二次審査において，審査員の判断で精神科医の助言を得ることができるシステムがあるとのことであった。

## 2．介護保険認定審査会における認定審査会資料の事前配布について(熊本県)

限られた時間内でより適切な審査を行うには事前配布が良い方法であり，本県を含む4県においてすべての圏域で事前配布をしていた。一方，福岡県では28のうち9圏域でしか事前配布を行っていなかった。また，パソコンを利用する審査会では配布できないとの報告もあった。

主治医意見書記載のための，参考資料として申請者情報把握アンケートについて

(熊本県)

熊本県では主治医意見書作成の資料となるような予診票を作成するモデル事業を開始する。各県の状況の照会があった。

宮崎県では，平成22年度より「主治医意見書予診票」を用意し活用を促している。他県では，郡市医師会単位で作成しているところもあったが，全県下で作成している県はなかった。

## 3．認知症は要介護認定で正当に評価されているか(大分県)

大分県より，介護保険開始時からの認定審査データを2群(旧方式，現行方式)に分け，認知症が要介護認定で正当に評価されているか検討した結果が示された。

認知症の介護の大変さは，旧方式でも新方

式においてもさほど考慮されていない。一次判定での認知症に対する介護の手間の大変さをもっと評価しやすいものにしていく必要がある。また，二次判定で認知症に対する要介護度のかさ上げがなされていることも示された。二次判定の資料となる主治医意見書の特記欄の記載の内容によってかさ上げ分が大きく変わってくる可能性が強いと思われる。熱心な先生は自宅に赴いて実際の介護の手間の大変さを普段から見聞きしているが，そうでない先生は数回の外来診察だけで意見書を記載するため，その内容の差は大きいと考えられる。今後主治医意見書の記載のための講習会をさらに充実させていく必要がある。

## 4．癌終末期における介護認定(長崎県)

長崎県より，癌終末期の場合，審査時点ではADLが保たれており，要介護1相当以下の判定であっても，数日後には介護度が急激に悪くなっていることも多々あるので，認定審査において，癌終末期であれば状況に係わらず，要介護2以上の判定を付けていただくか，病状に応じた介護度に速やかに変更ができる制度を作っていただきたいと要望があり，各県とも同様の意見であった。

日医三上常任理事 - 一部自治体では，介護サービスを前倒しするようなことをしているが，交渉していきたい。

## 5．介護保険各施設の役割分担があいまいになっている。本来の施設のあり方を全うし，役割分担をすべきではないか。(熊本県)

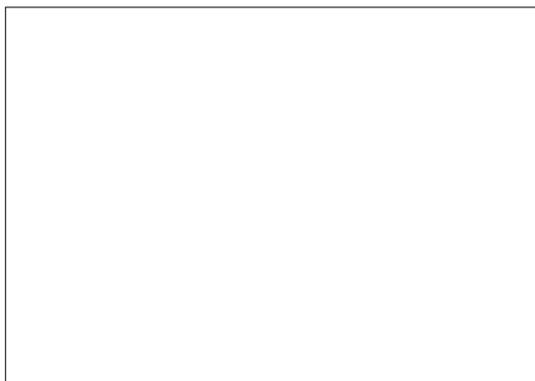
熊本県より次の通り説明があった。

介護老人福祉施設と介護老人保健施設は本来生活の場(ホーム)と家庭復帰を支援するリハビリ施設という役割があったはずである。しかし，現在では入所者の平均介護度はどちらも介護度4以上と利用者の介護度は接近しており，どちらも重度の利用者が占めている。

老人保健施設も家庭復帰が困難であるばかりか長期滞在が普通となり特養化している。国が推進している在宅介護を実現するには、老人保健施設本来の役割を果たすことが「地域包括ケア」の実現に必要なではないかと考える。

各県同じような状況であり日医に意見を求めた。

日医三上常任理事 - 本来はそれぞれ施設の人員配置基準などが違い機能が分かれ、利用者が施設を順番に移っていくということが原則の制度であったが、すべての施設で利用者が重度化しており、看取り加算もすべての施設につく。報酬体系についても根本的な議論が必要である。



#### 6. 看取りの場所の確保について( 鹿児島県 )

鹿児島県より次のような意見があった。

日本人の年間死亡数は、約 119万 4 千人で、死亡場所の約 8 割は医療機関である。また、社会保障・人口問題研究所は、今後、死亡数は増加し続け、平成 52年に 166万 3 千人のピークになると推計している。介護保険では、ターミナルケア加算が認められているが、介護老人福祉施設、介護老人保健施設においては、医療が外付けになっていないため、看取りについて十分な対応ができない状況にあると考える。療養病床の再編が進む中で、医療機関における看取り数には限界があると思われ、加算を増額し、介護老人福祉施設、介護老人

保健施設での看取りを一層進める必要がある。

各県とも同様の意見であった。長崎県からは介護施設へ行った看取りについてのアンケート結果が報告された。その結果は 4 割の施設で看取りを行ったことがあり、施設別では介護老人福祉施設で 7 割、介護老人保健施設で 5 割、グループホーム 3 割、有料老人ホーム 4 割、ケアハウス 1 割と重度の入所者が多い施設で高かった。看取りができない理由としては、医療のバックアップ不足が一番に挙げられた。

また、一人医師診療所では看取りや死亡診断書作成などは困難であるという意見もあった。

#### 7. 訪問看護を医療保険に( 長崎県 )

長崎県より、介護保険において、急速に症状が悪化した場合には、特別指示書や介護認定の変更などで対処するようになっているが、必要な介護、特に訪問看護により行えるサービス量が介護認定に追いついていけない場合が多々見受けられる。在宅医療における訪問看護はケアマネによる主導でなく、医師がイニシアチブを取れるような制度に変更することを強く働きかけていただきたいと日医に要望があった。

日医三上常任理事 - がん等の場合特別指示書等で医療保険が使えるので、対象を拡充していくようにやっていきたい。状態が安定している時は介護で、リハ期、維持期や状態が落ち込んできた時は一時的に医療保険を使って状態を立ち上げるようなことができるとよいと思っているので議論していきたい。

#### 8. 認知症のリハビリについて( 長崎県 )

長崎県より次の通り要望があった。

動ける認知症の方が大腿骨頸部骨折を起こした場合、通常であれば手術を行い、その後 2 ~ 6 か月の回復期リハビリを行うところで

あるが、認知症の程度によっては入院自体が困難であったり、よしんば可能であったにしても、認知症自体が環境の変化で進行したりするため、現実には早期の自宅復帰がすすめられている。ところがグループホームを代表とする居宅系施設においてはリハビリを継続するシステムが今のところ見当たらない。維持期リハビリも以前から問題になっているが、せめて回復が見込める時期は居宅系施設内で外付けのリハビリを可能にするよう制度を改めていただきたい。

日医三上常任理事 - 認知症は地域包括ケアの中でも、社会保障と税の一体改革の中でも重要な課題の一つに挙げられている。十分議論をしていきたい。

#### 9. 訪問リハビリテーションを提供する際の2重受診の不合理性について(宮崎県)

本県より次の通り問題提起を行い日医の見解を伺った。

訪問リハビリテーション事業所の医師がリハビリの指示書を書く際に、利用者の主治医から情報提供を受けて記載することになっている。しかし最近、情報提供書を受けるだけでは訪問リハビリの指示書を書いてはならず、訪問リハビリテーション事業所の医師もまた、利用者を毎月診察する必要がある旨の通達がいろいろな県でなされている。これを厳格に実施するのであれば利用者は毎月2か所の医療機関を受診するか、もしくは2か所から訪問診療を受けなければならなくなり負担である。

日医三上常任理事 - 患者の利便性を考えると難しい問題であるが、日医としては、かかりつけ医とリハビリテーション事業所の医師がそれぞれ診療をするということが、医療の立場を守る大事なことだと考える。

#### 10. 介護予防サービスを介護保険の対象外にし

ようとする動きについて(鹿児島県)

鹿児島県より次の通り説明があり各県の意見を聞いた。

昨年11月の社会保障審議会介護保険部会「介護保険制度の見直しに関する意見」において介護予防サービスを介護保険の対象から外すことについて賛否両論併記で報告された。来年の診療報酬・介護報酬同時改定については、このことは前面に出ては来ていないし、今回の改定では、実施されないだろうとの予測は流れている。介護予防サービスは、施設費を除くと介護保険費の約1割を占めており、介護保険対象外になることにより、市町村の予防事業に移行したとしても多数の事業所経営に影響を与えられられる。介護予防サービスを介護保険の対象外とすることは、極めて慎重であるべきと考える。

各県では介護予防サービスを介護保険に残すべきという意見が多かったが、限られた財源の中、また今後さらに要介護者が増えていく中で慎重に検討すべきという意見もあった。日医三上常任理事 - 介護予防サービスがなくなるわけではなく自治体がすることになるのだが、財政難なので縮小することも懸念される。日医はすべて介護保険でと言っている。

#### 11. 特別養護老人ホーム等の入所者の診療の制限について(福岡県)

福岡県より次のような意見があった。

特別養護老人ホーム等に入所している方々に医療を提供しても初再診料、指導料、在宅医療などが請求できないという厚生労働省保険局課長通知があり、配置医師が診療を行っても適切な保険請求ができない。さらに、1人医師の診療所は、特別養護老人ホームに行っている間は自院を閉めなければならず、現状のように収入が減少している中で限界がある。厚生労働省は特別養護老人ホーム等の介護報

酬等に医師の給与分が含まれているため、そこから給与を取るべきと言っているが、十分な対応とは言えないと考える。特別養護老人ホーム等に入所している方々の診療の際にも、一般の外来や在宅患者と同じように適切な保険請求ができるようにすべきと考える。

医療をすべて外付けにすべきなのか議論が行われたが明確な答えは出なかった。しかし各県とも制限の見直しは必要との意見であった。配置医師の給与について各県で格差が大きく、給与が高い県においては、特養での医療行為の制限について問題視されていなかった。

また、本県の立元常任理事より、県行政から平成 22年 6月 1日に「嘱託医が特養に往診しない日は自院の看護師が行って点滴しても）保険算定はできない」との通知が発せられた件について報告をしたが、日医三上常任理事は、点滴の薬剤料は算定できるようにするように厚労省と交渉すると発言された。

## 12. 介護職員によるたん吸引の実施について

(福岡県)

福岡県より次の通り説明があった。

平成 23年 6月 15日に「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」が成立し、2019年度から医師、看護師との連携を前提に、研修を受けた介護職員らにたん吸引と経管栄養の実施が認められるようになった。しかし、実施に当たっては、講義・演習などが中心の基本研修と実技を行う実地研修で構成する総合的な研修の受講が必須であり、さらに実施を認めた後も定期的な指導や監督などフォローアップ研修をやっていく必要があるとされている。

各県医師会の意見 - 行政から相談がきている県、きていない県まちまちであったが、研修には積極的に関わっていくとした県がほとん

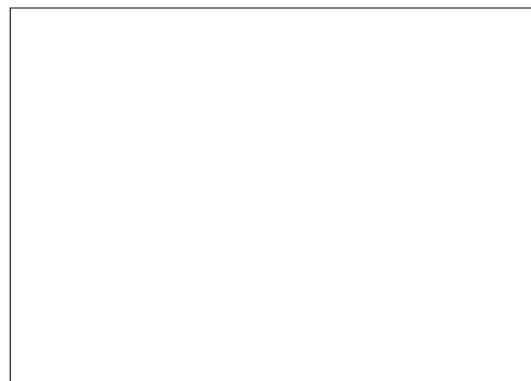
どであった。

日医三上常任理事 - 日医としては介護職員によるたん吸引にはずっと反対をしてきた。今後、実地研修をする場を医師会に求めてくると思う。しかし、患者さんの同意かどうかを含めて研修の場を確保するのは非常に難しいと考える。講師の依頼などには協力していただきたい。

出席者 - 立元・石川常任理事，金丸・矢野理事，  
久永課長補佐

## 医療安全対策協議会

佐賀県貝原常任理事の進行により開会。日医高杉常任理事の挨拶の後、座長に佐賀県古賀常任理事が選出され協議に入った。



### 1. 各県医師会における、医療安全及び医事紛争対策に係る取組みについて(沖縄県)

沖縄県では、医療安全対策として、平成 22年度より「医療安全全国共同行動」に賛同し、医療に携わる各種医療団体と共同による講習会を企画開催している。また、医事紛争対策としては、毎年、医事紛争勉強会を開催し、診療科を限定した上で実際に発生した医事紛争事案を取り上げ、事案発生から解決に至るまでの経緯等を説明し、同様の事案が発生しないよう情報を共有している。各県の取組み

をご教示いただきたい。

## 2. 中小病院，診療所における医療安全対策の取組みについて( 鹿児島県 )

平成 19年の医療法改正により，従来の病院，有床診療所に併せて，無床診療所も医療安全対策，院内感染対策，医薬品の安全管理，医療機器の安全管理などの各種指針，職員研修等が義務づけられた。鹿児島県では，中小病院や診療所を支援するべく，インシデントレポート様式や日医作成の指針等の情報をまとめホームページに掲載している。また平成 19年度から中小病院，診療所における医療安全対策の事例発表研修会( 医療安全対策モデル事業 )を開催。今年度は，県薬剤師会・県看護協会の協力のもと，日本医療機能評価機構との共催で地域フォーラムを企画している。各県において，中小病院，診療所に対する医療安全対策の取組みや関係団体と共同で実施している事業があればご教示いただきたい。

## 3. 医療安全対策事業について( 福岡県 )

福岡県では，医療安全対策委員会で検討し，医療安全管理対策研修会・医療安全推進者講座・医療安全集中講座・診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業等を行っている。また，自浄作用活性化委員会ではハートフル研修会・安全管理研修会等を検討，その他，医療よろず相談電話・診療総合相談窓口等の事業も行っている。各県の医療安全対策への取組み状況をお聞きしたい。

## 4. 医事紛争解決後のフォローについて( 熊本県 )

熊本県では，医事紛争を起こした会員に対し，事故の再発防止を目的に本会主催の医療安全研修会( 年 3回 )への出席を促しているが，該当医師の出席は低調である。医事紛争解決後の会員のフォローについて，各県の取組みをご教示いただきたい。

1～4 は医療安全に関する取組みとして一

括協議

各県医師会の意見 - 各県いずれも，毎年，会員並びに医療関係者を対象とした医療安全または医事紛争対策の研修会を実施，県民から寄せられる医療相談，苦情等に対しては，相談窓口を設置し対応している。

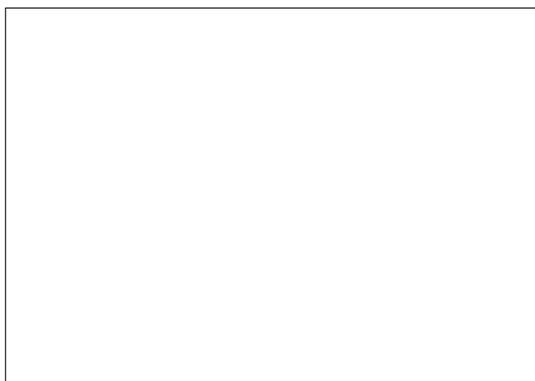
福岡県では，医療安全対策加算の施設基準となる医療安全対策に係る適切な研修( 8日間・40時間 )を修了した者を養成するため，医療安全推進者講座を開催し 628名が修了している。また「医療現場におけるトラブルや苦情，訴訟事例」から，会員がより患者・家族の立場に立った医療を提供することを目的としたハートフル研修会を開催している。また，熊本県では，事故防止に主眼を置き，患者からの苦情・クレームへの対処・院内における事故防止( 院内感染，医薬品，医療機器を含む )・事故発生後の対応等について，年 1回は，ロールプレイングを取り入れたワークショップ形式の実務に則した研修会を行っている。

医事紛争解決後のフォローについては，各県，対応にばらつきがあり，有効な対応策は報告されなかった。また，医療事故を繰り返すリピーターへの対策は，沖縄県では，該当の医師に反省文を作成してもらい三役及び担当理事に直接提出していただくという対応をとっており，福岡県では，同様の事故を起こし，日医医賠償保険から 3 回程度保険金の支払いが行われた会員に対しては，保険金の支払いをする際に注意・指導を行っているとの報告があった。最後に，鹿児島県から地域におけるリピーター会員への指導には限界があり，日医が強いリーダーシップをもって指導するシステムを構築していただきたいとの要望が出された。

日医高杉常任理事 - 医師会と個々の医療機関が，医療安全に対してしっかり取組まなけれ

ば国民の批判に耐えられない。前執行部の木下勝之先生が中心となり委員会で検討後、医療事故削減戦略システムを発表した。医療事故に対する取組みの前に医療安全がある。医療安全対策委員会で1月に検証結果をまとめ発表する予定なので、各県でもぜひ利用してほしい。医療安全は医師だけが取組むのではなく、患者に関わる医療機関の全職員が取組み、且つ情報等が還元されて本当の医療安全は達成できる。リピーター問題は地域医師会でしかできない部分もある。医師会の執行部が勇気を出して取組んでいかなければならない。

日医藤川常任理事 - 医療安全等の情報は、現場まで届かず活用されていないのが現状。患者と接する末端の医療関係者が認識し本当の意味がある。医療安全の研修会参加についても医療機関で温度差があり、リピーター問題にもつながる。医療安全への意識を高めるとともに医療事故調査の問題を解決しなければならない。



5 . 日本医師会の基本的提言の中にADR(裁判外紛争解決手続)の活用を推進するとあるが、各県医師会の医療紛争処理委員会の役割は終わったのか。(長崎県)

日本医師会医療事故調査に関する検討委員会の5つの提言の中に「ADRの活用を推進する」とある。現在、各県には医療紛争処理委員

会があり、第三者の立場で県医師会が仲介役を十分に果たしており、会員にとって現行制度は今後も必要不可欠な制度である。今後ADRとしてスキルアップするためにはどうすべきか各県のご意見等をお伺いしたい。

各県医師会の意見 - 各県に設置されている医事紛争処理委員会が、既にADR的役割を果たしているの、この機能を充実させるべきとの意見がある一方、宮崎県からは、多くの場合コミュニケーション不足等から医事紛争に発展している。しかしその時点で患者側は、既に医療機関に対し不信を抱いており、ADRでは医療機関側の真意が伝わりにくい。医療機関の規模等で差が出てくるため人的・資金的サポートが重要になるとの意見が出された。熊本県からは日医の提言については理解できるが、ADRは、アクセスしやすい形で当事者間の対話を推進することが基本。患者の申立てが主眼となり、医学的原因究明が十分尽くされないまま結論が出されるという不備も指摘されている。現時点では、現行の日医医賠償制度を維持しながら、ADRの研究を行っていく必要があるとの意見が出された。

また、沖縄県では、医事紛争処理委員会において、医師からの意見聴取に併せ、必要に応じて患者の意見も顧問弁護士に同席いただき聴取しているとの報告があり、今後、医療ADRとしての仕組みを確立している茨城県医師会の取組みを参考にしたいとの意見が出された。

日医高杉常任理事 - 医賠償保険制度は医療側のADRといえる。しかし患者が納得できない時はどうなるか。患者が被害届けを出せば警察は動く。多くの場合対話不足から疑心が生まれており、医療を理解してもらえよう最善を尽くすことが必要。また確かに地域によって人材に差がある。今までの医賠償保険では

完結しない。医賠償保険制度に加えADRが裁判にならないように解決するシステムとして考えてもらいたい。

ここで平成 23年 6月に日医医療事故調査に関する検討委員会から出された答申「医療事故調査制度の創設に向けた基本的提言について」の説明があった。基本的考え方は、医療事故の真の原因究明と再発防止。提言の概要は

全ての医療機関に院内医療事故調査委員会を設置する。医療界、医学界が一体的に組織・運営する「第三者的機関」による医療事故調査を行う。医師法 2条の改正を行う。

ADRの活用を推進する。患者救済制度を創設するの5つで、これに沿って説明が行われた。

#### 6. 医療事故発生への対応について(宮崎県)

「医療事故調査制度の創設に向けた基本的提言について」の中で、医療機関毎に、院内の医療安全委員会を元に事故調査委員会を設置することが提言されているが、小規模病院や診療所では対応が困難であり、医師会・大学等への調査支援依頼ができる体制構築が重要であるとされる。現在、各県においてそのような体制構築となる基盤はどの程度確立しているのかお伺いしたい。

#### 7. 全ての診療所にも院内医療事故調査委員会の設置を義務づけるのか。(長崎県)

日医の提言の中に「全ての医療機関に院内医療事故調査委員会を設置する」とあるが、病院では既に設置されているところも多いと聞いている。しかし、診療所においても公平性を担保された形で、自ら積極的に調査分析を行うことが重要とした上で、実施に向けては、制度設計を協議する場として、日医、病院団体、医学会、大学他の参加により専門委員会を立ち上げることを提案している。具体的な対応等をお伺いしたい。

#### 8. 医療事故調査制度の創設について(福岡県)

福岡県医師会では、平成 19年 7月より「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」の福岡地域事務局として事例受付を開始、これまで蓄積したノウハウを生かし院内医療事故調査委員会の設置が困難と考えられる診療所や中小病院の支援及び非解剖事例も対象とする方向で検討委員会を立ち上げて議論をしている。日本医師会で検討されている医療事故調査制度を参考に今後検討していきたいと考えているので、本制度についてご教示いただきたい。

6～8は医療事故調査制度として一括協議各県医師会の意見-各県から小規模病院や診療所における有事の際の医療事故調査委員会の設置は現実的ではないとの意見が出された。宮崎県からは、小規模な医療機関での調査委員会設置は難しく、人的問題からも医師会に置く形のほうが良いのではないかと。絶対的条件は医師法 2条の見直しまたは撤廃。積極的に働きかけをお願いしたいとの要望が出された。佐賀県からも、先ず医師法 2条の解釈の確定と実法である刑法上の業務上過失致死と業務上過失傷害を医療事故の対象外とし、その上での調査制度を創設すべきとの意見が出された。

日医高杉常任理事-医療事故調査委員会の設置について、中小病院でも診療所でも医療事故は起こりうることから、県医師会・地区医師会・大学・基幹病院等の関係機関と協力して補完していくことが重要である。医療事故調査制度の創設については、医療関係者や議員から一定の評価を受けているが、課題も多く、今後、幅広く意見を募り、より良いものにしていきたい。

出席者 - 佐藤・濱田・荒木常任理事、竹崎課長

## 日医 FAX ニュースから

### 「定額」やめた場合の保険料を試算 厚労省

高額療養費制度の見直しに必要な財源を、受診時定額負担の代わりに保険料引き上げで賄った場合、被保険者 1人当たりの保険料引き上げ額がどれくらいになるかを厚生労働省が試算した。10月 28日に開かれた民主党厚生労働部門会議の医療・介護ワーキングチームで提示した。

受診時定額負担の導入には反対意見が根強く、「なぜ病気やけがで弱っている患者からだけ、余分に医療費を取るのか」との意見が出ている。このため、保険料を通じて、健康な人からも平等に徴収した場合の影響を“粗い試算”として算出した。

協会けんぽの被保険者は、1人当たり平均で保険料が年間約 4,600円上がる見通し。2011年度ベースの保険料率に直すと約 0.1%増となる。同様に、組合健保の場合は年間保険料が約 4,400円引き上げられる見通し(保険料率ベースで 0.1%増)。市町村国保の場合は年間約 1,400円、後期高齢者医療制度は年間約 350円の保険料引き上げになる。(平成 23年 11月 1日)

### 「日本医療小説大賞(仮)」を創設 今村聡常任理事

今村聡常任理事は、11月 9日の記者会見で、「日本医療小説大賞(仮)」(主催：日医、協力：新潮社)を創設することを報告した。

本賞は、国民の医療や医療制度に対する興味を喚起する小説を顕彰することで、国民と医療関係者との信頼関係を更に深めることを目的として創設するものである。賞の規定は、(1)授賞対象 医療に関する小説とし、国民の医療や医療制度に対する興味を喚起または国民と医療関係者との信頼関係の構築などに貢献した作品、

(2)対象期間 各年 1月 1日～12月 31日までを対象期間とし、この期間内に書籍の形で発行された作品、(3)選考会 各年 3月、(4)発表「小説新潮」5月号誌上、(5)賞と賞金 記念品および副賞 100万円、(6)選考委員：篠田節子、久間十義、渡辺淳一(予定)となっており、第 1回目の受賞者は来年 3月に決定する予定となっている。

今村(聡)常任理事は、「昨今、医療にかかわる映画、漫画、書籍などが増え、国民の医療への関心も高まりつつある。本賞を通じて、医療だけではなく、国民の日医に対する認知度も向上すれば良いと考えている」と述べ、本賞への期待感を示した。(平成 23年 11月 11日)

### 柔道療養費の在り方で検討の場 厚労省、来年度に設置へ

厚生労働省の社会保障審議会・医療保険部会で 11月 9日、増加する柔道整復療養費に対する問題意識が浮き彫りになり、適正化を進める必要があるとの認識で一致した。厚生労働省は 2012年度に、柔道整復療養費の在り方について中長期的視点で検討する場を設定する予定だ。

厚労省がこの日の会合に示した資料によると、柔道整復療養費は最近、国民医療費の伸びを上回る勢いで増加しており、09年度推計では約 4,023億円に上るといふ。就業している柔道整復師数も増加傾向にあり、10年度末現在で 5万 428人という状況になっている(東日本大震災の影響により宮城県を除いた集計値)。(平成 23年 11月 11日)

### 「看護師特定能力認証制度」結論出さず チーム医療推進会議

厚生労働省は 11月 18日、「チーム医療推進会議」(座長 = 永井良三・東京大大学院医学研究科教授)に看護師特定能力認証制度の骨子案を提示した。同日の会合では、骨子案に対し賛否両論が寄せられ結論は得られず、議論を継続することとし

た。厚労省は 12月上旬の社会保障審議会・医療部会に、骨子案とチーム医療推進会議での議論状況を併せて報告する予定だ。

永井座長は、看護師の特定能力認証制度に関する背景について「看護師が実施している行為の中にグレーゾーンがある。柔軟性のない制度とはしない。グレーゾーンの行為も 100%の医療機関で実施されているわけではない。この点は共通認識であると整理。その上で「国家資格とするメリット、デメリット。国家資格としないメリット、デメリットで意見を頂きたい」と委員らに求めた。

委員からは賛成する意見が出た一方で、「国家資格というものは『持っている人はできる』『持っていないとできない』というもの。看護師がさらに認証という国家資格を得る。非常に分かりにくい（藤本晴枝委員 = NPO 法人地域医療を育てる会理事長）；日本医師会としての意見書を出している。医療安全が損なわれないよう慎重な議論をすべき（藤川謙二委員 = 日医常任理事）、「実証事業の検証をしないまま議論を早急に進めるのはどうか（宮村一弘委員 = 日本歯科医師会副会長）と、慎重な対応を求める意見も上がった。

藤川常任理事など有志委員が意見書提出

また、同日、永井座長に対し、藤川常任理事などチーム医療推進会議委員 5 人、チーム医療推進方策検討ワーキンググループ委員 1 人の合わせて 6 人が連名で「特定看護師（仮称）制度について、12月の社保審・医療部会に諮ることは、時期尚早であり、反対であります」とする意見書を提出した。（平成 23年 11月 2日）

### 本体改定率「据え置き・抑制」と判定 政策仕分け、財務色濃く

政府・行政刷新会議による提言型政策仕分けは 11月 2日、ワーキンググループ B で「医療サー

ビス」を取り上げ、次期診療報酬改定の本体改定率について評価者は「プラス改定 = 0 人 据え置き = 6 人 抑制 = 3 人」との判断を示した。その上で、こうした評価者の意見があったことを「重く受け止めて対応すべき」と取りまとめた。

改定率に関する資料は財務省が説明した。医療費を 3兆円とし、診療報酬を 1%引き上げると医療費が約 3,600億円増え、国民負担も増すと指摘。医療費負担の内訳を、税 37%、保険料 49%、患者負担等 14%とした場合、診療報酬 1%引き上げで税が約 1,350億円、保険料が約 1,750億円、患者負担が約 500億円増加すると解説した。

さらに物価や民間賃金、公務員給与が下がっている中で、医師給与だけは増加傾向にあるとも指摘。その上で「診療報酬本体の引き上げは国民の理解が得られず、引き下げはやむを得ないのではないか」と問題提起した。

その後の議論が診療科や地域ごとの医師の偏在問題などに移り、改定率の増減についてはさほど意見が交わされない中で、最終的に評価者の意見を集約。財務省の提案がワーキンググループの取りまとめとして色濃く反映される結果となった。

重く受け止める 小宮山厚労相

政府・行政刷新会議の提言型政策仕分けで、診療報酬本体の「据え置き」を求める意見が多数を占めたことを受け、小宮山洋子厚生労働相は 11月 23日、結果を重く受け止める姿勢を示した。

小宮山厚労相は仕分け結果について「（診療報酬を）引き上げなくても診療科や地域の偏在の点で重点化をすればいいというご指摘だと思う」との認識を示し、「（仕分けは）総理がトップでやっている会議なので重く受け止めながら、ご意見もうかがいながら、どのようにしたら本当に必要となる所に力を入れられるのが改めて検討していきたい」と述べた。（平成 23年 11月 2日）

## 薬事情報センターだより ( 295)

## 新薬紹介( その 52)

今回は 9月に薬価収載された長時間作用性吸入気管支拡張剤オンプレス吸入用カプセル 150 $\mu$ g (一般名: インダカテロールマレイン酸塩)とヒト型抗ヒト TNF モノクローナル抗体製剤シンボニー皮下注 50ngシリンジ(一般名: ゴリムマブ(遺伝子組換え))について紹介いたします。

オンプレス吸入用カプセル 150 $\mu$ g(一般名: インダカテロールマレイン酸塩)

インダカテロールは、中枢気道から末梢気道まで広く分布するアドレナリン<sub>2</sub>受容体を刺激し、細胞内 cAMP の濃度を増加させることによって、気管支平滑筋を弛緩させる長時間作用性<sub>2</sub>刺激薬です。吸入後 5分から気管支拡張効果が発現し、1日1回の吸入で呼吸機能改善効果が 24時間持続する、即効性と持続性の両方を兼ね備えています。

本剤は、2009年 11月に EUにおいて「COPD 患者における気道閉塞性障害の気管支拡張維持療法」を適応症として承認され、2011年 9月現在、世界 62か国で承認されています。本邦においては、2011年 7月に「慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解」を効能・効果として承認され、9月に発売されました。

本剤は、専用の吸入用器具「ブリーズヘラー」を用いて吸入します。透明のカプセルに薬が充填されているため、カプセル内の薬剤の有無を目で確認できます。また、吸入時には、カプセルの回転音が聞こえます。さらに、添加物として乳糖が含まれているため、吸入直後に口の中がかすかな甘みを感じることができます。これらによって、吸入を確認することができます。

慢性閉塞性肺疾患を対象に本剤 150 $\mu$ g又は 300 $\mu$ gを投与した国際共同第 Ⅲ相試験において、総症例 230例(日本人 102例含む)中 27例(11.7%)に副作用が認められました。主な副作用は咳嗽 10例(4.3%)、蕁麻疹 3例(1.3%)等でした。日本人患者では 102例中 20例(19.6%)に副作用が認められ、主な副作用は咳嗽 9例(8.8%)、蕁麻疹 2例(2.0%)等でした。また、重大な副作用として、<sub>2</sub>刺激剤により重篤な血清カリウム値の低下が報告されています。

シンボニー皮下注 50ngシリンジ(一般名: ゴリムマブ(遺伝子組換え))

シンボニーは、免疫介在性炎症性疾患の治療を目的として、米国セントコア社(現 Janssen Biotech, Inc.)で新しく開発されたヒト型抗ヒト TNF モノクローナル抗体です。トランスジェニックマウスにヒト TNF を免疫することにより創製された、ヒト免疫グロブリン G(IgG)のアミノ酸配列を有する製剤です。可溶性及び膜結合型 TNF に結合することにより、TNF 受容体との結合を阻害することで、TNF によって誘導される細胞内シグナル伝達を抑制します。さらに、TNF 受容体に結合している TNF の解離を促進することでシグナル伝達を遮断し、さらなる炎症性サイトカインの産生ならびに接着因子の発現を抑制し、また、可溶性及び膜結合型の TNF の生物活性も抑制します。なお、本剤は、4週間に 1回の皮下注射投与のプレフィルドシリンジ製剤であるため、患者さんの負担軽減にも寄与すると考えられます。

本剤は、米国で 2009年 4月に承認され、2010年 10月現在、世界 38の国と地域で承認されています。本邦においては、2011年 7月に「既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)」を効能・効果として承認され、9月に発売されました。

国内臨床試験における安全性評価対象症例 581例中 449例(77.3%)に副作用(臨床検査値異常を含む)が認められました。主なものは、鼻咽頭炎 131例(22.6%)、上気道感染 66例(11.4%)、注射部位紅斑 54例(9.3%)等でした(承認時)。また、重大な副作用として、敗血症性ショック、敗血症、肺炎等の重篤な感染症、結核、脱髄疾患、重篤な血液障害、うっ血性心不全、重篤なアレルギー反応、ループス様症候群が報告されています。

## 参考資料

オンプレス吸入用カプセル 150 $\mu$ g、シンボニー皮下注 50ngシリンジ各添付文書・インタビューフォーム

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター  
永井 克史)

## お知らせ

平成 23年度日本医師会認定医療秘書養成制度  
卒業生求職のお願い

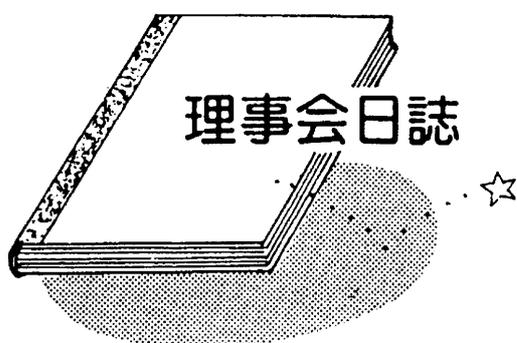
宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも養成校では力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内 3 教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

(平成 23年 11月 28日現在)

|                                                          |                                                 |                                                                 |
|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 宮崎学園短期大学<br>(宮崎市)                                        | 宮崎医療管理専門学校<br>(宮崎市)                             | 都城コアカレッジ<br>(都城市)                                               |
| 就職希望者 8 名<br>(女 8 名)                                     | 就職希望者 16名<br>(男 2 名, 女 14名)                     | 就職希望者 9 名<br>(女 9 名)                                            |
| 連絡先: 0985-85-0146<br>宮崎市清武町加納 1415<br>担当: 佐土原 敦<br>谷口 和子 | 連絡先: 0985-86-2271<br>宮崎市田野町甲 1556-1<br>担当: 福元 進 | 連絡先: 0986-38-4811<br>都城市吉尾町 77-8<br>担当: 谷上 智子<br>中山さおり<br>吉原真由美 |



平成 23年 10月 4日(火) 第 16回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 10/2林(児湯)個別指導(医科)の実施に係る立会いについて  
役員 1 名の立会いが承認された。
2. 医療費通知及びジェネリック医薬品利用差額通知に係る御理解と御協力について  
国の施策で各保険者に通知が義務付けられているが、特にジェネリック医薬品に関しては、製薬会社の情報提供等、多くの問題を残している。患者に誤解を与えることのないように注意して、保険者の責任で行うよう回答することとなった。
3. 本会外の役員等の推薦について  
「宮崎県地域医療支援機構」の設立及び同機構代表者会議の委員就任について  
稲倉会長が委員に就任することが承認された。
4. 後援・共催名義等使用許可について  
H 24.1 /28土)~ 29日(日南文化センター)第 9 回県作業療法学会の名義後援について  
(一般社団法人県作業療法士会会長、第 9 回県作業療法学会実行委員長)  
名義後援を行うことが承認された。
5. 11/2火(県医)県福祉保健部・病院局との懇談会について

日程及び次第の確認が行われ、県並びに病院局に案内することが承認された。また要望項目については、10月末を目途に各郡市医師会に照会し、昨年の要望等を踏まえ担当役員がまとめていくこととなった。

6. 平成 24年度九州医師会医学会・総会について

懇親会のアトラクションについて

本県出身者等、本県に所縁のある方を中心に候補者を選定し、早めに検討を行っていくことが承認された。

記念行事卓球大会の開催会場について

世話人より提出されていた要望を検討した結果、卓球大会を都城で開催することが承認された。

7. インフルエンザの予防接種について

佐藤常任理事から、ワクチンの供給見込みや用法・用量等の説明が行われた後、厚生労働大臣宛にワクチン接種緊急促進事業の継続に係る要望書を提出することが承認された。

また、各医療機関で接種料に大きな差があると患者が困惑するとの問題提起があり、独占禁止法にも関連するが、公費や診療報酬等を参考に適正な接種料について各専門分科医会等に文書を発出することが提案され承認された。

8. H 24.1 /27金(日医)「2020.30」推進懇話会参加者推薦について

各県 2 名の推薦依頼があり荒木常任理事の推薦が承認され、後 1 名については、各郡市医師会等に照会し人選していくこととなった。

9. H 24.2 /1金(日医)女性医師支援事業連絡協議会について

荒木常任理事が出席することが承認された。

## (報告事項)

1. 9月末日現在の会員数について
2. 10/1(土) 宮観ホテル 九州首市医師会連絡協議会懇親会について
3. 10/2(日) 宮観ホテル 県立宮崎病院開設90周年記念式典について
4. 9/28(水) 宮崎労働局 労災診療指導委員会について
5. 9/30(金) 日医 日医医療秘書認定試験委員会について
6. 10/1(土) 北警察署 県警察医会総会について
7. 9/29(木) 県医 自賠委員会について
8. 9/29(木) 県医 損害保険医療協議会について
9. 10/4(火) 県医 治験審査委員会について
10. その他  
公益法人化準備委員会について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

1. 10/25(水) 東京 衆議院議員 江藤 拓「希望ある未来を拓く」政経セミナーについて  
セミナーに参加・協力することが承認された。
2. 11/20(日) 宮観ホテル「かわむら秀三郎国政報告&パーティ」について  
報告会に参加・協力することが承認された。

平成 23年 10月 11日(火) 第 17回常任理事会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 11/18(金) 佐賀 九医連第 32回常任委員会・第 102回臨時委員総会並びに 11/19(土) 九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会の開催について  
常任委員会への提出議題については会長一任となり、理事者で提案がある場合は申

し出ることとなった。

2. 本会外の役員等の推薦について  
宮崎県慢性腎臓病(CKD)対策連絡協議会委員の推薦及び就任について  
古賀常任理事を推薦することが承認された。
3. 宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について  
慎重に検討を行い、2名を推薦することとなった。
4. ノバルティス地域医療賞候補者の推薦について  
要件等の確認が行われ、再度、各都市医師会に候補者を募ることとなった。
5. 東九州自動車道及び九州中央自動車道等の早期完成と道路整備予算の確保要望に係わる署名依頼について  
趣旨に賛同し、署名活動への協力並びに発起人となることが承認された。
6. 平成 23年度高次脳機能障がい講演会の委託契約について  
委託契約を締結することが承認された。
7. うつ病医療体制強化事業について  
研究会の実施並びに検討部会の設置を含めた強化事業に協力することが承認され、委員の人選については、専門分科医会と部会に推薦を依頼することとなった。

## (報告事項)

1. 10/10(水) 宮観ホテル 県アイバンク協会設立30周年記念大会について
2. 10/6(木) 県医 医療安全対策セミナーについて
3. 10/7(金) 県医 公益法人化検討委員会について
4. 10/6(木) 日医 産業保健活動推進全国会議について

## 5. その他

公益法人化準備委員会について

医師連盟関係

(報告事項)

- 10/8(土)佐賀 第3回日医連(九州ブロック)医政活動研究会について

平成 23年 10月 18日(火) 第 18回常任理事会

医師会関係

(協議事項)

- H 24.1 /28(土)佐賀)九医連平成 23年度第 2 回各種協議会の開催種目について  
医療保険と介護保険の順序で回答することが承認された。
- 平成 23年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について  
慎重に検討した結果, 5 名を推薦することが承認された。
- 後援・共催名義等使用許可について  
10/28(金)宮大)・29(土)南九大 第 11回日伊科学技術宮崎国際会議 2011の後援(名義)について  
名義後援を行うことが承認された。  
H 24.3 /3(土)宮日会館 第 4回宮崎県スポーツ学会の名義後援依頼について  
名義後援を行うことが承認された。
- 本会外の役員等の推薦について  
宮崎県成人病検診管理指導協議会委員の推薦について  
事務局から, 現委員の意向を確認した上で, 留任の方向でお願いすることが承認された。
- 「医療事故調査に関する検討委員会」答申に関するアンケート調査の回答について  
各郡市医師会の意向を踏まえた回答案が提出された。これを各自持ち帰り, 疑問点

等があれば, 後日, 会長に申し出ることとなった。

## 6. 業務委託について

生活習慣病検診従事者研修医事業に係る業務の委託契約について

契約を締結することが承認され, 研修会の講師の検討が行われた。

## 7. 受診時定額負担に反対する署名運動の実施について

署名運動に積極的に協力すること並びにスケジュール等の確認が行われた。また, 県民会議の役員会(11/25)並びに大会(12/16)を開催することが提案され承認された。

(報告事項)

- 10/12(水)支払基金)支払基金幹事会について
  - 10/13(木)県警本部)県犯罪被害者等支援連絡協議会総会について
  - 10/14(金)延岡)地域エコチル調査運営協議会について
  - 10/15(土)JA A Z M 別館)園医部会総会・研修会について
  - 10/12(水)県総合保健センター)平成 23年度インフルエンザワクチン対策連絡会議について
  - 10/18(火)県庁)県個人情報保護審議会について
  - 10/13(木)県医)女性医師委員会について
  - 10/14(金)県医)広報委員会について
  - その他  
公益法人化準備委員会について
- 医師連盟関係
- (協議事項)
- 11/24(木)東京)第 14回武見セミナーについて  
セミナーに協力することが承認された。

## 平成 23年 10月 25日(火) 第 9 回全理事会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 11/17(木)延岡)社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について  
役員 1 名の立会いが承認された。
2. 後援・共催名義等使用許可について  
11/26(土)都城)第 16 回認知症かかりつけ医研修会共催のお願いについて  
共催することが承認された。
3. 会費減免申請について  
高齢による申請(県医)1 件が承認された。
4. 12/3(土)日医)平成 23年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催について  
濱田常任理事と県産婦人科医会が推薦する医師 1 名の出席が承認された。
5. 12/9(金)日医)「日本の医療を守るための総決起大会」への参加依頼について  
本会より 5 名参加することが承認された。  
また宮崎県の行動計画として、11/25(金)に県地域医療・福祉推進協議会代表世話人会を開き、12/16(金)に集会を開催すること、署名活動の推進として全会員に毎週 FAX ニュース等で協力を依頼すること等の説明が行われた。
6. 宮崎の災害情報システムについて  
東日本大震災を教訓に、県透析医会からも大規模災害時の透析患者の診療を危惧する声があがっているため、宮崎大学が計画している災害情報システムを活用し、透析患者の情報等を追加登録することが提案された。今後、関係機関とも調整を重ね協力していくことが承認された。
7. 11/30(火)日医)平成 23年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会の開催について  
上田理事の出席が承認された。

8. 11/30(火)日医)平成 23年度都道府県医師会看護問題担当理事連絡協議会の開催について  
長倉理事の出席が承認され、事前の質問等については、長倉理事が回答案を作成することとなった。
9. 公益法人制度改革に伴う公益社団法人への移行に関する件について  
公益法人化検討委員会の中間及び最終答申を踏まえ検討した結果、公益法人に移行すること並びに議案として代議員会に提出することが承認された。
10. 公益法人制度改革に伴う宮崎県医師会定款変更(案)について  
宮崎県医師会定款変更(案)の確認が行われ、併せて代議員会に提出することが承認された。
11. 公益法人制度改革に伴う宮崎県医師会定款施行細則変更(案)について  
宮崎県医師会定款施行細則変更(案)の確認が行われ、併せて代議員会に提出することが承認された。
12. 公益法人制度改革に伴う宮崎県医師会選挙細則変更(案)について  
宮崎県医師会選挙細則変更(案)の確認が行われ、併せて代議員会に提出することが承認された。なお、協議 10・11・12について、これら変更案の主旨を損なわない範囲での文言や記載内容の修正については、会長に一任することも承認された。
13. 11・12月の行事予定について  
主に公益法人制度改革に関連する臨時代議員会と臨時総会を 11/29(火)に開催することが承認された。その他 11月の追加行事と 12月の諸行事について確認が行われた。

## (報告事項)

1. 週間報告について

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>2 . 10/19㊦( メディキット県民文化センター )みやざき愛の献血運動推進県民大会について</p> <p>3 . 10/19㊦( 宮観ホテル )宮崎市郡医師会例会・しのめ医学会・特別講演会について</p> <p>4 . 10/23㊦( 日医 )九州ブロック日医代議員連絡会議及び日医臨時代議員会について</p> <p>5 . 平成 22年国保審査状況について</p> <p>6 . 10/20㊦( 県医 )公益法人化検討委員会の答申について</p> <p>7 . 10/2㊦( 宮観ホテル )全国医療法人経営セミナーについて</p> <p>8 . 10/18㊦( 県庁 )県個人情報保護審議会について</p> <p>9 . 10/24㊦( 県庁 )地域医療支援機構設立総会について</p> <p>10. 10/20㊦( 県医 )県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について</p> <p>11. 10/24㊦( 県医 )広報委員会について</p> <p>12. Web理事会議事録の閲覧方法について</p> | <p>13. 10/13㊦( 日医 )日医社会保険指導者講習会について</p> <p>14. 9 /28㊦( 県医 )県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について</p> <p>15. 9 /28祝・金)( 静岡 )第 6回全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等について</p> <p>16. 10/8( ㊦( 県医 )産業医研修会について</p> <p>17. その他<br/>公益法人化準備委員会について<br/>医師協同組合・エムエムエスシー関係<br/>( 議決事項 )</p> <p>1 . 医協定款変更等について<br/>宮崎県医師協同組合の定款と運営委員会規約の変更( 案 )が提出され承認された。また、併せて総代会に提出することが承認された。<br/>( 報告事項 )</p> <p>1 . 医協運営委員会について</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 11月のベストセラー

|    |                         |               |            |
|----|-------------------------|---------------|------------|
| 1  | 謎解きはディナーのあとで            | 東 川 篤 哉       | 小 学 館      |
| 2  | 新・人間革命 第 2巻             | 池 田 大 作       | 聖 教 新 聞 社  |
| 3  | 「金・ドル体制」の終わり<br>もうすぐ大恐慌 | 副 島 隆 彦       | 祥 伝 社      |
| 4  | TPP亡国論                  | 中 野 剛 志       | 集 英 社      |
| 5  | 采配                      | 落 合 博 満       | ダイヤモンド社    |
| 6  | 相性                      | 三 浦 友 和       | 小 学 館      |
| 7  | 弱い日本の強い円                | 佐 々 木 融       | 日本経済新聞出版社  |
| 8  | スティーブ・ジョブズ              | ウォルター・アイザックソン | 講 談 社      |
| 9  | ゴーストハント 扉を開けて           | 小 野 不 由 美     | メディアファクトリー |
| 10 | 人生がときめく片づけの魔法           | 近 藤 麻 理 恵     | サンマーク出版    |

宮協書店本店調べ 提供 宮崎店(宮崎市青葉町) ☎(0985) 23-7077

## 県 医 の 動 き

( 11月 )

|        |                                                                                                                      |    |                                                                                                                           |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1      | 第 19回常任理事会( 会長他 )                                                                                                    | 17 | 社会保険医療担当者( 医科 )の個別指導( 済陽理事 )<br>日医ホームページ検討WG( 日医 〳 荒木常任理事 )<br>産業医研修会                                                     |
| 2      | 奥様医業経営塾( 医協事務局 )                                                                                                     | 18 | 九医連常任委員会( 佐賀 〳 会長 )<br>九医連臨時委員総会( 佐賀 〳 会長他 )                                                                              |
| 3      | ( 文化の日 )<br>県医親善ゴルフ大会( 会長他 )<br>「心に残る医療」体験記コンクール第 2 次審査会<br>( 東京 〳 荒木常任理事 )                                          | 19 | 九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会<br>( 佐賀 〳 会長他 )<br>九州医師会総会・医学会( 佐賀 〳 会長他 )                                                           |
| 5      | 生活習慣病検診従事者研修会( 古賀常任理事 )<br>県外科医会秋期講演会                                                                                | 20 | 九医学分科会・記念行事( 佐賀 〳 会長他 )                                                                                                   |
| 5<br>6 | 全国医師協同組合連合会通常総会( 東京 〳 会長 )                                                                                           | 21 | 地域リハビリテーション広域支援センター連絡<br>会議( 石川常任理事 )<br>宮崎銀行との懇談会( 会長他 )                                                                 |
| 7      | 県内科医会誌編集委員会                                                                                                          | 22 | 第 1 回全理事会( 会長他 )<br>県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会<br>( 会長他 )                                                                       |
| 8      | 宮大経営協議会・学長選考会議( 会長 )<br>治験審査委員会( 富田副会長他 )<br>医協打合せ( 立元常任理事 )<br>第 20回常任理事会( 会長他 )                                    | 23 | ( 勤労感謝の日 )<br>ながさき治験医療ネットワーク講演会( 長崎 )<br>( 事務局 )                                                                          |
| 9      | 産業医研修会<br>支払基金幹事会( 会長 )<br>HTLV - 母子感染対策協議会( 佐藤常任理事他 )<br>糖尿病診療のための地区別小講習会( 長倉理事 )                                   | 24 | 広報委員会( 荒木常任理事他 )<br>生活習慣病検診従事者研修会( 会長 )                                                                                   |
| 10     | 日医医療情報システム協議会運営委員会( 日医 )<br>( 会長他 )<br>県産婦人科医会常任理事会( 濱田常任理事 )                                                        | 25 | 県地域医療・福祉推進協議会代表者会議( 会長 )<br>日医乳幼児保健検討委員会( 日医 〳 佐藤常任理事 )<br>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>( 河野副会長 )<br>宮大医学部看護学科開設 10周年記念祝賀会( 会長 )  |
| 11     | 治験ネットワークフォーラム( 東京 〳 事務局 )<br>DV 被害者保護支援ネットワーク会議( 事務局 )                                                               | 26 | 産業医研修会( 大塚常任理事他 )<br>九州学校検診協議会専門委員会( 福岡 )<br>( 佐藤常任理事 )<br>九州各県学校保健担当理事者会( 福岡 )<br>( 佐藤常任理事 )                             |
| 12     | 社保指導者講習会復讐( 会長他 )<br>九州医師協同組合連合会購買・保険部会( 福岡 )<br>( 立元常任理事 )<br>県産婦人科医会学術講演会( 濱田常任理事 )                                | 28 | 宮崎政経懇話会( 立元常任理事 )<br>県がん診療連携協議会( 会長 )<br>医学賞選考委員会( 河野副会長他 )                                                               |
| 13     | 医師国保組合歩こう会<br>世界糖尿病デー学術講演会( 長倉理事 )<br>県民健康セミナー( 会長他 )                                                                | 29 | 医協総代会( 会長他 )<br>県医臨時代議員会( 会長他 )<br>県医臨時総会( 会長他 )                                                                          |
| 14     | 世界糖尿病デー in 宮崎( 会長他 )<br>広報委員会( 荒木常任理事他 )                                                                             | 30 | 奥様医業経営塾( 医協事務局 )<br>都道府県医師会看護問題担当理事連絡協議会<br>( 日医 〳 長倉理事 )<br>都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会( 日医 )<br>( 上田理事 )<br>労災診療指導委員会( 河野副会長他 ) |
| 15     | 看護師等の「雇用の質」の向上のための取り組み<br>に関する企画委員会( 長倉理事 )<br>医協運営委員会( 会長他 )<br>第 10回全理事会( 会長他 )<br>各都市医師会長協議会( 会長他 )               |    |                                                                                                                           |
| 16     | 全体課長会( 事務局 )<br>奥様医業経営塾( 医協事務局 )<br>子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業連<br>絡協議会( 佐藤常任理事 )<br>日医病院委員会( 日医 〳 吉田常任理事 )<br>会計監査( 会長他 ) |    |                                                                                                                           |

## 追 悼 の こ と ば

南那珂医師会

吉 見 俊 雄 先生

(昭和 2年 8月 25日生 84歳)

弔 辞

本日ここに、故 吉見俊雄先生のご葬儀が執り行われるにあたり、南那珂医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、ご霊前にお別れの言葉を申し上げます。

先生は、お聞きいたしましたところによりますと、今年の6月からガンで体調を崩され、ご入院をされておられましたということで、この度の突然のご逝去は誠に痛恨の念に絶えず残念で仕方ありません。ましてやご家族ご親族の皆様のご悲嘆は如何ばかりかとお察し申し上げ、医師会員一同衷心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和 25年 3月に熊本医科大学をご卒業され、昭和 26年 4月から昭和 29年 8月まで国立熊本病院産婦人科医局に在籍されました。また、昭和 29年 9月から昭和 31年 3月まで日南市立中部病院産婦人科に医長として勤務されました。昭和 32年 2月から日南市大堂津にて医院を開業されましてからは、大堂津小学校、細田小・中学校、大窪小・中学校の学校医及び保育所や幼稚園等の嘱託医として、長年に亘り児童の健康管理と保健予防に献身的に取り組まれ、児童生徒の健やかな成長に多大な役割を果たされました。

また、日南市関連の各種の委員にご就任されて、地域医療の充実発展に多大なご貢献をされました。

さらに、先生は南那珂医師会の理事として昭和 39年 4月から昭和 41年 3月までの2年間及び

昭和 55年 4月から昭和 57年 3月までの2年間の計4年間、総会の副議長として昭和 61年 4月から昭和 63年 3月までの2年間、監事として昭和 45年 4月から昭和 55年 3月までの6年間及び昭和 57年 4月から昭和 61年 3月までの4年間の計10年間就任され、通算16年間の長い間医師会の要職を務められる等、私達会員の為に医師会活動にも積極的にご尽力賜りました。

また、役員を退かれてからも総会や医学会等の医師会行事にも積極的に参加され、私達若い会員を励まし、優しくご指導いただきましたことに対しまして、心から御礼申し上げます。

先生のこのような数々のご功績により、平成 6年 10月には僻地学校医功労及び平成 8年 10月には学校保健・学校安全の功労により、それぞれ、県教育長表彰という栄誉を受けておられます。

これまで先生が地域医療の発展のために尽くしてこられましたご功績を忘れることなく、今後も私共は地域医療の発展向上に向けて一層の努力をしていく所存でございます。

私達会員は現在の厳しい医療制度の中にあっても地域住民の健康を第一に考えて、医師としての倫理を保ちながら、地域住民の医療・保健・福祉の発展の為に日々の診療を行って参りたいと思っておりますので、どうかこれからも天国から私達会員を見守っていただきたいと思っております。

最後になりましたが、先生の永年に亘る地域医療へのご貢献に対しまして会員一同深い尊敬と感謝の言葉を捧げますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉と致します。

吉見先生どうか安らかに眠り下さい。

平成 23年 10月 22日

南那珂医師会

会長 山 元 敏 嗣

## 追 悼 の こ と ば

延岡市医師会

佐 井 勇 二 郎 先 生

(大正 9年 11月 12日生 90歳)

弔 辞

ここに、今は亡き佐井勇二郎先生のご葬儀が執り行われるにあたり、延岡市医師会を代表致しまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

先生はお元気で療養されておられると伺っておりましたところ、20日の夜、お亡くなりになったとの知らせに只々驚き、そして今は、私共医師会の重鎮ともいべき先生を失った悲しみと、さみしさで申し上げる言葉もございません。

ましてや、奥様をはじめ、ご家族、ご遺族の方々、先生を慕われる多くの皆様方のお悲しみは如何ばかりかとお察し申し上げ、衷心よりお悔やみ申し上げます。

先生は、大正 9年 11月 12日、高知県は現在の四万十市でお生まれになりました。昭和 1年、平壤医学専門学校をご卒業され、その後、高知市本町宮本外科病院に勤務し、財団法人潤和会中央病院の勤務を経てその後、九州大学医学部薬理並びに整形外科で研究を積まれました。昭和 40年には地域住民の切なる希望にお応えになられ「佐井病院」をご開業なさいました。平成 6年からは、ご子息の伸男先生と御一緒に昼夜を問わず献身的な診療に携わってこられました。

先生は、温厚かつ誠実なお人柄であり、患者さんの信頼も厚く、地域住民の健康管理、保健衛生の指導に尽力しながら、公衆衛生、地域医療について深い関心と信念を持ち延岡の代表的

な整形外科医として絶大なる信頼と尊敬を受けておられました。

先生はご多忙な診療の傍ら、昭和 35年から 38年までの 4年間、延岡市医師会理事となられました。さらには昭和 4年から 60年までの 14年間の長きにわたり延岡市医師会監事となられその重責を担われました。

また、先生は労災診療にも力を注がれました。宮崎県医師会の県北の労災部会会長として長きにわたり労災指定医療機関へのご指導ご助言をいただき、労災事業の発展向上に献身的に寄与されました。その功績が称えられ、平成 15年には労災診療指導委員の功労として厚生労働大臣表彰をお受けになられておられます。

さらには、ご多忙な診療の傍ら昭和 3年からは、4年間という長きにわたり宮崎県立延岡高等学校の学校医を務められ、専門医の立場として多数の生徒の保健衛生並びに健康管理の指導教育に多大なるご尽力を賜りました。これらのご功績により学校保健、学校安全に関する功労として文部科学大臣表彰など数々の輝かしい受賞を受けておられます。

このような延岡市医師会歴史の創設者の一員としておられました先生がご逝去なさいましたことは、会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり痛恨の極みであります。

私は、個人的にも先生とはお付き合いをさせていただいておりました。特にクラシックを聞く趣味が同じであったために、先生にはたくさんクラシック談議に花を咲かせ夢中になりお話をさせていただいたことが忘れられません。これからは、そのようなお話ができないと思いますと誠にさみしい気持ち一杯でございます。

先生にはまだまだ遣り残したことがたくさん

おありのことと存じますが、先生も生前からご覧のように、後継者の伸男先生が、立派にご活躍中であり、今後も医師として先生のご遺志に添って必ずや地域医療のために貢献されますものと信じております。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域医療に尽くしてこられたご功績を忘れることなく、先生のお示しいただきました医療、さらには医師会運営に取り組む真摯なお姿を心に刻みながら、会員一同、地域医療の発展向上に一層の努力をして行く所存でございます。

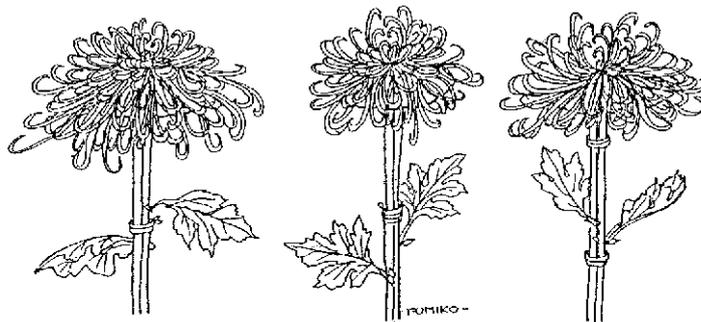
先生の温顔に再び接することはできませんが、ご家族をはじめ、ご遺族の皆様のご安泰をお見守りいただきますようお願い申し上げ、黄泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、お別れの言葉といたします。

佐井勇二郎先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成 23年 10月 22日

延岡市医師会

会長 牧 野 剛 緒



## 追 悼 の こ と ば

南那珂医師会

藤元秀三先生

(大正 12年 11月 3 日生 86歳)

弔 辞

本日ここに、故 藤元秀三先生のご葬儀が執り行われるにあたり、南那珂医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、ご霊前にお別れの言葉を申し上げます。

先生は、お聞きいたしましたところによりますと、肺炎のため、急に体調を崩されたということで、この度の突然のご逝去は誠に痛恨の念に絶えず残念で仕方ありません。ましてやご家族ご親族の皆様のご悲嘆は如何ばかりかとお察し申し上げ、医師会員一同衷心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和 26年 3 月に鹿児島医学専門学校をご卒業になり、昭和 27年 12月から現在の医療法人十善会県南病院に勤務され、病院長・理事長及び会長等を歴任されました。その間、県南地区の急性期を担う病院として、地域医療活動に献身的に取り組まれ、休日・夜間を問わず患者を受け入れる等、地域医療に多大な貢献をしていただきました。

また、昭和 40年 4 月から平成 7 年 3 月までの間、串間市立塩屋原保育所等の嘱託医や崎田小学校・有明小学校等の学校医として、長年に亘り児童の健康管理と保健予防に献身的に取り組まれ、児童生徒の健やかな成長に多大な役割を果たされました。

先生は、宮崎県精神保健協議会串間支部長及び宮崎県日南保健所結核審査会委員や日南市老人ホーム入所判定委員会委員にご就任されて、

地区行政の事業活動に積極的に係わっていただき、地域住民の保健・予防にご尽力していただきました。

また、先生は南那珂医師会の役員として、昭和 53年 4 月から昭和 57年 3 月までの 4 年間理事の要職を務められ、その間、公衆衛生の啓発、地域医療の推進に積極的に参画される等、医師会活動にも積極的にご尽力賜りました。

役員を退任されてからも、国民の医療を守るために、先頭に立って署名活動にご協力いただきましたことに対しまして、心から御礼申し上げます。

先生のこのような数々のご功績により、平成 22年 12月には公衆衛生功労者として、宮崎県知事表彰の栄誉を受けておられます。

これまで、先生が地域医療の発展のために尽くしてこられたご遺志は、現在、ご子息の秀一郎先生が立派に受け継いでおられます。

私達会員は、これまで先生が地域医療の発展のために尽くしてこられましたご功績を忘れることなく、現在の厳しい医療制度の中にあっても地域住民の健康を第一に考えて、医師としての倫理を保ちながら、地域住民の医療・保健・福祉の発展の為に日々の診療を行って参りたいと思いますので、どうかこれからも天国から私達会員を見守っていただきたいと思います。

最後になりましたが、先生の永年に亘る地域医療へのご貢献に対しまして会員一同深い尊敬と感謝の言葉を捧げますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉と致します。

藤元先生どうか安らかに眠り下さい。

平成 23年 11月 9 日

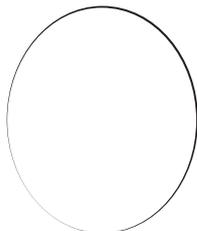
南那珂医師会

会長 山 元 敏 嗣

## ニューメンバー

宮崎市  
星井眼科医院

まつ やま あき こ  
松 山 明 子



**住 所** 宮崎市  
**専門科目** 眼科  
**家族構成** 夫，長女(小1)，  
長男(5歳)

**略 歴**  
平成5年 山梨県立昭和高校卒業  
平成1年 東海大学医学部卒業  
同 年 順天堂大学眼科入局

**趣 味** 映画鑑賞，音楽鑑賞，  
フラダンス

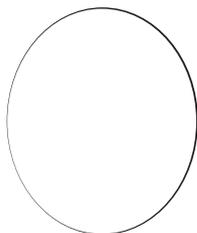
**抱 負** 宮崎に移住したいと夫が強く希望したため，9月に東京から引越してきて星井眼科医院に勤務しています。

最初は戸惑うことも多かったです，慣れてくるととても暮らしやすい所だと思いました。子ども達も宮崎での生活を楽しんでいます。

大学卒業後，順天堂大学眼科に入局し関連病院に勤務してきましたが，平成16年に出産してから仕事を制限せざるを得ませんでした。これからは徐々に仕事を増やして，多くの患者さんのお役に立てるようになりたいと思います。よろしくをお願いします。

日向市  
なでしこ内科

いし わた まさ こ  
石 渡 正 子



**住 所** 日向市  
**専門科目** 糖尿病内科，女性内科  
**家族構成** 夫，長男(6歳)

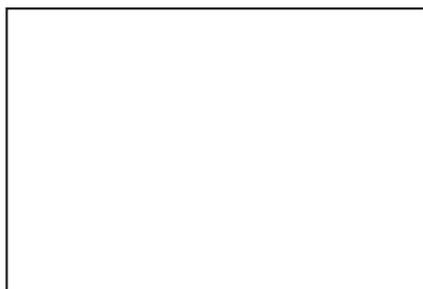
**略 歴**  
平成1年 北海道大学医学部卒業

**趣 味** 海外旅行，読書，散歩

**抱 負** 実家が横浜で10年ほど神奈川で働いておりましたが，子どもができたのを契機に幼少期を過ごした九州に戻りました。

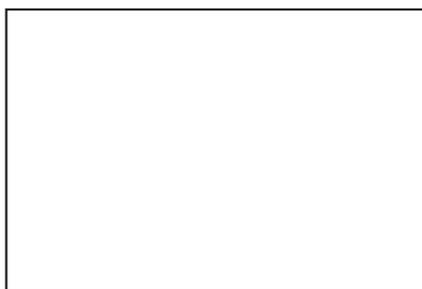
宮崎は3年目ですが，風光明媚で子どもも伸び伸び育ってくれています。1月に日向市駅近くに“なでしこ内科”を開かせていただきました。なでしこジャパンを見習い，糖尿病診療を中心に，働く女性を応援できるようなクリニックを目指したいと思っています。ご指導の程宜しくお願い致します。

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館1階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の2週間前までに県医師会までご連絡ください。



お問い合わせ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 小川

### お知らせ 年末・年始の休館について

県医師会館(医師会, 医師国保, 医師協同組合・エムエムエスシー, 病院厚生年金基金)は年末・年始休業のため、下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

記

期 間 平成 23年 12月 29日(木) ~ 平成 24年 1月 3日(火)

緊急連絡先 総務課長 090-9572-1385

事務局長 080-5266-7453

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 23年 1月 15日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1 . 求職者登録数 6人

1 ) 男性医師求職登録数 6人 (人)

| 希望診療科目  | 求職数 | 常勤・非常勤別           |
|---------|-----|-------------------|
| 内 科     | 5   | 常勤( 2 ), 非常勤( 3 ) |
| 整 形 外 科 | 1   | 常勤( 1 )           |

2 ) 女性医師求職登録数 0人

2 . 斡旋成立件数 38人

1 ) 男性医師 27人 2 ) 女性医師 11人

3 . 求人登録 87件 319人 (人)

| 募集診療科目     | 求人数 | 常勤・非常勤別             |
|------------|-----|---------------------|
| 内 科        | 93  | 常勤( 66 ), 非常勤( 27 ) |
| 外 科        | 31  | 常勤( 25 ), 非常勤( 6 )  |
| 整 形 外 科    | 23  | 常勤( 19 ), 非常勤( 4 )  |
| 精 神 科      | 21  | 常勤( 17 ), 非常勤( 4 )  |
| 循 環 器 科    | 16  | 常勤( 16 )            |
| 脳 神 経 外 科  | 15  | 常勤( 11 ), 非常勤( 4 )  |
| 消 化 器 内 科  | 12  | 常勤( 12 )            |
| 麻 酔 科      | 11  | 常勤( 7 ), 非常勤( 4 )   |
| 眼 科        | 10  | 常勤( 8 ), 非常勤( 2 )   |
| 放 射 線 科    | 9   | 常勤( 8 ), 非常勤( 1 )   |
| 小 児 科      | 6   | 常勤( 5 ), 非常勤( 1 )   |
| 呼 吸 器 科    | 5   | 常勤( 5 )             |
| リハビリテーション科 | 5   | 常勤( 3 ), 非常勤( 2 )   |
| 血 液 内 科    | 3   | 常勤( 3 )             |
| 神 経 内 科    | 5   | 常勤( 5 )             |
| 救 命 救 急 科  | 3   | 常勤( 3 )             |
| 健 診        | 3   | 常勤( 2 ), 非常勤( 1 )   |
| 産 婦 人 科    | 2   | 常勤( 2 )             |
| 泌 尿 器 科    | 2   | 常勤( 2 )             |
| 検 診        | 2   | 非常勤( 2 )            |
| 皮 膚 科      | 3   | 常勤( 3 )             |
| 人 工 透 析    | 3   | 常勤( 3 )             |
| 耳 鼻 咽 喉 科  | 1   | 常勤( 1 )             |
| そ の 他      | 35  | 常勤( 33 ), 非常勤( 2 )  |

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施設名                   | 所在地 | 募集診療科                   | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|-----------------------|-----|-------------------------|-----|--------|
| 150005 | 医)わか会ピア・メンタル ささき病院    | 宮崎市 | 精                       | 1   | 非常勤    |
| 160011 | 赤十字血液センター             | 宮崎市 | 検診                      | 2   | 非常勤    |
| 160013 | 医)三晴会 金丸脳神経外科病院       | 宮崎市 | 脳整,放,麻,内                | 8   | 常勤・非常勤 |
| 160017 | 医)プレスピア プレスピアなんば病院    | 宮崎市 | 乳腺,内                    | 3   | 常勤     |
| 160020 | 財)弘潤会 野崎病院            | 宮崎市 | 精,内                     | 2   | 常勤     |
| 160031 | 医)同心会 古賀総合病院          | 宮崎市 | 呼,神内,眼,耳,総診,呼外,<br>循,臨病 | 9   | 常勤     |
| 160033 | 医)如月会 若草病院            | 宮崎市 | 内,精                     | 3   | 非常勤    |
| 170040 | 医)いなほ会 日高医院           | 宮崎市 | 内                       | 1   | 非常勤    |
| 170046 | 医)社団善仁会 市民の森病院        | 宮崎市 | 内,消内,内,泌糖内,呼,放,<br>リウマチ | 10  | 常勤・非常勤 |
| 170048 | 医)慶明会 けいめい記念病院        | 国富町 | 内,眼                     | 2   | 常勤     |
| 170052 | 医)春光会                 | 宮崎市 | 外,内                     | 3   | 常勤     |
| 180061 | 医)あいクリニック             | 宮崎市 | 精                       | 1   | 非常勤    |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院           | 宮崎市 | 内,神内,整                  | 5   | 常勤     |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院             | 宮崎市 | 消内                      | 3   | 常勤     |
| 190089 | 医)社団孝尋会 上田脳神経外科       | 宮崎市 | 脳,内,麻                   | 4   | 常勤・非常勤 |
| 190094 | 医)耕和会 迫田病院            | 宮崎市 | 整,内,外                   | 7   | 常勤・非常勤 |
| 190095 | 医)慶明会 宮崎中央眼科病院        | 宮崎市 | 眼                       | 2   | 常勤・非常勤 |
| 190096 | 医)晴緑会 宮崎医療センター病院      | 宮崎市 | 消化,外,総内,麻,放,精,整,<br>循   | 13  | 常勤・非常勤 |
| 200104 | 医)社団善仁会 宮崎善仁会病院       | 宮崎市 | 内,外,救急,化療,リハ            | 6   | 常勤     |
| 200105 | 医)誠友会 南部病院            | 宮崎市 | 内,外,放                   | 3   | 常勤     |
| 210110 | 医)幸秀会 大江整形外科病院        | 宮崎市 | 整                       | 1   | 常勤     |
| 210118 | 慈英病院                  | 宮崎市 | 内,リハ                    | 5   | 常勤・非常勤 |
| 220121 | 医)社団 星井眼科医院           | 宮崎市 | 眼                       | 1   | 常勤     |
| 220123 | 医)仁和会 介護老人保健施設 むつみ苑   | 宮崎市 | 内                       | 1   | 常勤     |
| 220125 | 医)仁和会 竹内病院            | 宮崎市 | 外,内                     | 3   | 常勤     |
| 220126 | 八代医院                  | 宮崎市 | 内                       | 1   | 非常勤    |
| 230128 | 医)真愛会 高宮病院            | 宮崎市 | 内                       | 1   | 常勤     |
| 230132 | 医)康友会 青島クリニック         | 宮崎市 | 内                       | 1   | 常勤     |
| 230134 | 医)慈光会 宮崎若久病院          | 宮崎市 | 精                       | 2   | 常勤     |
| 160008 | 医)正立会 黒松病院            | 都城市 | 内,泌                     | 2   | 常勤     |
| 160010 | 特医)澈和会 戸嶋病院           | 都城市 | 内,老内                    | 2   | 常勤     |
| 160018 | 医)宏仁会 メディカルシティ東部病院    | 都城市 | 内,救急,整,脳,外,総合           | 8   | 常勤     |
| 170042 | 医)豊栄会 豊栄クリニック         | 都城市 | 内,老内,精                  | 3   | 常勤     |
| 170056 | 医)社団アブラムクラブ ベテスダクリニック | 都城市 | 循内,脳外,呼,神内              | 5   | 常勤     |
| 170057 | 医)清陵会 隅病院             | 都城市 | 内,外,整                   | 3   | 常勤     |
| 180064 | 国立病院機構都城病院            | 都城市 | 消内,血内,循呼,内,脳,<br>産婦,小児  | 9   | 常勤     |
| 180069 | 社)八日会 大悟病院            | 三股町 | 精,内                     | 2   | 常勤     |

| 登録番号   | 施設名                | 所在地   | 募集診療科                 | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|--------------------|-------|-----------------------|-----|--------|
| 180081 | 医)恵心会 永田病院         | 都 城 市 | 精                     | 1   | 常勤     |
| 190092 | 都城市郡医師会病院          | 都 城 市 | 内呼                    | 4   | 常勤     |
| 190093 | 社)八日会 藤元早鈴病院検診センター | 都 城 市 | 内                     | 2   | 常勤・非常勤 |
| 210108 | 特医)敬和会 みまた病院       | 三 股 町 | 内消内循皮整婦小,<br>呼放       | 10  | 常勤     |
| 210113 | 医)邦楽会 河村医院         | 都 城 市 | 内                     | 1   | 常勤     |
| 210114 | 社)八日会 藤元病院         | 都 城 市 | 精                     | 2   | 常勤     |
| 230127 | 医)倫生会 三州病院         | 都 城 市 | 外内麻                   | 9   | 常勤・非常勤 |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑      | 都 城 市 | 不問                    | 1   | 常勤     |
| 230135 | 医)廣師会 下長飯クリニック     | 都 城 市 | 内                     | 1   | 常勤     |
| 160012 | 医)伸和会 共立病院         | 延 岡 市 | 外整外皮放,肝外              | 6   | 常勤     |
| 160021 | 医)建悠会 吉田病院         | 延 岡 市 | 精                     | 2   | 常勤     |
| 160034 | 特医)健寿会 黒木病院        | 延 岡 市 | 外消内 緩ケア               | 4   | 常勤     |
| 160036 | 医)久康会 平田東九州病院      | 延 岡 市 | 内,外麻,精神内,脳神経<br>老施,心内 | 5   | 常勤・非常勤 |
| 190086 | 早田病院               | 延 岡 市 | 内                     | 1   | 常勤     |
| 200100 | 医)育生会 井上病院         | 延 岡 市 | 産婦,内                  | 2   | 常勤     |
| 200102 | 延岡市医師会病院           | 延 岡 市 | 消内                    | 3   | 常勤     |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター        | 延 岡 市 | 内小外整                  | 8   | 常勤・非常勤 |
| 210112 | 医)嘉祥会 岡村病院         | 延 岡 市 | 内                     | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160039 | 医)誠和会 和田病院         | 日 向 市 | 外内整透                  | 7   | 常勤     |
| 230130 | 医)フポール向洋           | 日 向 市 | 内                     | 1   | 常勤     |
| 230131 | 医)向洋会 協和病院         | 日 向 市 | 内                     | 1   | 常勤     |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院        | 門 川 町 | 内麻                    | 4   | 常勤     |
| 160006 | 都農町国保病院            | 都 農 町 | 内放外小                  | 4   | 常勤     |
| 160023 | 医)宏仁会 海老原総合病院      | 高 鍋 町 | 整内心内眼健診循脳             | 16  | 常勤・非常勤 |
| 170058 | 国立病院機構宮崎病院         | 川 南 町 | 呼循消内,外                | 8   | 常勤     |
| 180077 | 医)聖山会 川南病院         | 川 南 町 | 眼麻脳                   | 10  | 常勤・非常勤 |
| 160024 | 医)隆徳会 鶴田病院         | 西 都 市 | 内,外整                  | 6   | 常勤・非常勤 |
| 150002 | 医)慶明会 おび中央病院       | 日 南 市 | 内                     | 1   | 常勤     |
| 150003 | 医)同仁会 谷口病院         | 日 南 市 | 精                     | 2   | 常勤     |
| 160022 | 医)愛鍼会 山元病院         | 日 南 市 | 内消内,神内                | 3   | 常勤     |
| 160037 | 医)十善会 県南病院         | 串 間 市 | 精,内                   | 2   | 常勤・非常勤 |
| 170047 | 日南市立中部病院           | 日 南 市 | 内,神内,整,外              | 4   | 常勤     |
| 180071 | 串間市民病院             | 串 間 市 | 腎内                    | 1   | 常勤     |
| 220124 | 医)月陽会 きよひで内科クリニック  | 日 南 市 | 内                     | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230129 | 医)秀英会 英医院          | 串 間 市 | 内                     | 1   | 常勤     |
| 160019 | 医)相愛会 桑原記念病院       | 小 林 市 | 内                     | 2   | 常勤・非常勤 |
| 170043 | 医)和芳会 小林中央眼科       | 小 林 市 | 眼                     | 1   | 常勤     |
| 180067 | 小林市立病院             | 小 林 市 | 内循呼血内健診放小             | 11  | 常勤     |
| 180076 | 医)友愛会 園田病院         | 小 林 市 | 外内整                   | 4   | 常勤     |
| 190090 | 特医)浩然会 内村病院        | 小 林 市 | 精                     | 2   | 常勤     |
| 190091 | 医)友愛会 野尻中央病院       | 小 林 市 | 整,内                   | 4   | 常勤・非常勤 |
| 170049 | 五ヶ瀬町国保病院           | 五ヶ瀬町  | 整                     | 1   | 常勤     |
| 180070 | 高千穂町国保病院           | 高千穂町  | 内,神内,循内,透             | 3   | 常勤・非常勤 |
| 190088 | 日之影町国保病院           | 日之影町  | 内整                    | 2   | 非常勤    |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 23年 11月 15日現在

|          |                                                                                                           |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 . 譲渡物件 | <p>宮崎市阿波ヶ原町前田 2633番 , 2634番</p> <p>土地のみ : 593.57坪( 2022.17㎡ )</p>                                         |
| 2 . 賃貸物件 | <p>宮崎市曾師町 209-3( 診療所跡 )</p> <p>建物 : 鉄筋コンクリート造 2 階建</p> <p>1 階 183.35㎡ , 2 階 166.69㎡</p> <p>駐車場 : 10台分</p> |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

- 1 . 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
- 2 . 紹介受付は，月～金の午前9時から12時及び13時から17時です。
- 3 . 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
- 4 . ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
- 5 . 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101番地( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isiky@miyazakimed.or.jp

あなたできますか？( 解答 )

|   |   |   |   |   |       |       |       |   |
|---|---|---|---|---|-------|-------|-------|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6     | 7     | 8     | 9 |
| e | a | c | e | c | c , e | c , e | c , d | a |

### 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 23年 11月 28日現在

| 12 |   | 月                                                                                                              |                                                                                              |                                      |
|----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 1  | 木 | 19 00 広報委員会<br>19 00 県外科医会全理事会<br>19 30 県警察医会協議会                                                               | 15 木 15 00 (日医)日医広報委員会<br>19 00 都城市北諸県郡医師会忘年会                                                | 国<br>保<br>審<br>査<br>社<br>保<br>審<br>査 |
| 2  | 金 | 15 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会                                                                                        | 16 金 17 30 指導医のための教育ワーク<br>ショッブ前日打合せ<br>19 00 広報委員会<br>19 00 日本の医療を守る総決起宮<br>崎大会             |                                      |
| 3  | 土 | 13 00 (日医)家族計画・母体保護法指導者<br>講習会                                                                                 | 17 土 9 00 指導医のための教育ワーク<br>ショッブ<br>13 30 県プライマリ・ケア研究会<br>世話人会<br>14 00 県プライマリ・ケア研究会<br>総会・講演会 |                                      |
| 4  | 日 | 12 00 全国有床診療所連絡協議会役員会<br>14 00 (日医他)「有床診療所の日」記念式<br>典・講演会<br>14 00 女性医師支援センター事業九州プロッ<br>ク会議<br>16 00 県小児科医会理事会 | 18 日 8 00 指導医のための教育ワーク<br>ショッブ                                                               |                                      |
| 5  | 月 | 19 00 生活習慣病検診従事者研修会                                                                                            | 19 月 15 30 県介護技術等向上連絡会議<br>17 30 県成人病検診管理指導協議会                                               |                                      |
| 6  | 火 | 18 00 治験審査委員会<br>19 00 第2回常任理事会                                                                                | 20 火 18 00 医協運営委員会<br>18 30 第13回全理事会<br>19 00 役職員懇談会                                         |                                      |
| 7  | 水 | 14 00 産業医研修会<br>16 00 支払基金幹事会                                                                                  | 21 水 9 10 全体課長会(事務局)<br>14 00 (日医)日医裁定委員会<br>15 00 労災診療指導委員会                                 |                                      |
| 8  | 木 | 13 30 (日医)都道府県医師会医事紛争担当<br>理事連絡協議会<br>19 00 西都市・西児湯医師会忘年会<br>19 00 県うつ病医療連携検討部会                                | 22 木 15 00 県立病院事業評価委員会                                                                       |                                      |
| 9  | 金 | 14 30 (日医)日本の医療を守るための総決<br>起大会<br>18 30 治験セミナー                                                                 | 23 金 (天皇誕生日)                                                                                 |                                      |
| 10 | 土 | 17 00 県産婦人科医会全理事会<br>18 30 宮崎市郡医師会年末懇親会                                                                        | 24 土                                                                                         |                                      |
| 11 | 日 |                                                                                                                | 25 日                                                                                         |                                      |
| 12 | 月 |                                                                                                                | 26 月                                                                                         |                                      |
| 13 | 火 | 18 00 医協打合せ<br>18 30 産業医研修会<br>18 30 第12回全理事会<br>19 00 九医学準備委員会                                                | 27 火 18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎<br>部会                                                             |                                      |
| 14 | 水 | 10 00 医師国保九州厚生局並びに県国保援<br>護課合同指導監査(事務局)<br>14 30 (日医)日医病院委員会<br>19 00 延岡市医師会忘年会                                | 28 水<br>29 木 (年末休業)<br>30 金 (年末休業)<br>31 土 (年末休業)                                            |                                      |

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 23 年 11 月 28 日 現在

| 1  |   | 月                                                                               |      |                                                                               |                                 |
|----|---|---------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 1  | 日 | (年始休業)                                                                          | 18 水 | 都城市北諸県郡医師会臨時総会                                                                |                                 |
| 2  | 月 | (年始休業)                                                                          | 19 木 | 19 00 産業医研修会                                                                  |                                 |
| 3  | 火 | (年始休業)                                                                          | 20 金 |                                                                               |                                 |
| 4  | 水 | 13 00 新年賀詞交歓会                                                                   | 21 土 | 14 30 メディカルトライアングルシンポジウム in 宮崎<br>15 00 県産婦人科医会冬期定時総会                         | ↑<br>国<br>保<br>社<br>審<br>査<br>↓ |
| 5  | 木 |                                                                                 | 22 日 | 8 10 県医緩和ケアチーム研修会                                                             |                                 |
| 6  | 金 |                                                                                 | 23 月 |                                                                               | ↑<br>社<br>審<br>査<br>↓           |
| 7  | 土 | 19 00 三師会合同新春懇談会                                                                | 24 火 | 医協運営委員会<br>第 14 回全理事会<br>各都市医師会長協議会                                           |                                 |
| 8  | 日 |                                                                                 | 25 水 | 14 00 産業医研修会<br>15 00 労災診療指導委員会<br>18 00 九州地方社会保険医療協議会<br>宮崎部会<br>19 00 広報委員会 | ↑<br>査<br>↓                     |
| 9  | 月 | (成人の日)                                                                          | 26 木 | 延岡市医師会総会                                                                      |                                 |
| 10 | 火 | 18 00 治験審査委員会<br>19 00 第 22 回常任理事会                                              | 27 金 | 14 00 (日医)「2020.30」推進懇話会<br>15 00 (日医)日医地域医療対策委員会<br>18 30 南那珂医師会定時総会         |                                 |
| 11 | 水 | 16 00 支払基金幹事会<br>18 30 病院部会・医療法人部会合同理事会                                         | 28 土 | 宮崎市郡医師会総会<br>日向市東臼杵郡医師会総会<br>16 00 九医連常任委員会<br>16 00 九医連各種協議会                 |                                 |
| 12 | 木 |                                                                                 | 29 日 |                                                                               |                                 |
| 13 | 金 |                                                                                 | 30 月 | 都城市北諸県郡医師会臨時総会<br>19 00 県内科医会誌編集委員会                                           |                                 |
| 14 | 土 | 14 30 産業医研修会                                                                    | 31 火 | 19 00 第 24 回常任理事会                                                             |                                 |
| 15 | 日 |                                                                                 |      |                                                                               |                                 |
| 16 | 月 | 19 00 県内科医会学術委員会<br>19 15 広報委員会                                                 |      |                                                                               |                                 |
| 17 | 火 | 14 20 (日医)都道府県医師会長協議会<br>16 30 (日医)日医連執行委員会<br>18 20 医協打合会<br>19 00 第 23 回常任理事会 |      |                                                                               |                                 |

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位・カリキュラムコード（CC）。当日，参加証を交付。  
 がん検診；各種がん検診登録・指定・更新による研修会。波線；専門研修会以外の産業医研修会。  
 アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名 称                                                         | 日時・場所・会費                                    | 演 題                                                               | そ の 他<br>= 連絡先                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 先進骨粗鬆症を考<br>える学術講演会<br>(1.5単位)<br>(CC 5,10,77)              | 12月1日(木)<br>19 00~ 20 40<br>ホテルJALシティ<br>宮崎 | 最新の骨粗鬆症治療戦略<br>- PTH 製剤への期待 -<br>島根大学医学部内科学第一教授<br>杉本 利嗣          | 共催<br>宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分<br>泌代謝学<br>同大学医学部整形外<br>科学<br>日本イーライリリー(株)<br>☎ 080-2442-7453<br>後援<br>ひむか運動器セミナー |
| 都城市北諸県郡医<br>師会内科医会学術<br>講演会<br>(1.5単位)<br>(CC 20,29,74)     | 12月1日(木)<br>19 00~ 20 45<br>都城ロイヤルホテル       | 健康長寿と高血圧治療<br>大阪大学老年・腎臓内科学教授<br>楽木 宏実                             | 主催<br>都城市北諸県郡医<br>師会内科医会<br>☎ 0986-22-0711<br>共催<br>武田薬品工業(株)                                              |
| 第35回宮崎大腸肛<br>門疾患研究会<br>がん検診(大腸)<br>(1.5単位)<br>(CC 53,54,55) | 12月2日(金)<br>19 00~ 20 30<br>県医師会館           | 大腸肛門疾患総論<br>- 直腸癌の術前検査から女性特有の便秘<br>まで -<br>いきめ大腸肛門外科内科院長<br>柴田 直哉 | 共催<br>宮崎大腸肛門疾患研<br>究会<br>武田薬品工業(株)<br>天藤製薬(株)<br>(連絡先)<br>クリニックうしたに<br>☎ 0985-52-8080                      |
| 第66回宮崎県精神<br>科医会懇話会<br>(1.5単位)<br>(CC 6,69,70)              | 12月3日(土)<br>17 15~ 18 45<br>宮崎観光ホテル         | 私のうつ病論<br>九州大学精神病態医学教授<br>神庭 重信                                   | 共催<br>宮崎県精神科医会<br>☎ 0982-37-0126<br>大日本住友製薬(株)                                                             |

| 名 称                                                                           | 日時・場所・会費                                                                | 演 題                                                                                                                                                                                            | そ の 他<br>= 連絡先                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 5 回はまゆう整形外科セミナー<br>( 1 単位 )<br>(cc 1 ,61)                                   | 12月 3 日(土)<br>17 30~ 18 30<br>宮崎観光ホテル<br>1,000円                         | アメリカにおける膝関節靭帯再建術のトピックス<br>宮崎大学医学部整形外科学助教<br>田島 卓也                                                                                                                                              | 主催<br>はまゆう整形外科セミナー<br>( 連絡先 )<br>宮崎大学医学部整形外科<br>☎ 0985-85-0986                      |
| 平成 23年度宮崎県医師会生活習慣病検診従事者研修会<br>がん検診 肺・乳・胃・大腸 )<br>( 2 単位 )<br>(cc 2 ,11,12,82) | 12月 5 日(月)<br>19 00~ 21 10<br>県医師会館( TV 会議 : 都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸・西臼杵) | 肺癌診療の現状と今後の治療戦略について<br>宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分代謝学 佐野 ありさ<br>乳がんをいかに早期発見するか<br>プレストピアなんば病院<br>古澤 秀実<br>胃がんに対する外科診療の現状・その 2<br>宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学<br>日高 秀樹<br>最近の大腸癌診療<br>宮崎大学医学部内科学講座<br>消化器血液学 山本 章二郎 | 主催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118<br>宮崎県                                               |
| 西臼杵郡医師会学術講演会<br>( 1.5 単位 )<br>(cc 29,76)                                      | 12月 6 日(火)<br>19 00~<br>ホテル高千穂                                          | アルツハイマー型認知症治療薬の選択<br>- 局所脳血流の変化から -<br>上田脳神経外科院長 上田 孝                                                                                                                                          | 共催<br>西臼杵郡医師会<br>延岡市西臼杵郡薬剤師会西臼杵部会<br>武田薬品工業(株)<br>( 連絡先 )<br>佐藤医院<br>☎ 0982-73-2010 |
| 宮崎県医師会産業医研修会(生涯研修の専門研修会 2 単位 )<br>( 2 単位 )<br>(cc 11,12,76,82)                | 12月 7 日(水)<br>14 00~ 16 00<br>宮崎産業保健推進センター                              | (3)健康管理<br>職場における特定疾患( )<br>クリニックうしたに院長<br>牛谷 義秀                                                                                                                                               | 共催<br>宮崎産業保健推進センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                      |

| 名 称                                                                                                    | 日時・場所・会費                                                                                          | 演 題                                                                                                                                                     | そ の 他<br>= 連絡先                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日向市東臼杵郡学<br>術講演会<br>( 1 単位 )<br>( CC 80,81)                                                            | 12月 9 日(金)<br>18 45~ 21 00<br>ホテルベルフォート<br>日向                                                     | ペインクリニックによるがん性疼痛管理 +<br>フェントステープの利点<br>がん研有明病院麻酔科クリニック<br>医長 服部 政治                                                                                      | 共催<br>日向市東臼杵郡外科医会<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222<br>協和発酵キリン(株)               |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会(基礎研修<br>の後期研修会およ<br>び生涯研修の専門<br>研修会 3 単位 )<br>( 3 単位 )<br>( CC 1 ,11,12,<br>13,68,69) | 12月 10日(土)<br>14 15~ 17 20<br>宮崎市郡医師会館                                                            | (3)健康管理<br>慢性ウイルス感染症(エイズ, B型肝炎, C<br>型肝炎)の現状と対応<br>県立宮崎病院副院長 菊池 郁夫<br>(1)総論<br>災害時の精神保健医療活動<br>- 口蹄疫・新燃岳噴火・東日本大震災か<br>ら学んだこと -<br>宮崎大学医学部精神医学教授<br>石田 康 | 主催<br>宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434                                                              |
| 第 14回宮崎県眼科<br>医会講習会及び保<br>険研究会<br>( 3 単位 )<br>( CC 36)                                                 | 12月 10日(土)<br>16 00~ 19 00<br>ホテルJALシティ<br>宮崎<br>3,000円<br>( 開業医・勤務医 )<br>2,000円<br>( 公的医療機関勤務医 ) | 加齢黄斑変性の画像診断とラニビズマブ<br>硝子体内投与<br>日本大学医学部眼科学助教<br>森 隆三郎<br>屈折矯正手術の現況<br>聖路加国際病院眼科 山口 達夫                                                                   | 主催<br>宮崎県眼科医会<br>☎ 0985-28-1015<br>共催<br>ノバルティスファーマ(株)                                       |
| 第 63回宮崎整形外<br>科懇話会<br>( 1 単位 )<br>( CC 19,57)                                                          | 12月 10日(土)<br>17 00~ 18 00<br>県医師会館<br>1,000円                                                     | 治療に難渋する骨折<br>- その初期治療のポイントとサルベージ<br>対処法について -<br>香川県立中央病院整形外科主任部長<br>長野 博志                                                                              | 主催<br>宮崎整形外科懇話会<br>共催<br>宮崎県整形外科医会<br>大日本住友製薬(株)<br>( 連絡先 )<br>宮崎大学医学部整形外科<br>☎ 0985-85-0986 |

| 名 称                                                                         | 日時・場所・会費                                      | 演 題                                                           | そ の 他<br>= 連絡先                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 西諸医師会・西諸<br>内科医会合同学術<br>講演会<br>( 2 単位 )<br>( CC 59,60,62,77)                | 12月 12日(月)<br>18 45~<br>ガーデンベルズ小林             | 骨粗鬆症の最近の話題<br>宮崎大学医学部整形外科学教授<br>帖佐 悦男                         | 主催<br>西諸医師会<br>☎ 0984-23-2113<br>西諸内科医会<br>共催<br>大正富山医薬品(株)                |
| 日向市東臼杵郡医<br>師会学術講演会<br>( 1 単位 )<br>( CC 52,82)                              | 12月 12日(月)<br>19 00~ 21 00<br>ホテルベルフォート<br>日向 | 効率的な胃酸抑制を目指して<br>- 新規PPIの有用性 -<br>九州大学病院消化管内科学<br>診療准教授 松本 主之 | 主催<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>第一三共(株)<br>アストラゼネカ(株) |
| 宮崎市郡外科医会<br>12月例会<br>( 1 単位 )<br>( CC 10,84)                                | 12月 12日(月)<br>19 10~ 20 10<br>宮崎観光ホテル         | 宮崎県のpopulation-based studyと<br>産科医療<br>宮崎大学医学部産婦人科学教授<br>鮫島 浩 | 主催<br>宮崎市郡外科医会<br>☎ 0985-53-3434                                           |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会(生涯研修<br>の専門研修会 2 単<br>位 )<br>( 2 単位 )<br>( CC 5 ,11,12,82) | 12月 13日(火)<br>18 30~ 20 30<br>都城市北諸県郡医師<br>会館 | (5)健康保持増進<br>勤労者の問題飲酒の治療的介入<br>(プレアルコーリック)について<br>野崎病院長 後藤 勇  | 共催<br>宮崎産業保健推進センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                             |
| 第 29回宮崎県臨床<br>整形外科医会学術<br>講演会<br>( 1 単位 )<br>( CC 60,77)                    | 12月 15日(木)<br>19 00~ 20 00<br>M R T m i c c   | 骨粗鬆症治療の進歩とテリパラチド<br>産業医科大学整形外科教授<br>中村 利孝                     | 共催<br>宮崎県臨床整形外科医会<br>旭化成ファーマ(株)<br>☎ 0985-28-2736                          |

| 名 称                                                                             | 日時・場所・会費                                                            | 演 題                                                                                          | そ の 他<br>= 連絡先                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 168回宮崎県泌尿器科医会<br>( 2 単位 )<br>(CC 9 ,11,15,84)                                 | 12月 15日(木)<br>19 00~ 21 00<br>宮崎観光ホテル                               | 去勢抵抗性前立腺がんに対する新規薬剤<br>について<br>宮崎大学医学部泌尿器科教授<br>賀本 敏行                                         | 主催<br>宮崎県泌尿器科医会<br>( 連絡先 )<br>宮崎大学医学部泌尿器科<br>☎ 0985-85-2968                         |
| 第 5 回脂質異常症<br>と動脈硬化の治療<br>を考える会<br>( 2 単位 )<br>(CC 23,73,75,82)                 | 12月 15日(木)<br>19 00~ 21 00<br>宮崎観光ホテル                               | 動脈硬化性疾患に対するゼチーアの効果<br>たまきクリニック院長 玉置 昇<br>脂質異常症治療の現状と展望<br>千葉大学細胞治療内科学教授<br>横手 幸太郎            | 共催<br>脂質異常症と動脈硬化の治療を考える会<br>MSD(株)<br>バイエル薬品(株)<br>☎ 090-5258-5203                  |
| 平成 23年度宮崎県<br>プライマリ・ケア<br>研究会総会・講演<br>会<br>( 2.5単位 )<br>(CC 1 ,5 ,10,<br>13,14) | 12月 17日(土)<br>14 00~ 17 00<br>県医師会館                                 | シンポジウム 本音で 語ろう 職種連携<br>医師の立場から<br>クリニックうしたに院長<br>牛谷 義秀<br>歯科医師の立場から<br>県歯科医師会常務理事 錦井 英資<br>他 | 主催<br>宮崎県プライマ<br>リ・ケア研究会<br>☎ 0985-22-5118                                          |
| 第 10回宮崎皮膚疾<br>患治療研究会<br>( 1 単位 )<br>(CC 84)                                     | 12月 17日(土)<br>18 45~ 20 00<br>宮崎観光ホテル                               | 乾癬の発症機構と新しい治療法<br>高知大学医学部皮膚科学教授<br>佐野 栄紀                                                     | 共催<br>宮崎皮膚疾患治療研究会<br>マルホ(株)<br>☎ 096-382-2200                                       |
| 第 35回宮崎県耳鼻<br>咽喉科懇話会<br>( 2 単位 )<br>(CC 9 ,39)                                  | 平成 24年<br>1月 12日(木)<br>18 50~ 21 00<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター<br>500円 | アレルギー性鼻炎と鼻出血を詳しく考<br>える<br>自治医科大学医学部耳鼻咽喉科学<br>教授 市村 恵一                                       | 共催<br>宮崎県耳鼻咽喉科懇話会<br>協和発酵キリン(株)<br>☎ 0985-22-8801<br>後援<br>日耳鼻宮崎県地方部会<br>宮崎県耳鼻咽喉科医会 |

| 名 称                                                                                               | 日時・場所・会費                                                                          | 演 題                                                                                                                  | そ の 他<br>= 連絡先                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会(基礎研修<br>の後期研修会およ<br>び生涯研修の専門<br>研修会4単位)<br>(4単位)<br>(CC 1,3,7,<br>9,11,12,13,82) | 1月14日(土)<br>14 30~ 18 30<br>県医師会館<br>(TV会議 延岡・日<br>向・児湯・西都・南<br>那珂・西諸)            | (3)健康管理<br>災害時における産業医活動 - 健康管理 -<br>愛媛大学公衆衛生・健康医学教授<br>谷川 武<br>(1)総論<br>雇用環境の変化と産業保健の新しい課題<br>産業医科大学公衆衛生学教授<br>松田 晋哉 | 主催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                 |
| 第 69回宮崎大学眼<br>科学研究会<br>(3単位)<br>(CC 36)                                                           | 1月14日(土)<br>15 00~ 19 00<br>宮崎観光ホテル<br>2,000円                                     | 早期緑内障の構造と機能<br>金沢大学眼科助教 大久保 真司<br>「まぶたの病気」アラカルト<br>愛知医科大学眼科准教授<br>柿崎 裕彦                                              | 主催<br>宮崎大学医学部眼<br>科学教室<br>☎ 0985-85-2806       |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会(生涯研修<br>の専門研修会2単<br>位)<br>(2単位)<br>(CC 5,11,69,70)                               | 1月19日(木)<br>19 00~ 21 00<br>県医師会館<br>(TV会議 都城・延<br>岡・日向・児湯・西<br>都・南那珂・西諸・<br>西臼杵) | (4)メンタルヘルス対策<br>メンタルヘルス - 聞き管理 -<br>都城新生病院 前原 正法                                                                     | 共催<br>宮崎産業保健推進センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会(生涯研修<br>の専門研修会2単<br>位)<br>(2単位)<br>(CC 10,11,12,82)                              | 1月25日(水)<br>14 00~ 16 00<br>宮崎産業保健推進<br>センター                                      | (3)健康管理<br>他職種でささえる働き盛りの人の病気<br>クリニックうしたに院長<br>牛谷 義秀                                                                 | 共催<br>宮崎産業保健推進センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 |

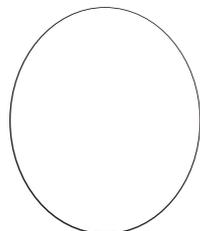
| 名 称                                                         | 日時・場所・会費                                   | 演 題                                              | そ の 他<br>= 連絡先                                                               |
|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 日本プライマリ・<br>ケア連合学会九州<br>支部講演会<br>( 1.5単位 )<br>(cc 1 ,6 ,13) | 2月1日(水)<br>19 00~<br>宮崎観光ホテル               | プライマリ・ケアと心身医療(仮)<br>九州大学病院長 久保 千春                | 主催<br>日本プライマリ・ケ<br>ア連合学会九州支部<br>後援<br>グラクソ・スミス<br>クライン(株)<br>☎ 080-1020-3980 |
| 第 10回宮崎大腸疾<br>患研究会<br>( 1.5単位 )<br>(cc 2 ,3 ,8 )            | 2月3日(金)<br>19 00~ 20 30<br>宮崎観光ホテル<br>500円 | IBD 診療ガイドライン<br>- 賢い読み方使い方 -<br>大船中央病院特別顧問 上野 文昭 | 主催<br>宮崎大腸疾患研究会<br>共催<br>味の素製薬(株)<br>☎ 092-283-7250                          |

## 日本医師会生涯教育カリキュラム ( 2009)

カリキュラムコード(略称 cc)

|                     |                |                     |
|---------------------|----------------|---------------------|
| 1 専門職としての使命感        | 29 認知能の障害      | 57 外傷               |
| 2 継続的な学習と臨床能力の保持    | 30 頭痛          | 58 褥瘡               |
| 3 公平・公正な医療          | 31 めまい         | 59 背部痛              |
| 4 医療倫理              | 32 意識障害        | 60 腰痛               |
| 5 医師・患者関係とコミュニケーション | 33 失神          | 61 関節痛              |
| 6 心理社会的アプローチ        | 34 言語障害        | 62 歩行障害             |
| 7 医療制度と法律           | 35 けいれん発作      | 63 四肢のしびれ           |
| 8 医療の質と安全           | 36 視力障害, 視野狭窄  | 64 肉眼的血尿            |
| 9 医療情報              | 37 目の充血        | 65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)   |
| 10 チーム医療            | 38 聴覚障害        | 66 乏尿・尿閉            |
| 11 予防活動             | 39 鼻漏・鼻閉       | 67 多尿               |
| 12 保健活動             | 40 鼻出血         | 68 精神科領域の救急         |
| 13 地域医療             | 41 嘔声          | 69 不安               |
| 14 医療と福祉の連携         | 42 胸痛          | 70 気分の障害(うつ)        |
| 15 臨床問題解決のプロセス      | 43 動悸          | 71 流・早産および満期産       |
| 16 ショック             | 44 心肺停止        | 72 成長・発達の障害         |
| 17 急性中毒             | 45 呼吸困難        | 73 慢性疾患・複合疾患の管理     |
| 18 全身倦怠感            | 46 咳・痰         | 74 高血圧症             |
| 19 身体機能の低下          | 47 誤嚥          | 75 脂質異常症            |
| 20 不眠               | 48 誤飲          | 76 糖尿病              |
| 21 食欲不振             | 49 嚥下困難        | 77 骨粗鬆症             |
| 22 体重減少・るい瘦         | 50 吐血・下血       | 78 脳血管障害後遺症         |
| 23 体重増加・肥満          | 51 嘔気・嘔吐       | 79 気管支喘息            |
| 24 浮腫               | 52 胸やけ         | 80 在宅医療             |
| 25 リンパ節腫脹           | 53 腹痛          | 81 終末期のケア           |
| 26 発疹               | 54 便通異常(下痢・便秘) | 82 生活習慣             |
| 27 黄疸               | 55 肛門・会陰部痛     | 83 相補・代替医療(漢方医療を含む) |
| 28 発熱               | 56 熱傷          | 84 その他              |

## 診療メモ



## 感染性胃腸炎について

宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御学分野 いな つ はる ひこ 稲 津 東 彦

「感染性胃腸炎」という診断名は、医師にとって「感冒」の病名と同様に便利でもあり、不便でもあります。病原性微生物による感染性(胃)腸炎を一括したもので多種多様な原因を包含しています。通常、*H. pylori*による急性胃炎や慢性胃炎を示すことはなく、感染性腸炎と同義で使われる場合がほとんどです。本来は、病原体分離が望まれますが、ほとんどが確定診断の前に自然治癒します。散発型、食品媒介感染(食中毒)、病院・施設感染、旅行者(輸入)、性感染症といったその発生状況などから分類する方法もありますが、一般の診療施設では、季節の流行、集団発生の有無、海外渡航、等の確認を行えば対症的な治療で対応可能なものが多いです。また、感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)により届け出が必要なものがあるので注意が必要です。

## 疫学

ウイルス性腸炎は、特にノロウイルスが秋から始まり12月に流行ピークを形成、その後春のピークはロタウイルスによる冬型が多いですが、アデノウイルスは夏に認めます。腸炎ピブリオなど細菌性腸炎は夏期に多いですが、病原性大腸菌等、通年性に発生を注意すべきものもあります。海外渡航者は、本邦で認める微生物の他に種々のものがあり、問診が必要です。中央・南アジアからの帰国者に多く、東南アジアでは、カンピロバクター、赤痢菌、非チフス性サルモネラが多く、その他の地域には、ランブル鞭毛虫(ジアルジア)、赤痢アメーバなどの原虫の比

率が高いとされます。

## 病原体

多くの細菌、ウイルス、寄生虫が本疾患の起因病原体となります。細菌性では腸炎ピブリオ、病原性大腸菌、サルモネラ、エルシニア、カンピロバクターなど、ウイルス性ではノロウイルス、ロタウイルス、腸管アデノウイルスなどが見られます。寄生虫ではクリプトスポリジウム、アメーバ、ランブル鞭毛虫などがあります。

## 臨床症状

病原体、感染様式、菌量、宿主の状態により異なりますが、発熱、下痢、悪心、嘔吐、腹痛が見られます。発熱が先行し、嘔吐、下痢など腹部症状が遅れることもあります。食中毒は感染以外の自然毒も含まれ、消化器症状以外の全身症状を有するものがあり、本稿では記述対象外とします。

## 病原体診断

血液検査所見で特異的なものはなく、一般に細菌感染症では白血球数増加、赤沈亢進、CRP陽性が見られます。原則として、抗菌剤使用前に糞便の細菌培養をしておくことと治癒遷延時や食中毒の際に役立ちます。洋式トイレで使える採便シート「ナガセール」という商品もあります。また、感染症法で規定された細菌を確認することができます。糞便からのウイルス分離、便中抗原検出なども病原体診断のために行われます。糞便の肉眼観察、顕微鏡による観察は、膿球(白血球)、寄生虫の確認に有用で、カンピロバクターはグラム染色による塗抹検査で推定されること

もあります。ロタウイルスに対しては検査キットがあり、ノロウイルスには、リアルタイム PCR 法をはじめ市販キットはありますが、保険適応はなく高価です。腸管出血性大腸菌では、ペロ毒素やリポ多糖体に対する血清学的診断も用いられます。

#### 治療・予防

原因が同定されていない感染性胃腸炎は、一般的に自然治癒傾向が強く、また、ウイルス性のものは、特別な治療法がないため、対症療法が中心です。細菌性を疑う時は、便培養を提出後、ニューキノロン(NQ)かホスミシン3日間投与を行うことが多いです。ただし、海外ではNQ薬剤耐性菌が問題となっています。カンピロバクターは、マクロライド系薬剤が第一選択です。原因病原体が同定されたら、特異的な治療を行います。

予防は、手洗いと患者との濃厚な接触を避けること。いずれの病原体においても院内、家庭内、あるいは集団内での二次感染の防止策を考慮することが肝要です。乳幼児には、ロタウイルス胃腸炎を予防する経口生ワクチンが発売されています。

さて、実際の診療で全ての原因病原体を鑑別するのは困難です。通常は、糞便の細菌培養後に対症的治療を行い、反応が悪ければ、胃腸科専門医あるいは感染症専門医に相談されると良いでしょう。できれば原因を推定したい方は、表1を参考にご使用下さい。潜伏期順に主な原因食物、便の性状をまとめています。病原性大腸菌については、腸管出血性大腸菌(enterohemorrhagic E. coli; EHEC)のみを入れましたが、他に4群の異なる病原性を示す大腸菌があり、潜伏期や症状が異なります。複雑ですので割愛しました。御注意下さい。また、抗菌剤使用者、入院中や施設入所中の方には、CDトキシン検査をお勧めします。偽膜性腸炎(現在は広くClostridium difficile感染症)は疑うことが診断の一步です。炎症性腸疾患や膠原線維性大腸炎は症状が続いた時に疑います。感染症情報センターのホームページにも有益な情報がありますのでご利用下さい。

本稿が皆様の診療に役立てば幸いです。

表1 感染性腸炎の臨床像

| 病原微生物    | 潜伏期    | 原因       | 海外渡航 | 症状・便の性状              | 感染症法 |
|----------|--------|----------|------|----------------------|------|
| ブドウ球菌    | 1～5時間  | 調理者(手)   | (-)  | 嘔吐,(水+++ ,粘+)        | 5類   |
| サルモネラ    | 8～48時間 | 鶏卵・鶏肉・他  | しばしば | 発熱,(水・泥・粘+ ,血±)      | 5類   |
| ノロウイルス   | 3～40時間 | 生かき      | しばしば | 微熱,嘔吐,(水++ ,泥+)      | 5類   |
| 腸炎ピブリオ   | 1日以内   | 魚介類      | しばしば | 発熱,(水・泥・粘++ ,血+)     | 5類   |
| 細菌性赤痢    | 1～5日   | 水・食品     | 高頻度  | 発熱,(水・泥+ ,粘++ ,血+++) | 3類   |
| コレラ      | 1～5日   | 水・魚介類    | 高頻度  | 発熱,嘔吐,(水++ ,泥++)     | 3類   |
| ロタウイルス   | 2～3日   | 糞便       | (-)  | 発熱,嘔吐(水+++ ,泥++)     | 5類   |
| カンピロバクター | 2～7日   | 鶏卵・鶏肉・他  | (-)  | 発熱,(泥+ ,粘++ ,血+++)   | 5類   |
| エルシニア    | 3～7日   | 豚肉・水     | (-)  | 発熱,(水++ ,泥+)         | 5類   |
| 腸管出血性大腸菌 | 4～8日   | 肉・野菜     | (-)  | 微熱,(泥++ ,血+++)       | 3類   |
| チフス      | 10～14日 | 水・食品     | 高頻度  | 発熱,下痢土               | 3類   |
| アメーバ赤痢   | 数日～数年  | 水・食品・性感染 | しばしば | (粘++ ,血+++)          | 5類   |

便の性状 血便(血),水様便(水),泥状便(泥),粘状(粘)

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ホームページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。

| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月 28日 | ・財務省共済組合員証の無効について(通知)                                                                                                |
| 10月 29日 | ・第 1 回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の開催について                                                                                    |
| 11月 1 日 | ・高齢者の居住の安定確保に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令等の施行について                                                        |
| 11月 4 日 | ・平成 23 年度乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間の実施に伴う普及啓発について(依頼)                                                                     |
| 11月 7 日 | ・「じん肺標準エックス線写真集」(平成 23 年 3 月)フィルム版及び電子媒体版の取扱いについてならびに「じん肺健康診断及びじん肺管理区分の決定における DR( FPD )写真及び CR 写真の取扱い等について」の一部改正について |
| 11月 14日 | ・インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動の情報収集に関する研究に対する協力について<br>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について                                                |
| 11月 16日 | ・感染症の病原体等の運搬容器の適正使用の徹底について<br>・麻しんに関するガイドラインについて                                                                     |
| 11月 17日 | ・「病院の在宅医療機能および退院支援に関する実態調査」について(協力依頼)                                                                                |
| 11月 18日 | ・今冬のインフルエンザ総合対策の推進について                                                                                               |
| 11月 24日 | ・法務省共済組合員証の無効について(通知)                                                                                                |

## 日州医事投稿についてのお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、御意見などの投稿を随時受け付けております。以下の要領に依ってご投稿ください。

1. 字数は4,000字以内

写真・図（カラー印刷はできません）も歓迎しますが、これも含めて、上記以内になるようにお願いします（写真1枚は約300字に相当します）。

2. 原稿の採否、掲載月は広報委員会にご一任ください。

なお、編集の都合により、用字・句読点等について修正することがあります。

3. 原則として、原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご連絡ください。

4. 投稿後の加筆修正はご遠慮ください。

5. ご投稿の原稿が他誌に掲載、または掲載中の場合はその旨お知らせ下さい。

6. 原稿は、メールの他、FAX、郵送等にも受け付けております。メールの場合はワードまたはテキスト形式で保存し、下記へお届けください（投稿項目、タイトル、ご氏名を明記してください）。なお、県医師会で原稿用紙を用意しておりますが、市販の原稿用紙やワープロ印字のものでも結構です。

---

宛 先： 宮崎県医師会広報委員会

E-mail: genko@miyazakimed.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550

本誌記事に対するご意見やご要望、アイデアなどもお待ちしております。

## 平成 23年 総目次 ( 737~ 748)

## 【表 紙】

|           |         |           |       |
|-----------|---------|-----------|-------|
| 日の出       | 宮 崎 市   | 竹 尾 康 男   | 1 月号  |
| 地塘春草      | 都 城 市   | 吉 山 政 敏   | 2 月号  |
| 夕照        | 新 富 町   | 丸 田 英 夫   | 3 月号  |
| 春爛漫       | 宮 崎 市   | 西 村 篤 乃   | 4 月号  |
| 夏はきぬ      | 宮 崎 市   | 弓 削 和 子   | 5 月号  |
| 清和        | 宮 崎 市   | 木 佐 貫 冬 星 | 6 月号  |
| 沖縄の守り神    | 高 千 穂 町 | 佐 藤 秀 子   | 7 月号  |
| ナイルA      | 西 都 市   | 富 田 明 美   | 8 月号  |
| 女郎花       | 宮 崎 市   | 弓 削 三 重 子 | 9 月号  |
| 記憶の旋律     | 西 都 市   | 安 藤 宣     | 10 月号 |
| 桜島風景      | 都 城 市   | 吉 山 政 敏   | 11 月号 |
| 夢の世界(白川郷) | 宮 崎 市   | 西 村 篤 乃   | 12 月号 |

## 【会長のページ】

|                                                    |     |         |       |
|----------------------------------------------------|-----|---------|-------|
| 年頭のご挨拶                                             | 会 長 | 稲 倉 正 孝 | 1 月号  |
| 医師養成についての日本医師会の提案 医学部教育と初期臨床研修制度の見直し (案)           |     |         | 2 月号  |
| 新公益法人制度に対する宮崎県医師会の対応<br>(宮崎県医師会公益法人化検討委員会中間報告を中心に) |     |         | 3 月号  |
| 東日本大震災への災害医療チーム「JM A T」派遣                          |     |         | 4 月号  |
| 第 1 回統一地方選宮崎 2011( 県議選 )の総括                        |     |         | 5 月号  |
| 「JM A T」派遣協力に対する御礼と東日本大震災                          |     |         | 6 月号  |
| 医療における消費税非課税制度                                     |     |         | 7 月号  |
| 医師確保についての日本医師会の提案(第 2 報)について                       |     |         | 8 月号  |
| 有床診療所の役割                                           |     |         | 9 月号  |
| 日本の予防接種制度の問題点と V P D                               |     |         | 10 月号 |
| 2012 年度研修医マッチング結果について                              |     |         | 11 月号 |
| T P P 交渉参加と医療分野における問題点                             |     |         | 12 月号 |

## 【日州医談】

|                            |       |         |       |
|----------------------------|-------|---------|-------|
| 介護保険制度の見直しに関する意見を読んで思うこと   | 常任理事  | 石 川 智 信 | 2 月号  |
| 日本医師会生涯教育制度実施要綱の改正         | 常任理事  | 松 本 宏 一 | 3 月号  |
| 本会の公益法人化について               | 常任理事  | 立 元 祐 保 | 4 月号  |
| 国保組合をめぐる情勢について             | 理 事   | 高 橋 政 見 | 5 月号  |
| 東日本大震災：日本医師会災害医療チーム JM A T | 常任理事  | 荒 木 早 苗 | 5 月号  |
| 医療保険委員会の活動と問題点             | 理 事   | 上 田 章   | 6 月号  |
| 宮崎県医師会公益法人化の問題点            | 常任理事  | 立 元 祐 保 | 7 月号  |
| 日本版 E H R                  | 理 事   | 濟 陽 英 道 | 7 月号  |
| 審査における「突合点検」「縦覧・横覧点検」      | 副 会 長 | 富 田 雄 二 | 8 月号  |
| 市民大応援団と総合医                 | 理 事   | 金 丸 吉 昌 | 8 月号  |
| 看護師・准看護師養成と日医認定医療秘書養成について  | 理 事   | 長 倉 穂 積 | 9 月号  |
| 産業保健活動の現状とこれから             | 理 事   | 矢 野 裕 士 | 10 月号 |

|                          |                 |            |           |      |
|--------------------------|-----------------|------------|-----------|------|
| 遺伝子治療はどこまできたか            | 眼科疾患を例として       | 理 事        | 直 井 信 久   | 1月号  |
| ポリオは根絶できるのか              |                 | 理 事        | 峰 松 俊 夫   | 12月号 |
| <b>【 挨 拶 】</b>           |                 |            |           |      |
| 年頭所感                     | 日本医師会長          |            | 原 中 勝 征   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 宮崎市郡医師会長        |            | 中 村 典 生   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 都城市北諸県郡医師会長     |            | 夏 田 康 則   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 延岡市医師会長         |            | 牧 野 剛 緒   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 日向市東臼杵郡医師会長     |            | 渡 邊 康 久   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 児湯医師会長          |            | 永 友 和 之   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 西都市・西児湯医師会長     |            | 児 玉 健 二   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 南那珂医師会長         |            | 山 元 敏 嗣   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 西諸医師会長          |            | 榎 健 一 郎   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 宮崎大学医学部医師会長     |            | 池ノ上 克     | 1月号  |
| 年頭所感                     | 内科医会長           |            | 栗 林 忠 信   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 小児科医会長          |            | 佐 藤 雄 一   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 外科医会長           |            | 田 中 俊 正   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 整形外科医会長         |            | 田 島 直 也   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 皮膚科医会長          |            | 成 田 博 実   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 泌尿器科医会長         |            | 中 山 健 一   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 産婦人科医会長         |            | 濱 田 政 雄   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 眼科医会長           |            | 柴 田 博     | 1月号  |
| 年頭所感                     | 耳鼻咽喉科医会長        |            | 菊 池 清 文   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 精神科医会長          |            | 吉 田 建 世   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 放射線科医会長         |            | 田 村 正 三   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 東洋医会副会長         |            | 川 越 宏 文   | 1月号  |
| 年頭所感                     | 透析医会長           |            | 藤 元 昭 一   | 1月号  |
| 年頭のご挨拶                   | 県 知 事           |            | 東国原 英 夫   | 1月号  |
| 年頭のご挨拶                   | 衆議院議員( 1 区 )    |            | 川 村 秀 三 郎 | 1月号  |
| 年頭のご挨拶                   | 衆議院議員( 2 区 )    |            | 江 藤 拓     | 1月号  |
| 年頭のご挨拶                   | 衆議院議員( 3 区 )    |            | 古 川 禎 久   | 1月号  |
| 年頭のご挨拶                   | 衆議院議員( 九州ブロック ) |            | 道 休 誠 一 郎 | 1月号  |
| 年頭のご挨拶                   | 参議院議員           |            | 松 下 新 平   | 1月号  |
| 年頭のご挨拶                   | 参議院議員           |            | 外 山 斎     | 1月号  |
| <b>【 宮崎大学医学部教授就任挨拶 】</b> |                 |            |           |      |
| 解剖学講座超微形態科学分野            |                 | 教 授        | 澤 口 朗     | 2月号  |
| 生殖発達医学講座産婦人科学分野          |                 | 教 授        | 鮫 島 浩     | 7月号  |
| <b>【 随想・随筆 】</b>         |                 |            |           |      |
| 人間ドックは必要か                | 宮 崎 市           |            | 谷 口 二 郎   | 4月号  |
| 中国に学ぶ上海市癌症康復学校見聞記        | 都 城 市           |            | 柳 田 喜 美 子 | 5月号  |
| 台湾旅行                     | 日 向 市           |            | 鮫 島 哲 也   | 10月号 |
| 雲仙への旅と島原半島のこと            | 西 都 市           |            | 友 成 久 雄   | 11月号 |
| 柱時計                      | 宮 崎 市           |            | 渡 邊 克 司   | 11月号 |
| ペットボトル                   | 宮 崎 市           |            | 谷 口 二 郎   | 11月号 |
| <b>【 寄 稿 】</b>           |                 |            |           |      |
| 東日本大震災の活動報告              | 宮城県宮城郡七ヶ浜町      | かしま田園クリニック | 鹿 島 哲     | 10月号 |

## 【新春随想・俳壇・歌壇】

|                            |     |       |     |
|----------------------------|-----|-------|-----|
| 日向の夜明け                     | 宮崎市 | 山村善教  | 1月号 |
| 今年は後期高齢者                   | 宮崎市 | 立山浩道  | 1月号 |
| 痛くない注射なら...                | 宮崎市 | 谷口二郎  | 1月号 |
| あゝ紅の血は燃ゆる                  | 延岡市 | 宝珠山弘  | 1月号 |
| 初めての入院                     | 都城市 | 野田俊一  | 1月号 |
| 続卒後五十年級友会                  | 延岡市 | 藤本孝一  | 1月号 |
| 新春によせて - 我が国の医師養成を思う       | 宮崎市 | 小池弘幸  | 1月号 |
| 年女になって                     | 宮崎市 | 高崎るみ子 | 1月号 |
| ポンタンの苗木                    | 都城市 | 小牧一磨  | 1月号 |
| 新春随想                       | 西都市 | 松本英裕  | 1月号 |
| 蕎麦打ち                       | 美郷町 | 金丸吉昌  | 1月号 |
| 事実はドラマよりも奇なり               | 宮崎市 | 玉利裕一  | 1月号 |
| 私の趣味                       | 宮崎市 | 石川和彦  | 1月号 |
| 救急医療センターの当直                | 三股町 | 小牧文雄  | 1月号 |
| AEDと私                      | 宮崎市 | 長田直人  | 1月号 |
| 徘徊                         | 高鍋町 | 坂田師隣  | 1月号 |
| 雑感                         | 西都市 | 留守健一  | 1月号 |
| 私の趣味                       | 延岡市 | 日高芳則  | 1月号 |
| 開業の日常                      | 延岡市 | 野田寛   | 1月号 |
| 高校の卒後40周年の同窓会に参加して         | 都城市 | 税所幸一郎 | 1月号 |
| ウィーンフィル                    | 日南市 | 竹中晃司  | 2月号 |
| 新春随想                       | 延岡市 | 宮本義明  | 2月号 |
| 田舎三段                       | 小林市 | 今村司   | 2月号 |
| “龍馬伝”から“坂の上の雲”へ            | 都城市 | 瀬口浩司  | 2月号 |
| 新春随想～私の趣味～                 | 宮崎市 | 田中史郎  | 2月号 |
| ESCAPE - 化学療法をESCAPEする細菌 - | 宮崎市 | 南嶋洋一  | 2月号 |
| 気になる数値                     | 宮崎市 | 森憲正   | 2月号 |
| 恐るべし韓国ドラマ                  | 日南市 | 井藤健夫  | 2月号 |
| 新春随想                       | 日南市 | 峰松俊夫  | 2月号 |
| 少子高齢化社会には総合内科開業医が必要        | 日南市 | 河野清秀  | 2月号 |
| くじゅう山想                     | 延岡市 | 長沼弘三郎 | 2月号 |
| 憂国                         | 都城市 | 佐々木幸二 | 2月号 |
| 雪の思い出                      | 都城市 | 飛松憲夫  | 2月号 |
| 年女の誓い 12年間の恩恵に報いるには        | 宮崎市 | 秦博子   | 2月号 |

## 【はまゆう随筆・短歌・俳句】

|                              |         |      |     |
|------------------------------|---------|------|-----|
| 喜寿を前にまだ娑婆気が                  | 鹿児島県伊佐市 | 住吉昭信 | 7月号 |
| DMAT in 寛政4年                 | 三股町     | 山下兼一 | 7月号 |
| 満80歳を過ぎて                     | 宮崎市     | 森満保  | 7月号 |
| ロキとの散歩                       | 宮崎市     | 谷口二郎 | 7月号 |
| 宮島紀行                         | 都城市     | 生嶋一朗 | 7月号 |
| 台湾との友好関係を考える                 | 宮崎市     | 田島直也 | 7月号 |
| フランス旅行記(その1)ロンブイユ自然動物公園見学ツアー | 宮崎市     | 藤木浩  | 7月号 |
| 油断大敵                         | 宮崎市     | 横田直人 | 7月号 |

|                                     |       |           |      |
|-------------------------------------|-------|-----------|------|
| 稲むらの火                               | 都 城 市 | 横 山 陽 二   | 7 月号 |
| 春の深夜に                               | 宮 崎 市 | 古 澤 秀 実   | 7 月号 |
| 娘を大切に                               | 宮 崎 市 | 壹 岐 尚 生   | 7 月号 |
| 伝聞                                  | 宮 崎 市 | 松 本 宏 一   | 7 月号 |
| 長老の話に耳を傾ける                          | 宮 崎 市 | 田 中 宏 幸   | 7 月号 |
| 木を見て森を見ず                            | 延 岡 市 | 宝 珠 山 弘   | 7 月号 |
| 中医学と漢方                              | 宮 崎 市 | 内 田 厚 生   | 7 月号 |
| フランス旅行記(その2)ブルトノー病院見学               | 宮 崎 市 | 藤 木 浩     | 8 月号 |
| 紫陽花コンプレックス                          | 高 鍋 町 | 坂 田 師 通   | 8 月号 |
| 互助会の解散                              | 宮 崎 市 | 楠 元 正 輝   | 8 月号 |
| なぜそんな所に住めるんだ                        | 宮 崎 市 | 王 丸 鴻 一   | 8 月号 |
| 痛いということ                             | 宮 崎 市 | 中 村 誠 司   | 8 月号 |
| 仁王様の法力か?                            | 日 向 市 | 渡 邊 命 平   | 8 月号 |
| 喜寿(数え年)となる                          | 延 岡 市 | 藤 本 孝 一   | 8 月号 |
| 喜寿を迎えて                              | 高 鍋 町 | 蓑 田 節 夫   | 8 月号 |
| 三面鏡                                 | 宮 崎 市 | 山 村 善 教   | 8 月号 |
| とかく医学用語はムツカシイ?                      | 延 岡 市 | 野 村 英 輔   | 8 月号 |
| ペダルを踏んで                             | 宮 崎 市 | 田 畑 直 人   | 8 月号 |
| もう一つの人生                             | 宮 崎 市 | 松 浦 宏 司   | 8 月号 |
| 日南に来て                               | 日 南 市 | 笠 目 敏 夫   | 8 月号 |
| 名医よ起て                               | 宮 崎 市 | 竹 尾 康 男   | 8 月号 |
| 延岡讃歌                                | 延 岡 市 | 早 川 國 男   | 8 月号 |
| 私と音楽とのつき合い                          | 三 股 町 | 内 田 恒 久   | 9 月号 |
| 私の趣味                                | 宮 崎 市 | 石 川 和 彦   | 9 月号 |
| 外を走る                                | 宮 崎 市 | 田 中 善 久   | 9 月号 |
| 心もよう                                | 宮 崎 市 | 日 高 せつ子   | 9 月号 |
| 東日本大震災と宮崎国際音楽祭                      | 日 南 市 | 竹 中 晃 司   | 9 月号 |
| 久しぶりのゴルフ                            | 西 都 市 | 友 成 久 雄   | 9 月号 |
| 東日本大震災後、当院からの J M A T 派遣報告を聴いて感じたこと | 宮 崎 市 | 浅 田 敬 子   | 9 月号 |
| 吹けば飛ぶような将棋の駒ですが                     | 日 南 市 | 峰 松 俊 夫   | 9 月号 |
| “岩城さん” やーい                          | 国 富 町 | 小 橋 正 洋   | 9 月号 |
| 診療閑話～ある日の眼科診察室にて～                   | 都 城 市 | 中 原 正 彰   | 9 月号 |
| 「今どきのママ」におばちゃんが思うこと                 | 宮 崎 市 | 糸 数 智 美   | 9 月号 |
| 日照雨                                 | 延 岡 市 | 長 沼 弘 三 郎 | 9 月号 |
| 旅                                   | 延 岡 市 | 日 高 隆 徳   | 9 月号 |
| 私と空手との関り                            | 都 城 市 | 柳 田 琢 也   | 9 月号 |
| 【エコー・リレー】                           |       |           |      |
| 最近思うこと                              | 都 城 市 | 鵜 木 俊 秀   | 1 月号 |
| T.G.I.F.                            | 日 南 市 | 江 藤 琢 磨   | 1 月号 |
| ドリームにちりん随想                          | 宮 崎 市 | 丸 山 英 晴   | 2 月号 |
| 宮崎がん患者共同勉強会とブログ                     | 宮 崎 市 | 押 川 勝 太 郎 | 2 月号 |
| 我が家の介助犬                             | 日 南 市 | 岡 本 将 幸   | 3 月号 |
| ジョギングのすすめ                           | 都 城 市 | 小 林 浩 二   | 3 月号 |
| 日曜の午後                               | 宮 崎 市 | 村 井 幸 一   | 4 月号 |

|                        |                   |        |      |
|------------------------|-------------------|--------|------|
| TV 番組収録の裏側             | 宮崎市               | 小林 隆彦  | 4月号  |
| “あしたのために”              | 宮崎市               | 中間 哲文  | 5月号  |
| 子供の勉強をみるのが趣味?          | 宮崎市               | 下窪 徹   | 5月号  |
| 有床診療所から                | 宮崎市               | 影山 均   | 6月号  |
| 大きく声を出して・うたっていい気分      | 宮崎市               | 上園 繁弘  | 6月号  |
| 「ダンカジ」のすすめ             | 宮崎市               | 佐々木 隆  | 7月号  |
| オフの愉しみ                 | 日南市               | 原 誠一郎  | 7月号  |
| 身近な生き物とのふれあい           | 宮崎市               | 細川 和義  | 8月号  |
| 長寿遺伝子 その名は“サーチェイン”     | 延岡市               | 小川 修   | 8月号  |
| 習いごと                   | 宮崎市               | 石野田 吉弘 | 9月号  |
| デジタル化                  | 小林市               | 池井 義彦  | 9月号  |
| 一眼レフカメラ                | 宮崎市               | 石原 史朗  | 10月号 |
| 海の中                    | 高鍋町               | 米澤 勤   | 10月号 |
| 医院グリーン化の顛末             | 宮崎市               | 篠原 立大  | 11月号 |
| 单身生活                   | 宮崎市               | 中村 都英  | 11月号 |
| 磯釣り礼賛                  | 宮崎市               | 伊井 敏彦  | 12月号 |
| 身だしなみ                  | 延岡市               | 押領司 篤茂 | 12月号 |
| 【叙位・叙勲】                |                   |        |      |
| 旭日双光章                  | 宮崎市郡医師会           | 大坪 睦郎  | 9月号  |
| 【表彰・祝賀】                |                   |        |      |
| 学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰 | 延岡市医師会            | 萩原 武雄  | 3月号  |
| 産科医療功労者厚生労働大臣表彰        | 延岡市医師会            | 山中 正宣  | 3月号  |
| 読売新聞社第 39 回宮崎県医療功労賞表彰  | 西都市・西児湯医師会        | 大塚 直純  | 3月号  |
| 医療功労者県知事表彰             | 都城市北諸県郡医師会        | 速見 晴朗  | 9月号  |
| 医療功労者県知事表彰             | 日向市東臼杵郡医師会        | 渡邊 康久  | 9月号  |
| 医療功労者県知事表彰             | 南那珂医師会            | 島田 鳴海  | 9月号  |
| 【あなたできますか?】            |                   |        | 各号   |
| 【宮崎県感染症発生動向】           |                   |        | 各号   |
| 【メディアの目】               |                   |        |      |
| 嗚呼、青太スマイル              | 時事通信社宮崎支局長        | 岩下 耕一郎 | 2月号  |
| 神の山は何に怒っているのか          | 西日本新聞社宮崎総局長       | 豊福 健一郎 | 3月号  |
| 「こころの風邪」は今             | 毎日新聞宮崎支局長         | 池田 亨   | 4月号  |
| 薬物依存                   | 朝日新聞宮崎総局長         | 神谷 裕司  | 5月号  |
| 東日本大震災に思う              | NHK 宮崎放送局放送部長     | 大村 俊哉  | 6月号  |
| 忘れじの日向灘                | 共同通信宮崎支局長         | 上野 敏彦  | 7月号  |
| 東日本大震災福島県取材について        | テレビ宮崎報道制作局局長兼報道部長 | 河野 真   | 8月号  |
| 政治の迷走いつまで              | 宮崎日日新聞社報道部長兼論説委員  | 森 耕一郎  | 9月号  |
|                        | MRT 宮崎放送報道制作局長    | 小堀 正貴  | 10月号 |
| 宮崎・奄美・鹿児島              | 南日本新聞宮崎支局長        | 前田 昭人  | 11月号 |
| 仮想水 水を大切に              | 読売新聞宮崎支局長         | 千田 伸二  | 12月号 |
| 【各都市医師会だより】(メイン)       |                   |        |      |
| 宮崎市郡医師会(メイン)           |                   |        | 2月号  |
| 都城市北諸県郡医師会(メイン)        |                   |        | 3月号  |
| 延岡市医師会(メイン)            |                   |        | 4月号  |

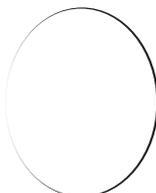
|                       |      |    |    |      |
|-----------------------|------|----|----|------|
| 日向市東臼杵郡医師会(メイン)       |      |    |    | 5月号  |
| 児湯医師会(メイン)            |      |    |    | 6月号  |
| 西都市・西児湯医師会(メイン)       |      |    |    | 7月号  |
| 南那珂医師会(メイン)           |      |    |    | 8月号  |
| 西諸医師会(メイン)            |      |    |    | 9月号  |
| 西臼杵郡医師会(メイン)          |      |    |    | 10月号 |
| (メインなし)               |      |    |    | 11月号 |
| 宮崎市郡医師会(メイン)          |      |    |    | 12月号 |
| <b>【国公立病院だより】</b>     |      |    |    |      |
| 椎葉村国民健康保険病院           | 病院長  | 吉持 | 巖信 | 3月号  |
| 国民健康保険高原病院            | 病院長  | 莫根 | 隆一 | 5月号  |
| 諸塚村国民健康保険病院           | 事務長  | 山本 | 説芳 | 7月号  |
| 済生会日向病院               | 事務長  | 柏田 | 章二 | 10月号 |
| 小林市立病院                | 病院長  | 坪内 | 斉志 | 11月号 |
| <b>【宮崎大学医学部だより】</b>   |      |    |    |      |
| 外科学講座泌尿器科学分野          | 医局長  | 分田 | 裕順 | 2月号  |
| 附属病院医療情報部             | 准教授  | 鈴木 | 斎王 | 3月号  |
| 機能制御学講座応用生理学分野        | 准教授  | 中島 | 融一 | 4月号  |
| 病態解析医学講座放射線医学分野       | 准教授  | 長町 | 茂樹 | 5月号  |
| 感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 | 医局長  | 中西 | 悠  | 6月号  |
| 内科学講座循環体液制御学分野        | 医局長  | 佐藤 | 祐二 | 7月号  |
| 病理学講座構造機能病態学分野        | 講師   | 畠山 | 金太 | 8月号  |
| 内科学講座消化器血液学分野         | 医局長  | 蓮池 | 悟  | 9月号  |
| 生殖発達医学講座小児科学分野        | 講師   | 盛武 | 浩  | 10月号 |
| 機能制御学講座薬理学分野          | 教授   | 村上 | 学  | 11月号 |
| 病態解析医学講座麻酔生体管理学分野     | 教授   | 恒吉 | 勇男 | 12月号 |
| <b>【専門分科医会だより】</b>    |      |    |    |      |
| 内科医会                  | 会長   | 栗林 | 忠信 | 4月号  |
| 皮膚科医会                 | 会長   | 成田 | 博実 | 5月号  |
| 外科医会                  | 理事   | 東  | 秀史 | 6月号  |
| 東洋医会                  | 会長代理 | 川越 | 宏文 | 8月号  |
| 整形外科医会                | 会長   | 田島 | 直也 | 9月号  |
| 眼科医会                  | 会長   | 柴田 | 博  | 10月号 |
| 小児科医会                 | 会長   | 佐藤 | 雄一 | 12月号 |
| <b>【部会だより】</b>        |      |    |    |      |
| 産業医部会                 | 常任理事 | 大塚 | 直純 | 3月号  |
| 園医部会                  | 部会長  | 先成 | 英一 | 7月号  |
| 勤務医部会                 | 部会長  | 豊田 | 清一 | 11月号 |
| <b>【報告(各種委員会)】</b>    |      |    |    |      |
| 女性医師委員会               |      |    |    | 1月号  |
| 医学賞選考委員会              |      |    |    | 1月号  |
| 第3回公益法人化検討委員会         |      |    |    | 3月号  |
| 第4回公益法人化検討委員会         |      |    |    | 4月号  |
| 医学会誌編集委員会             |      |    |    | 5月号  |
| 予防接種委員会               |      |    |    | 7月号  |

|                                                 |                        |         |  |      |
|-------------------------------------------------|------------------------|---------|--|------|
| 第 5 回・第 6 回公益法人化検討委員会                           |                        |         |  | 8 月号 |
| 健康スポーツ医学委員会                                     |                        |         |  | 8 月号 |
| 健康教育委員会                                         |                        |         |  | 8 月号 |
| 医学会誌編集委員会                                       |                        |         |  | 10月号 |
| 介護保険委員会                                         |                        |         |  | 11月号 |
| 第 7 回公益法人化検討委員会                                 |                        |         |  | 11月号 |
| <b>【報告( 諸会議 )】</b>                              |                        |         |  |      |
| 宮崎県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会                          |                        |         |  | 1 月号 |
| 平成 22年度九州学校検診協議会専門委員会                           |                        |         |  | 1 月号 |
| 九州各県医師会学校保健担当理事者会                               |                        |         |  | 1 月号 |
| 平成 22年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会                      |                        |         |  | 1 月号 |
| 第 4 回全国学校保健・学校医大会                               |                        |         |  | 1 月号 |
| 九州医師会連合会第 315 回常任委員会                            |                        |         |  | 3 月号 |
| 九州医師会連合会平成 22年度第 2 回各種協議会                       |                        |         |  | 4 月号 |
| 九州医師会連合会第 316 回常任委員会                            |                        |         |  | 4 月号 |
| 第 32 回産業保健活動推進全国会議                              |                        |         |  | 4 月号 |
| 日本医師会予防接種講習会                                    |                        |         |  | 4 月号 |
| 第 153 回宮崎県医師会定例代議員会( 概要 )                       |                        |         |  | 5 月号 |
| 保険医療機関の指導計画等打合せ会                                |                        |         |  | 6 月号 |
| 九州医師会連合会第 317 回常任委員会                            |                        |         |  | 6 月号 |
| 宮崎県医師会医学会役員会                                    |                        |         |  | 7 月号 |
| 宮崎県医師会互助会定時評議員会                                 |                        |         |  | 7 月号 |
| 九州医師会連合会第 318 回常任委員会                            |                        |         |  | 7 月号 |
| 九州医師会連合会第 10 回定例委員総会                            |                        |         |  | 7 月号 |
| 都道府県医師会環境保健担当理事連絡協議会                            |                        |         |  | 7 月号 |
| 第 154 回宮崎県医師会定例代議員会( 概要 )                       |                        |         |  | 8 月号 |
| 平成 23 年度第 6 回宮崎県医師会定例総会                         |                        |         |  | 8 月号 |
| 県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会                            |                        |         |  | 8 月号 |
| 第 1 回各郡市医師会長協議会                                 |                        |         |  | 8 月号 |
| 平成 23 年度都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会                   |                        |         |  | 8 月号 |
| 平成 23 年度九州学校検診協議会 第 1 回専門委員会                    |                        |         |  | 10月号 |
| 第 55 回九州ブロック学校保健・学校医大会, 平成 23 年度学校検診協議会( 年次大会 ) |                        |         |  | 10月号 |
| 平成 24 年度九州医師会医学会第 1 回準備委員会                      |                        |         |  | 11月号 |
| 九州医師会連合会第 32 回常任委員会                             |                        |         |  | 11月号 |
| 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会                            |                        |         |  | 11月号 |
| 九州医師会連合会平成 23 年度第 1 回各種協議会                      |                        |         |  | 12月号 |
| <b>【報告( その他 )】</b>                              |                        |         |  |      |
| 宮崎県医師会創立 122 周年記念医学会                            |                        |         |  | 4 月号 |
| JM A T 活動報告 第 1 班                               | 平田東九州病院                | 長 井 正 寿 |  | 5 月号 |
| JM A T 活動報告 第 2 班                               | 野崎病院                   | 肝 付 兼一郎 |  | 5 月号 |
| JM A T 活動報告 第 3 班                               | 古賀総合病院                 | 後 藤 崇   |  | 5 月号 |
| JM A T 活動報告 A 班                                 | SUM CO TECH X IV 宮崎診療所 | 谷 山 ゆかり |  | 5 月号 |
| JM A T 活動報告 第 4 班                               | 宮崎善仁会病院                | 廣 兼 民 徳 |  | 5 月号 |
| JM A T 活動報告 第 6 班                               | 宮崎善仁会病院                | 牧 原 真 治 |  | 6 月号 |
| JM A T 活動報告 第 7 班                               | 宮崎市郡医師会病院              | 木 村 俊 之 |  | 6 月号 |

|                                                    |            |         |       |
|----------------------------------------------------|------------|---------|-------|
| JM A T 活動報告 第 8 班                                  | 宮崎善仁会病院    | 長 野 健 彦 | 6 月号  |
| JM A T 活動報告 第 10 班                                 | 小林市立病院     | 松 田 俊太郎 | 6 月号  |
| JM A T 活動報告 第 12 班                                 | ひろの内科クリニック | 弘 野 修 一 | 6 月号  |
| JM A T 活動報告 第 15 班                                 | 古賀総合病院     | 菅 瀬 隆 信 | 7 月号  |
| JM A T 活動報告 第 16 班                                 | 日向市立東郷病院   | 崎 濱 正 人 | 7 月号  |
| JM A T 活動報告 第 17 班                                 | 宮崎市郡医師会病院  | 仲 間 達 也 | 7 月号  |
| JM A T 活動報告 第 18 班                                 | 西小林診療所     | 板 橋 佳奈子 | 7 月号  |
| JM A T 活動報告 第 5 班                                  | 古賀総合病院     | 山 本 淳   | 8 月号  |
| JM A T 活動報告 第 19 班                                 | 平田東九州病院    | 長 井 正 寿 | 8 月号  |
| 第 12 回宮崎県医師会医家芸術展                                  | 理 事        | 高 橋 政 見 | 8 月号  |
| 第 22 回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会                           |            |         | 8 月号  |
| 宮崎県医師会親善ゴルフ大会                                      |            |         | 12 月号 |
| <b>【薬事情報センターだより】</b>                               |            |         |       |
| 公知申請とされた医薬品の保険適用                                   |            |         | 1 月号  |
| 新薬紹介( その 43)                                       |            |         | 2 月号  |
| 新薬紹介( その 44)                                       |            |         | 3 月号  |
| 新薬紹介( その 45)                                       |            |         | 4 月号  |
| 新薬紹介( その 46)                                       |            |         | 5 月号  |
| 新薬紹介( その 47)                                       |            |         | 6 月号  |
| 緑内障治療配合剤                                           |            |         | 7 月号  |
| 新薬紹介( その 48)                                       |            |         | 8 月号  |
| 新薬紹介( その 49)                                       |            |         | 9 月号  |
| 新薬紹介( その 50)                                       |            |         | 10 月号 |
| 新薬紹介( その 51)                                       |            |         | 11 月号 |
| 新薬紹介( その 52)                                       |            |         | 12 月号 |
| <b>【職員紹介】</b>                                      |            |         |       |
| ( その 1 ) 事務局長, 総務課                                 |            |         | 6 月号  |
| ( その 2 ) 経理課                                       |            |         | 7 月号  |
| ( その 3 ) 学術広報課, 治験促進センター機構                         |            |         | 8 月号  |
| ( その 4 ) 地域医療課                                     |            |         | 9 月号  |
| ( その 5 ) 医師国民健康保険組合, 医師協同組合・( 有 ) エム・エム・エス・シー, 経理課 |            |         | 10 月号 |
| <b>【宮崎県医師協同組合だより】</b>                              |            |         |       |
| 宮崎県医師協同組合の 25 年を顧みて                                | 副理事長       | 西 村 篤 乃 | 4 月号  |
| <b>【宮崎県医師国保組合だより】</b>                              |            |         |       |
| 国民健康保険法第 116 条にかかる届出のお願い                           |            |         | 3 月号  |
| 平成 22 年度 宮崎県医師国民健康保険組合第 104 回通常組合会                 | 常務理事       | 高 橋 政 見 | 5 月号  |
| 平成 23 年度 宮崎県医師国民健康保険組合第 105 回通常組合会                 |            |         | 10 月号 |
| インフルエンザ予防接種補助のご案内                                  |            |         | 10 月号 |
| 第 16 回「歩こう会」のご案内                                   |            |         | 10 月号 |
| <b>【追悼のことば】</b>                                    |            |         |       |
| 姉 川 朔 実 先生                                         | 都城市北諸県郡医師会 |         | 5 月号  |
| 藤 浦 芳 郎 先生                                         | 南那珂医師会     |         | 8 月号  |
| 吉 見 俊 雄 先生                                         | 南那珂医師会     |         | 12 月号 |
| 佐 井 勇 二 郎 先生                                       | 延岡市医師会     |         | 12 月号 |

|                                     |                              |       |        |
|-------------------------------------|------------------------------|-------|--------|
| 藤元秀三先生 南那珂医師会                       |                              |       | 12月号   |
| <b>【ニューメンバー】</b>                    |                              |       |        |
| 杉本隆史                                | 宮崎市                          |       | 6月号    |
| 上田厚登                                | 宮崎市                          |       | 6月号    |
| 三嶋和也                                | 三股町                          |       | 10月号   |
| 児玉由紀子                               | 都城市                          |       | 10月号   |
| 松田虎洋                                | 日南市                          |       | 11月号   |
| 原田勇一郎                               | 宮崎市                          |       | 11月号   |
| 戸井田玲子                               | 宮崎市                          |       | 11月号   |
| 松山明子                                | 宮崎市                          |       | 12月号   |
| 石渡正子                                | 日向市                          |       | 12月号   |
| <b>【診療メモ】</b>                       |                              |       |        |
| 悪性腫瘍に対する分子標的治療薬の現状                  | 県立宮崎病院化学療法科                  | 柴田義宏  | 1月号    |
| 不登校を通した子どもの診察風景                     | 県立宮崎病院精神医療センター               | 橋口浩志  | 2月号    |
| 呼吸器外科領域における鏡視下手術                    | 県立宮崎病院外科                     | 別府樹一郎 | 3月号    |
| 最近のコンタクトレンズ事情                       | 佐々木眼科医院                      | 佐々木 究 | 4月号    |
| 小児の失神は常に致死的不整脈を念頭におきながらアプローチを       | 宮崎大学医学部生殖発達医学講座小児科学分野        | 高木純一  | 5月号    |
| 骨粗鬆症                                | 三財病院整形外科                     | 松本英裕  | 6月号    |
| 日増しに高まる在宅医療のニーズ - その展開に必要な多職種連携 -   | クリニックうしたに                    | 牛谷義秀  | 7月号    |
| 摂食・嘔下りハビリテーションにおける歯科の役割について         | 潤和会記念病院リハビリテーション歯科           | 清山美恵  | 8月号    |
| 脳血管内治療の現状                           | 都城市郡医師会病院脳神経外科               | 大田 元  | 9月号    |
| 宮崎県の難聴児支援対策 - 難聴児の早期発見と早期療育事業について - | 宮崎大学医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 | 牛迫泰明  | 10月号   |
| 「茶のしずく」石鹼による小麦アレルギーについて             | たじり皮膚科医院                     | 田尻明彦  | 11月号   |
| 感染性胃腸炎について                          | 宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御学分野        | 稲津東彦  | 12月号   |
| <b>【私の本】</b>                        |                              |       |        |
| 生きる力                                | 宮崎市                          | 谷口二郎  | 2月号    |
| 薔薇の時代 昭和初期・若き芸術家たち                  | 宮崎市                          | 大西雄二  | 11月号   |
| <b>【読者の広場】</b>                      |                              |       | 1, 2月号 |
| <b>【その他】</b>                        |                              |       |        |
| 年頭のご挨拶 (囲み)                         | 宮崎県医師会                       |       | 1月号    |
| 年頭のご挨拶 (囲み)                         | 宮崎県医師協同組合                    |       | 1月号    |
| 年頭のご挨拶 (囲み)                         | 宮崎県医師国民健康保険組合                |       | 1月号    |
| 年頭のご挨拶 (囲み)                         | 宮崎県病院厚生年金基金                  |       | 1月号    |
| 宮崎県社会保険診療報酬支払基金審査委員名簿               |                              |       | 7月号    |
| 平成 23 年総目次                          |                              |       | 12月号   |
| <b>【告知】</b>                         |                              |       |        |
| 第 15 回宮崎県医師会定例代議員会開催・宮崎県医師連盟執行委員会開催 |                              |       | 3月号    |

|                                                |                      |
|------------------------------------------------|----------------------|
| 第 154回宮崎県医師会定例代議員会開催                           | 6月号                  |
| 第 155回宮崎県医師会臨時代議員会                             | 11月号                 |
| 【ご案内】                                          |                      |
| 宮崎県医師会創立 122周年記念医学会                            | 2月号                  |
| 平成 23年度第 67回宮崎県医師会定例総会・第 63回宮崎県医師連盟大会          | 6月号                  |
| 平成 23年度宮崎県医師会医学会のご案内                           | 7, 8月号               |
| 第 68回宮崎県医師会臨時総会                                | 11月号                 |
| 【お知らせ】                                         |                      |
| 郡市医師会への送付文書                                    | 各号                   |
| 第 28回日本医学会総会 201東京事前参加登録のご案内                   | 1月号                  |
| 独立行政法人福祉医療機構医療貸付事業個別融資相談会開催のご案内                | 1月号                  |
| 女性医師メーリングリストのご案内                               | 1, 2, 7, 11月号        |
| 平成 22年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い                | 1~3月号                |
| 日州医事投稿についてのお知らせ                                | 1, 4, 10~12月号        |
| 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ                            | 1, 5, 7, 11, 12月号    |
| 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員名簿                            | 2月号                  |
| 新規学校卒業予定者等の採用について(お願い)                         | 3月号                  |
| 第 12回宮崎県医師会医家芸術展作品募集!                          | 3, 4月号               |
| 「宮崎県医師会勤務医住宅ローン」の融資利率改定について                    | 4, 10月号              |
| 宮崎県医師会 JMA T(日医災害医療チーム)派遣等に関する支援金のご協力について(お願い) | 4月号                  |
| 諸会費決定について                                      | 4月号                  |
| 第 12回日本医学会公開フォーラム                              | 4月号                  |
| 平成 23年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い                | 6, 8~12月号            |
| 日本医師会女性医師バンク                                   | 4, 11月号              |
| 宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置                    | 5月号                  |
| 平成 23年度春季県医師会テニス大会開催のお知らせ                      | 5月号                  |
| はまゆう随筆原稿募集                                     | 5, 6月号               |
| 宮崎県医師会メーリングリストのご案内                             | 5~7, 10月号            |
| 第 12回宮崎県医師会医家芸術展                               | 6月号                  |
| 「初期医師臨床研修/修了後専門研修説明会 in みやざき」の開催について           | 7月号                  |
| クールビズについて                                      | 7~10月号               |
| 第 13回生命を見つめるフォトコンテスト作品募集                       | 8月号                  |
| 宮崎県医師会親善ゴルフ大会                                  | 9月号                  |
| 宮崎県ドクターズテニス大会(都城)開催のお知らせ                       | 10月号                 |
| 「新春随想」原稿募集                                     | 10, 11月号             |
| 受診時定額負担に反対する署名運動にご協力ください                       | 11月号                 |
| カット, イラストの募集                                   | 11月号                 |
| おぎゃー献金基金について                                   | 宮崎県産婦人科医学会理事 大 淵 敏 生 |
| 年末・年始の休館について                                   | 12月号                 |
| 【宮大医学部学生のページ】                                  |                      |
| 宮崎大学第 6 回清花祭『一娛一笑』のご報告                         | 1月号                  |
| 〔宮崎大学学園祭〕第 7 回清花祭~期至快晴~                        | 10月号                 |
| 〔宮崎大学学園祭〕第 7 回清花祭~期至快晴~その 2                    | 11月号                 |



早いものでもう12月。春に始まった臨床実習も終わりが見えてきました。年明けからは脳神経外科、産婦人科、と特に体力が必要とされる科が残っており、年末年始は実家で滋養強壯をと目論む次第です。これまでの実習の中で常に感じてきたことですが、まだ医師免許もなく、聴診器を持つ手もたどどしい私たち学生を、ご自身のことで精一杯なはずの患者さんが快く

受け入れてくださることは本当に有り難いことだと思います。またもう一つ感じることは、患者さんの非日常は私たちの日常だということです。病気の発覚、事故、入院、手術は人生の転換期。重症患者を扱うような大きな病院では特にそうです。前金大医学部附属病院長である河崎一夫先生が、医学生に向けて述べられています。「医師になることは、身震いするほど怖いことだ」。講義でも何度か教わったこの言葉が、そのまま目の前に映像としてあるようで正直恐ろしくもなります。患者さんの人生でドラマティックなその時、はたして自分は医師としての役割が満足にできるかと。今自問自答してもきりが無いのは解っていますが、医学部というレールの上をただふわふわと進む、いろいろな面で中途半端な自分のままで医師にはなれないかと、患者さんを見ながら思うのです。若輩者の私から人生の先輩である皆さんへ、皆さんは多忙な現場の中、何を想い、何を感じながら日々働いておられますか？ (川崎)

\* \* \* \* \*

TPPの行方が心配である。日本が独自に育ててきた制度が「グローバル化」という謳い文句のもと「大国」の都合の良い様に変えられていく。医療に対して大国の目指すものは、日本医療への市場原理の導入、医療サービスへの外国企業の参入、新薬の承認期間の短縮...大げさだるうが、何か開国を迫られた徳川幕府末期や、第二次大戦前の状態にも通じる雰囲気はないだろうか？ マスコミ全体にTPP批判を良しとしない感じを受けているのは私だけであろうか？「まっこと心配しちゅうや」 (和田)

\* \* \* \* \*

診療報酬改定の議論が本格化するこの時期、恒例の2年に1回の「開業医ネガティブキャンペーン」が始まりました(2010年1月号のあとがき参照)。今回の見出しは「開業医の年収2,788万円 前年度比0.9%増」「開業医月収 勤務医の1.1倍」です。「開業医」と言っても、6月単月の非定点調査で医療法人立の医科診療所(全体の36.4%)から一部のデータを抽出したものであり、個人立の無床診療所は全く無視されています。一方では医業経営の指標である損益差額(可処分所得ではない)は減額し、損益率が悪化しているという事実は決して報道されません。(尾田)

\* \* \* \* \*

電子カルテ導入の後日談です。11月1日に、6年間利用した紙カルテから、電子カルテに移行しました。電子カルテ導入のために、前日の午後を休診にして模擬患者で練習。それ以前にも、テンプレートを作ったり、2日ほど病院を休診にして研修をしたりと、準備万端で臨んだつもりでしたが...。いつもよりやや多めの患者さんの診察がすべて終了したのは、午後7時30分を過ぎていました。やっぱり今のところ、紙カルテの方が効率は良いようです。ただ、これからのデータを積み重ねることで、より安定した運用になることを期待しています。(坪井)

\* \* \* \* \*

今年のカレンダーも最後の一枚になりました。昨年末は急患対応のため紅白歌合戦の勝敗を見ずに病院に向かい、そのまま年が明けて、ようやく家に帰ったと思ったら目の前で交通事故が発生してその初期

対応に加わりました。考えてみると社会人になってから年末年始はたいい仕事ですが、きっと日本全国で同世代の医師・スタッフがその地域の医療を支えているだろうと思うと、励みになります。言わば地域選抜メンバーで、「がんばろう日本」の気持ちです。(彦坂)

\* \* \* \* \*

先日、宮崎大学の学祭「清花祭」が無事終わり、私も、医学展というイベントの実行委員長を務め終えました。OBの方はご存知と思いますが、この医学展は準備段階から多忙で、仲間と徹夜をすることも多々ありました。その甲斐あってか、1,000人以上の来場者が訪れ、用意した冊子が底をつくという、大成功の形で終了しました。ともに作業で徹夜をした仲間とは、以前とは違う何か深い絆ができたように感じます。学祭で得た一番大きなものがこの絆であり、この沢山の仲間との絆をこれからは大切にしていきたいです。(前田)

\* \* \* \* \*

増税が声高である。マスコミによると、国にお金がないため国民も増税やむなしという声が増えているという。非常に懐疑的である。少々検証してみる。今年度の国家予算92.2兆円は一般会計のことで、別に現在18の特別会計があり、367.兆円と公表されている。その財源は公債、保険料、年金、各種の手数料や負担金、その他の間接税などでやはり血税である。従って国家予算としては合計の459.3兆円というべきである。国家の予算でありながら国会で議論されることはほとんどない。特会同士でも複雑な金銭のやりとりがあり、実際の予算規模は誰も知らないとのこと。これもおかしな話で、真実であるなら国税の使い込みであり大事件である。実はここに大量の埋蔵金が眠っている。政府の借金が約1千兆円を超えているのに政府・官僚が全くあわてていない。いまだに税金の無駄使いを続けながら増税を訴えるのは、省益としてのこの埋蔵金を守るためとしか思えない。(済陽)

\* \* \* \* \*

## 今月のトピックス

### 日州医談 ポリオは根絶できるのか

ポリオ生ワクチン接種によるポリオ発症の危険性に対し、厚労省は2013年までに不活化ワクチンの導入を決めました。一部の自治体では独自に不活化ワクチンを輸入し子どもたちに接種する方針で、現場の混乱とワクチン後進国日本の現状が取り沙汰されています。1988年、WHOがポリオ根絶計画をスタートさせ生ワクチンの集団接種が始まった経緯と現在の問題点を、理事の峰松俊夫先生がわかりやすく解説してくださいました。 4ページ

### お知らせ おぎゃー献金基金について

全国の産婦人科医が協力して取組んでいる「おぎゃー献金」について、本誌14頁でご紹介させていただきます。他科の先生方にも是非ご理解とご協力をいただきたいという宮崎県産婦人科医会からのお願いです。 14ページ

### 診療メモ 感染性胃腸炎について

臨床で一般的に用いられる「感染性胃腸炎」という診断名の問題点、またその分類と臨床像、診断と治療・予防法について、稲津東彦先生がわかりやすく解説してくださいました。

原因微生物別の臨床像を一覧表としてまとめていただきましたので、是非ご覧になってください。 58ページ

日 州 医 事 第 748号 (平成 23年 12月号) (毎月 1回 10日発行)

発行人 社団法人 宮 崎 県 医 師 会  
〒 880-0023 宮 崎 市 和 知 川 原 1 丁 目 10 番 地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail:office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮 崎 県 医 師 会 広 報 委 員 会

委 員 長 和 田 俊 朗・副 委 員 長 尾 田 朋 樹

委 員 下 薗 孝 司, 上 野 満, 黒 川 基 樹, 藪 内 悠 貴, 湯 淺 美 紗 子  
坪 井 康 浩, 田 坂 裕 保, 彦 坂 と も み, 川 崎 真 由 美, 前 田 雄 洋

担 当 副 会 長 富 田 雄 二・担 当 理 事 荒 木 早 苗, 濟 陽 英 道

事 務 局 学 術 広 報 課 喜 入 美 香, 杉 田 秀 博

印 刷 所 有 限 会 社 ケ イ・プ ロ デ ュ ー ス・落 丁・乱 丁 の 際 は お 取 り 替 え い た し ま す。

定 価 35 円 (但 し, 県 医 師 会 員 の 講 読 料 は 会 費 に 含 め て 徴 収 し て あ り ま す)